

---

## (仮称)屋代スマートインターチェンジ周辺地区まちづくり方針

---

### (素案)

※本資料では「(仮称)屋代スマートインターチェンジ」を「屋代 SIC」と称しています。

令和 7 年 12 月



## 【目次】

|                             |     |
|-----------------------------|-----|
| 第1章 検討の概要                   | 1   |
| 1 検討の背景・目的                  | 1   |
| 2 (仮称)屋代SIC周辺地区まちづくり方針の位置付け | 1   |
| 3 検討の範囲                     | 2   |
| 4 検討の前提条件                   | 3   |
| 第2章 基礎調査                    | 13  |
| 1 千曲市全体の概況の整理・分析            | 13  |
| 2 屋代SIC周辺地区の概況の整理・分析        | 33  |
| 3 SIC周辺等のまちづくり事例            | 58  |
| 4 マクロ的な社会経済情勢               | 71  |
| 5 基礎調査のまとめ                  | 77  |
| 第3章 団体・市民等の意見把握             | 79  |
| 1 市民アンケート調査                 | 79  |
| 2 市民ワークショップ                 | 82  |
| 3 関係者ヒアリング調査                | 89  |
| 第4章 屋代SIC周辺地区の役割と将来像        | 92  |
| 1 屋代SIC周辺地区の将来像             | 92  |
| 2 屋代SIC周辺地区の役割              | 93  |
| 第5章 屋代SIC周辺地区の整備方針          | 97  |
| 1 土地利用の方針                   | 97  |
| 2 交通対策の方針                   | 101 |
| 3 緑と景観形成の方針                 | 103 |
| 4 防災対策の方針                   | 105 |
| 第6章 まちづくりの効果                | 107 |
| 1 まちづくりの効果の考え方              | 107 |
| 2 まちづくりのスケジュール              | 107 |
| 3 まちづくりの効果の試算結果             | 108 |
| 第7章 屋代SIC周辺地区と市内各拠点との連携強化   | 109 |
| 1 市内各拠点の機能強化                | 109 |
| 2 拠点を連携するネットワークの強化          | 110 |
| 3 広域的な連携の強化                 | 111 |
| 第8章 まちづくりの推進体制              | 112 |
| 1 推進体制の考え方                  | 112 |
| 2 多様な主体の役割分担によるまちづくり        | 113 |



# 第1章 検討の概要

## 1 検討の背景・目的

(仮称) 屋代スマートインターチェンジ (以下「屋代SIC」と言います) は、令和5年9月の国土交通省の新規事業化の決定を受け、令和6年度からNEXCO東日本による現地測量が開始されています。

また、屋代SICへのアクセス道路として、令和2年度から都市計画道路一重山線 (市道一重山2号線) の整備に着手しており、道路用地を取得し、埋蔵文化財の発掘調査が完了した箇所から順次施工を進めることとしています。

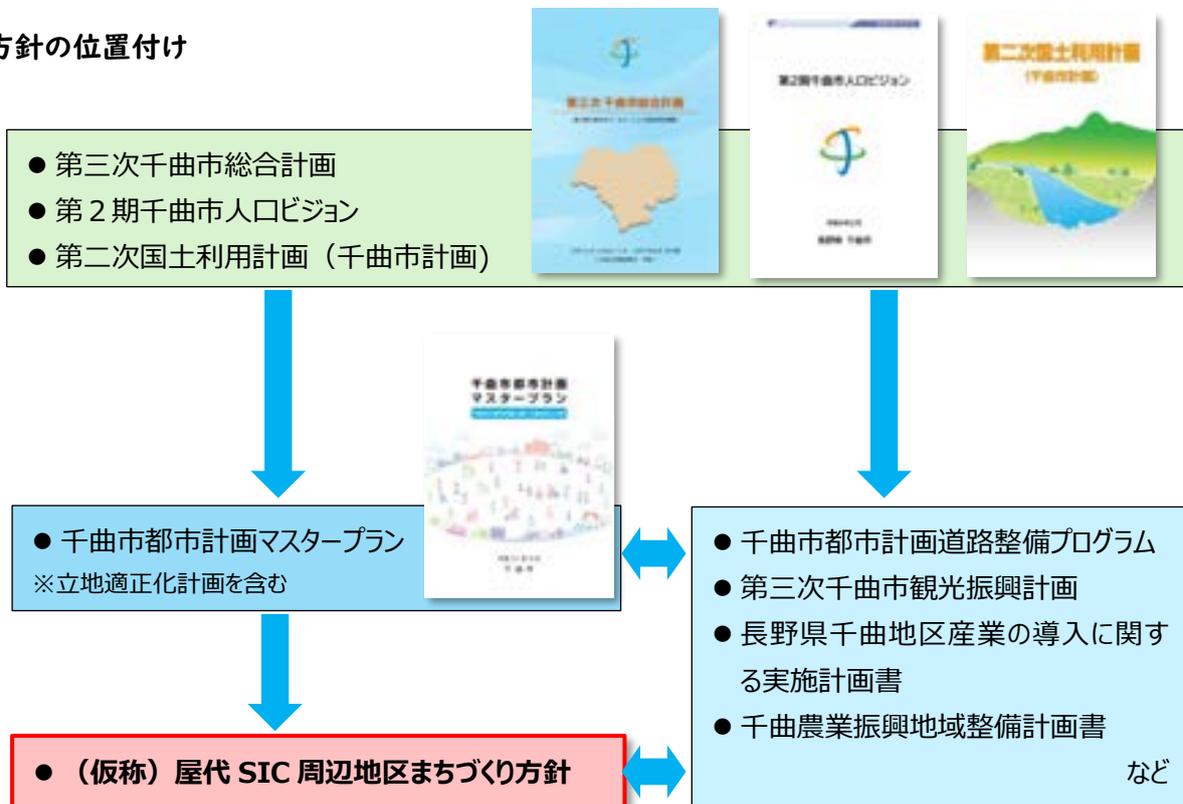
さらに、屋代SIC周辺地区では、SICの整備に伴う開発ポテンシャルの向上が期待されることから、千曲市都市計画マスタープランにおいて「上信越自動車道西側地区」として広域交流拠点、産業拠点の整備方針等が位置付けられ、現在、公民連携のまちづくりの検討が進められています。

この検討は、屋代SIC周辺地区における無秩序な市街化を抑制し、計画的な土地利用の誘導と道路交通網の整備を図り、市内全域が効果を楽しむ魅力的なまちづくりとするため、専門家やステークホルダーの意見等を踏まえ、屋代SIC周辺地区の整備方針を検討・立案し、「(仮称) 屋代SIC周辺地区まちづくり方針」としてとりまとめることを目的としています。

## 2 (仮称) 屋代SIC周辺地区まちづくり方針の位置付け

「(仮称) 屋代SIC周辺地区まちづくり方針」は、「第三次千曲市総合計画」や「第二次国土利用計画 (千曲市計画)」、「千曲市都市計画マスタープラン」等を上位計画とするともに、その他個別計画との連携を図ります。

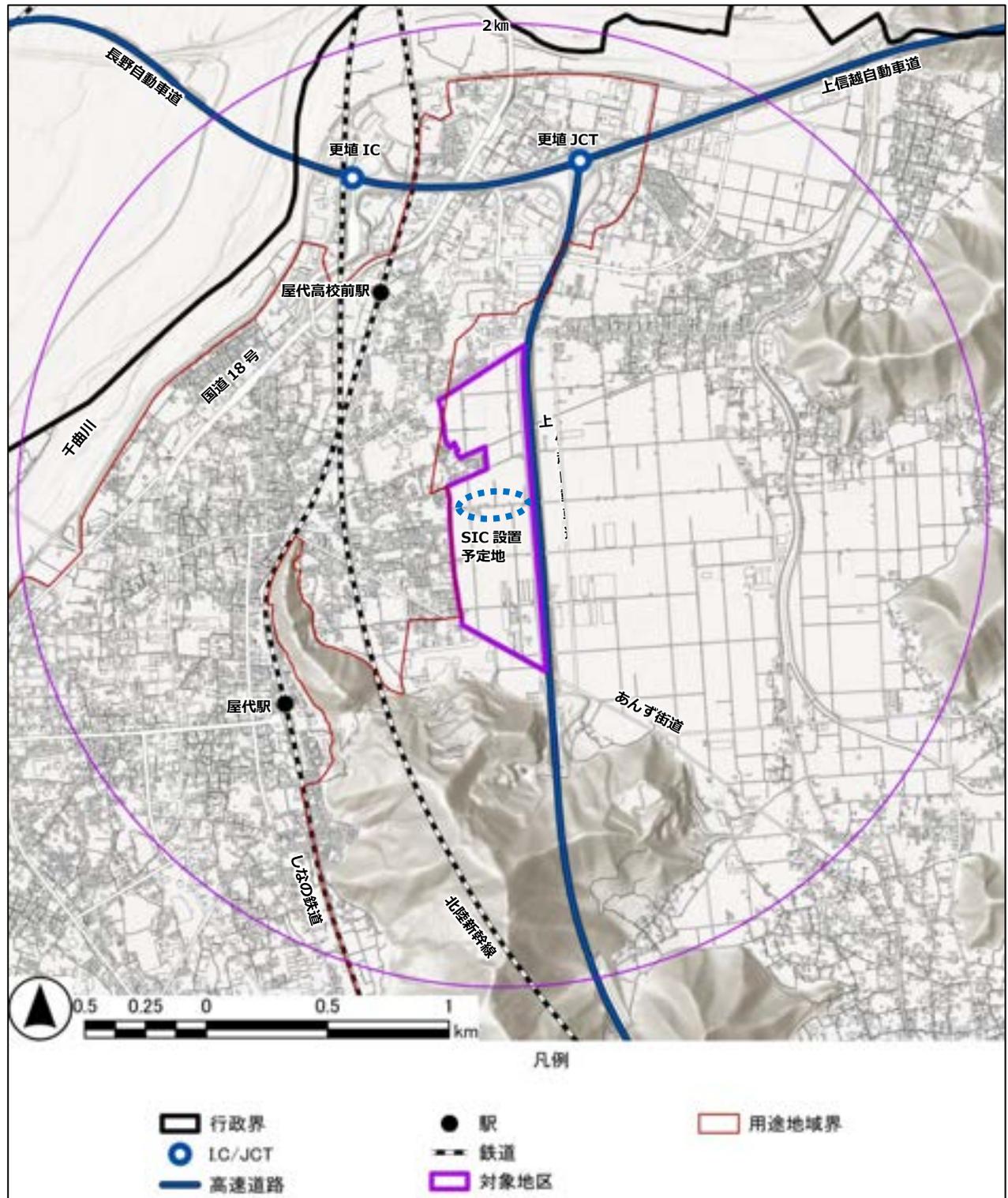
### ■ 方針の位置付け



### 3 検討の範囲

検討の範囲は、下図に示す対象地区（屋代SIC周辺地区）を基本としますが、調査分析の対象は屋代SIC周辺地区を中心とした概ね2kmの範囲を含めるものとします。

#### ■屋代SIC周辺地区



## 4 検討の前提条件

### (1) 屋代SICの計画概要

屋代SICは、令和5年9月8日に新規事業化が決定され、令和6年度から用地測量が始まり、令和7年度内の用地取得を目指した取組が進められています。

屋代SICは、関越自動車道上越線（上信越自動車道）において、長野県千曲市屋代地区内で連結し、千曲市道反町東西線及び千曲市道一重山2号線に接続予定となります。

#### ■屋代SICの概要

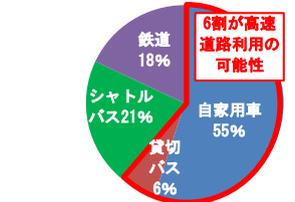


出典：千曲市「上信越自動車道（仮称）屋代スマートインターチェンジの概要について」（令和5年9月）

## (2) 屋代SICの整備効果

屋代SICの設置は、千曲市の地域活性化、交通利便性の向上、産業促進、防災性向上に寄与することが期待されています。

### ■屋代SICの整備効果

|   |  |  |
|---|--|--|
| <p>①産業促進と物流効率化</p>                 | <p><b>【輸送時間の短縮やコストの削減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨宮産業団地、屋代・新田工業団地から、東京方面への高速道路アクセス時間が最大4分短縮</li> <li>・地域の食品会社等から東京方面への高速道路アクセス時間が約7分短縮</li> </ul>                        | <p>あんず加工製造会社から東京方面への所要時間</p>  <p>約7分短縮</p> <p>SIC整備なし SIC整備あり</p>                         |
| <p>②住民生活の安全性向上</p>                 | <p><b>【通学路指定道を通る大型車が減少】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量の分散や、雨宮産業団地や周辺の工場からの交通量に対しても通学路指定道を選んだルート選定が可能</li> </ul>   | <p>台/日 国道403号大型車交通量</p>  <p>100台/日減少</p> <p>SIC整備なし SIC整備あり</p>                           |
| <p>③周辺道路の渋滞緩和</p>                 | <p><b>【主要渋滞路線での交通量減少】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更埴ICへの一極利用集中の改善により、国道18号などで交通量が減少</li> <li>・市内2箇所（雨宮・八幡東）の大規模産業団地から想定される東京への交通量の増加に対し、主要渋滞路線を避けた選定が可能</li> </ul>         | <p>国道18号交通量</p>  <p>700台/日減少</p> <p>SIC整備なし SIC整備あり</p>                                  |
| <p>④観光促進</p> <p>一目十万本 あんずの里</p>  | <p><b>【入込客数の増加】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あんずの里」、「科野の里歴史公園」へのアクセス時間は7分短縮されるとともに、渋滞の回避によりアクセス性が向上</li> <li>・周遊観光を誘発し、戸倉・上山田温泉への宿泊客の増加が期待</li> </ul>                      | <p>県外観光客の交通手段</p>  <p>6割が高速度道路利用の可能性</p>  |
| <p>⑤救急救命医療の支援</p>                | <p><b>【生存率の増加】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂城町・千曲市南部地区において、千曲中央病院への救急搬送時間が現状より約2分短縮</li> <li>・市東部地区において、長野赤十字病院への搬送時間が約2分短縮されるとともに、長野松代総合病院へのより安心・安全な搬送が可能</li> </ul>      | <p>坂城町・千曲市南部から千曲中央病院へ</p>  <p>約2分短縮</p> <p>SIC整備前 SIC整備後</p>                            |
| <p>⑥防災支援</p>                     | <p><b>【緊急輸送路の確保】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水により通行不可の可能性のある緊急輸送道路の国道18号・更埴ICの代替アクセスが確保</li> <li>・主要指定避難所と第一緊急搬送路線を結ぶリダンダンシーを確保し寸断リスクを低下させ、広域からの救援・援助活動への支援が可能</li> </ul> | <p>浸水想定 (概ね100年に1度の大雨)</p>  <p>屋代SIC</p> <p>【浸水想定】<br/>・SIC周辺は1~2m<br/>・更埴IC周辺は2~5m</p> |

出典：千曲市「上信越自動車道（仮称）屋代スマートインターチェンジの概要について」（令和5年9月）を基に作成

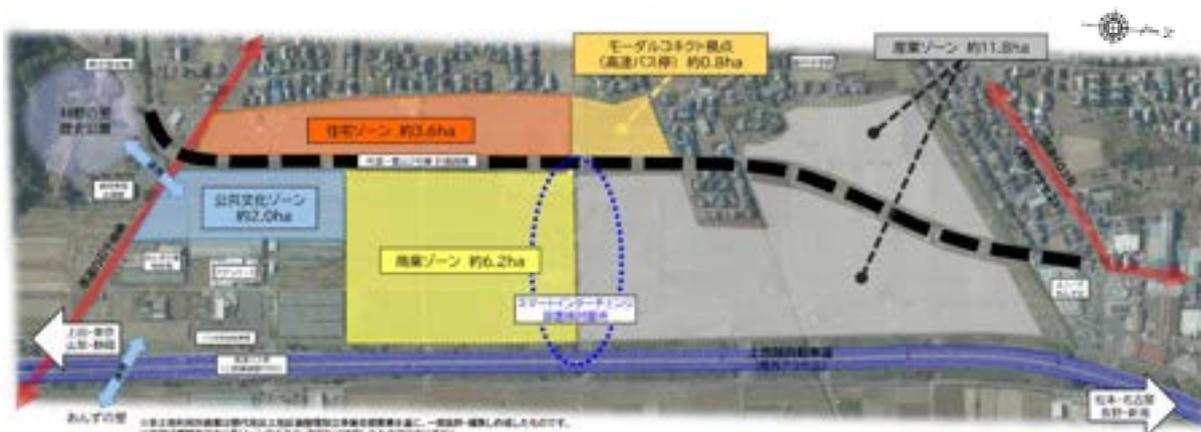
### (3) 屋代SIC周辺地区におけるまちづくりの経緯

屋代SIC周辺地区では、平成27年から地権者が中心となって、土地区画整理事業によるまちづくりを見据えた協議が進められてきましたが、まちづくりの手法について協議を進めていく中で、より実現性の高い手法が求められ、現在は民間事業者による開発行為でまちづくりの検討が進められています。

#### ■屋代SIC周辺地区におけるまちづくりの経緯(概略)

|                  |   |
|------------------|---|
| 平成 27 年          | ・「屋代地区開発を促進する有志の会」発足  |
| 平成 28 年          | ・「屋代地区まちづくり協議会」発足   |
| 平成 29 年          | ・地権者意向調査の実施<br>・「屋代地区土地区画整理組合設立準備会」発足   |
| 平成 30<br>～令和 2 年 | ・土地区画整理事業の事業化検討   |
| 令和 3<br>～ 4 年    | ・民間事業者が「まちづくり構想案」と「開発手法（民間事業者による開発行為）」を提案<br>・地権者意向調査の実施（地権者の 95%が賛同）<br>・「屋代地区土地区画整理組合設立準備会」の解散と地権者会発足 |
| 令和 5 年～          | ・屋代 SIC の新規事業化決定<br>・民間事業者の開発行為を念頭に地権者個別訪問の進展、農振農用地からの除外に向けた準備  |

#### ■屋代地区まちづくり構想案(土地利用計画図)の進捗状況



| 区画   | 商業ゾーン   | 住宅ゾーン  | 産業ゾーン  | 公共文化ゾーン   | モーダルコネク特拠点   |
|------|---|--|--|---|--|
| 事業主体 | 株式会社  | 株式会社   | 大和ハウス工業㈱   | 千曲市   | 千曲市  |
| 進捗状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域未来投資促進法に基づき千曲市が策定した土地利用調整計画が今年5月に県同意を得た</li> <li>◎地域未来投資促進法に基づき株式会社が発定した地域経済牽引事業計画が今年5月に県承認を得た</li> <li>◎千曲市において令和8年度中の農振農用地からの除外に向けた手続きを進めている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎第Ⅱ期工事として株式会社が開発手法を検討中</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎大和ハウス工業㈱は企業誘致の為にインフラ(道路、水道、電気等)の各種協議を進めており、同時に開発区域の区画の計画をしている。今後進捗に応じて地権者会の開催を検討している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎このゾーンにスマートIC整備に必要な盛土材をストックする計画で、汎用土ストックヤードの測量・設計を進めたが、各種法令の規制等により取得できなかった</li> <li>◎公共文化ゾーンとしての土地利用計画が具体的に固まり次第、改めて説明会等を開催する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎「スマートIC周辺での交通拠点整備基本計画」を今年8月に策定した</li> <li>◎令和8年度以降用地測量を行い、用地取得手続きを進める</li> </ul> |

出典：屋代地区開発事業に係る地権者会「屋代地区まちづくりニュース 第18号」(令和7年10月30日)

#### (4) 上位・関連計画における屋代SIC周辺地区の位置付け

##### ①第三次千曲市総合計画(令和4年4月)

総合計画では、SICの整備と併せた拠点形成を図るため、新たな市街地を誘導する地区の開発推進が位置付けられています。

基本目標1 災害に強く、安全で安心な暮らしができるまち

達成方針4 【都市基盤】快適で便利な、持続可能なまちをつくる

- ・産業連携道路ネットワークの整備や新たなスマートインターチェンジの設置など、良好な都市基盤の整備を進め、広域交流拠点など、市街地を誘導する地区への計画的な開発を誘導し、産業基盤の形成による高度な土地利用を図る。

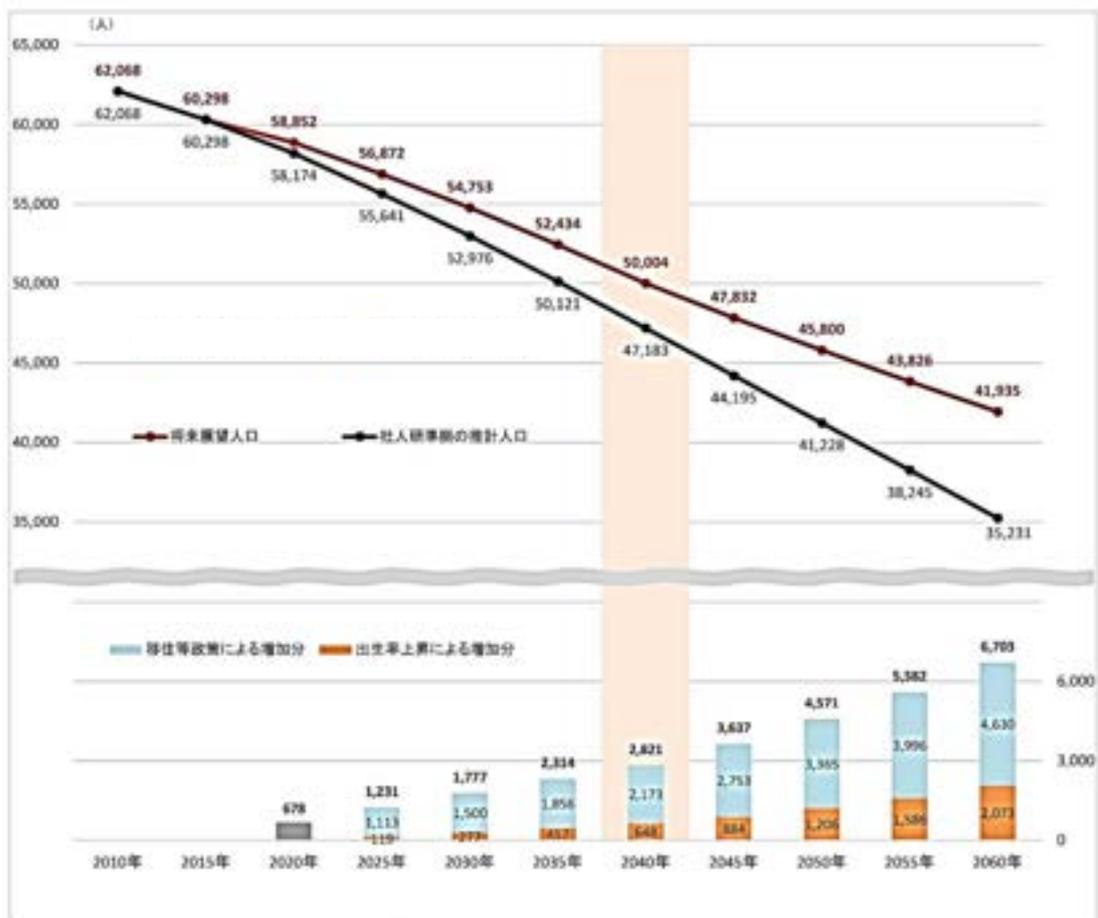
基本施策1 時代に対応した土地利用を図る。

- ・「国土利用計画(千曲市計画)」などに沿った計画的な土地利用を図る。
- ・「都市計画マスタープラン」、「立地適正化計画」等の関連計画に基づき適正な土地利用を図りつつ、時代に即したまちづくりを推進する。
- ・広域交流拠点の整備に取り組む。
- ・市街地を誘導する地区の開発を推進し、新たな産業基盤の形成による高度な土地利用を図る。

##### ②第2期千曲市人口ビジョン(令和4年2月)

人口ビジョンでは、2040年の目標人口を50,000人としています。屋代SIC周辺地区のまちづくりでは、目標人口の前提となっている移住等による人口増加と出生率の上昇に寄与することが求められます。

##### ■目標人口を達成するための将来展望



### ③第二次国土利用計画(千曲市計画)(平成30年6月)

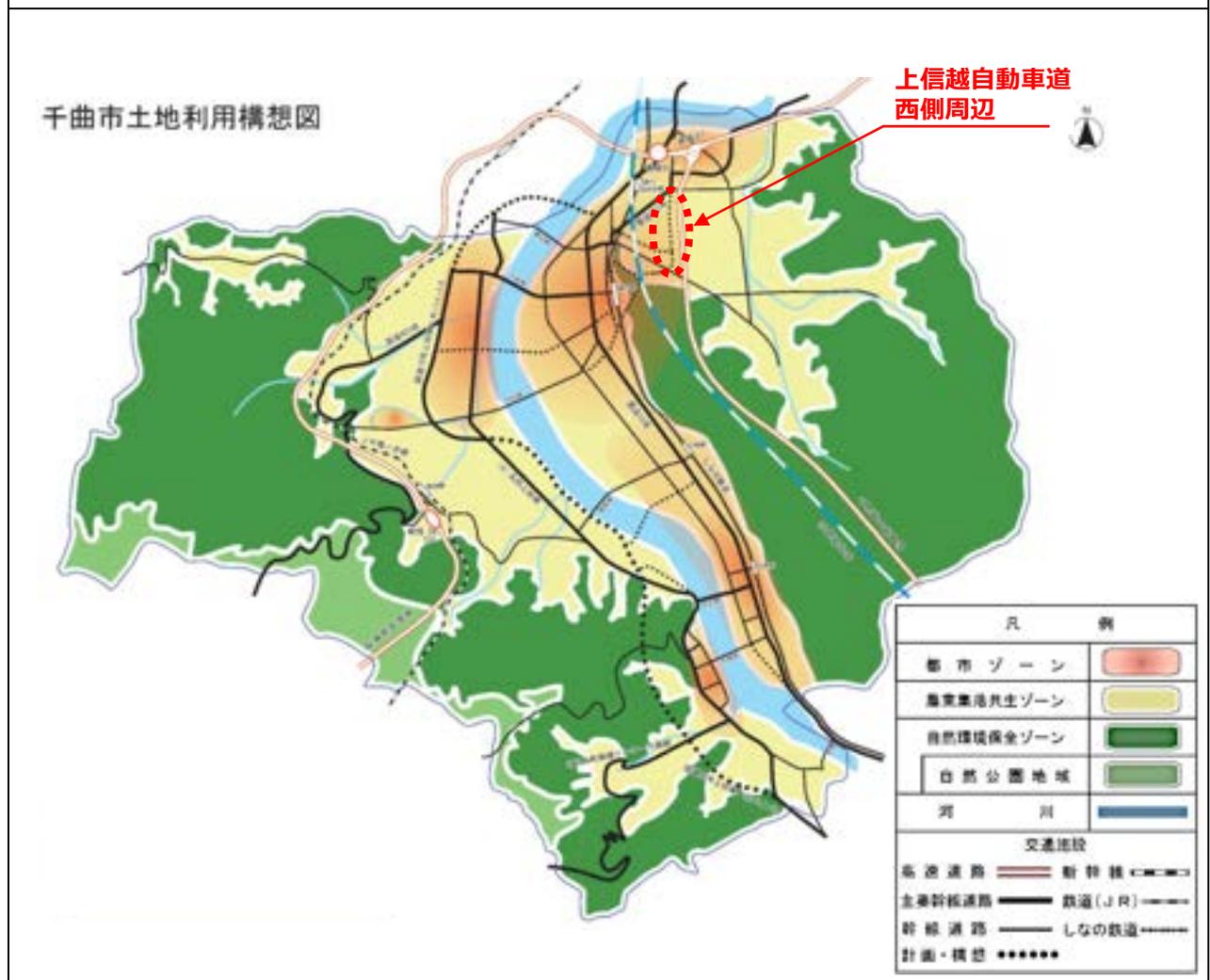
第二次国土利用計画(千曲市計画)では、屋代地区の上信越自動車道西側周辺が市街地を誘導する地区として位置付けられています。

(市土地利用をめぐる基本的条件)

- ・スマートインターチェンジの設置の研究が進んでいる上信越自動車道西側地区、国道18号バイパスの一部開通している地域などは、新たな広域交流拠点や産業経済基盤の形成、産業の活性化への機運や期待感などが高まっている

(東部市街地地域の土地利用の基本方向)

- ・屋代地区の上信越自動車道西側周辺の市街地を誘導する地区については、市全体の活性化をけん引する新たな広域交流拠点の形成のため、都市計画制度を適切に運用し、農業をはじめ周辺の土地利用や生活環境との調和に配慮しながら、既成市街地との都市機能のバランスに配慮した誘導を図る



#### ④千曲市都市計画マスタープラン(平成31年3月)

千曲市都市計画マスタープランでは、上信越自動車道西側地区が広域交流拠点、産業拠点として位置付けられています。

目標3 活力に満ち交流の盛んなにぎわいのある都市づくり

基本方針2 立地特性を活かした広域的な交流

- ・市全体の活性化をけん引するため、上信越自動車道西側地区にスマートインターチェンジの設置を含めた広域的な交流拠点の形成を図る。

基本方針4 地域経済の活性化

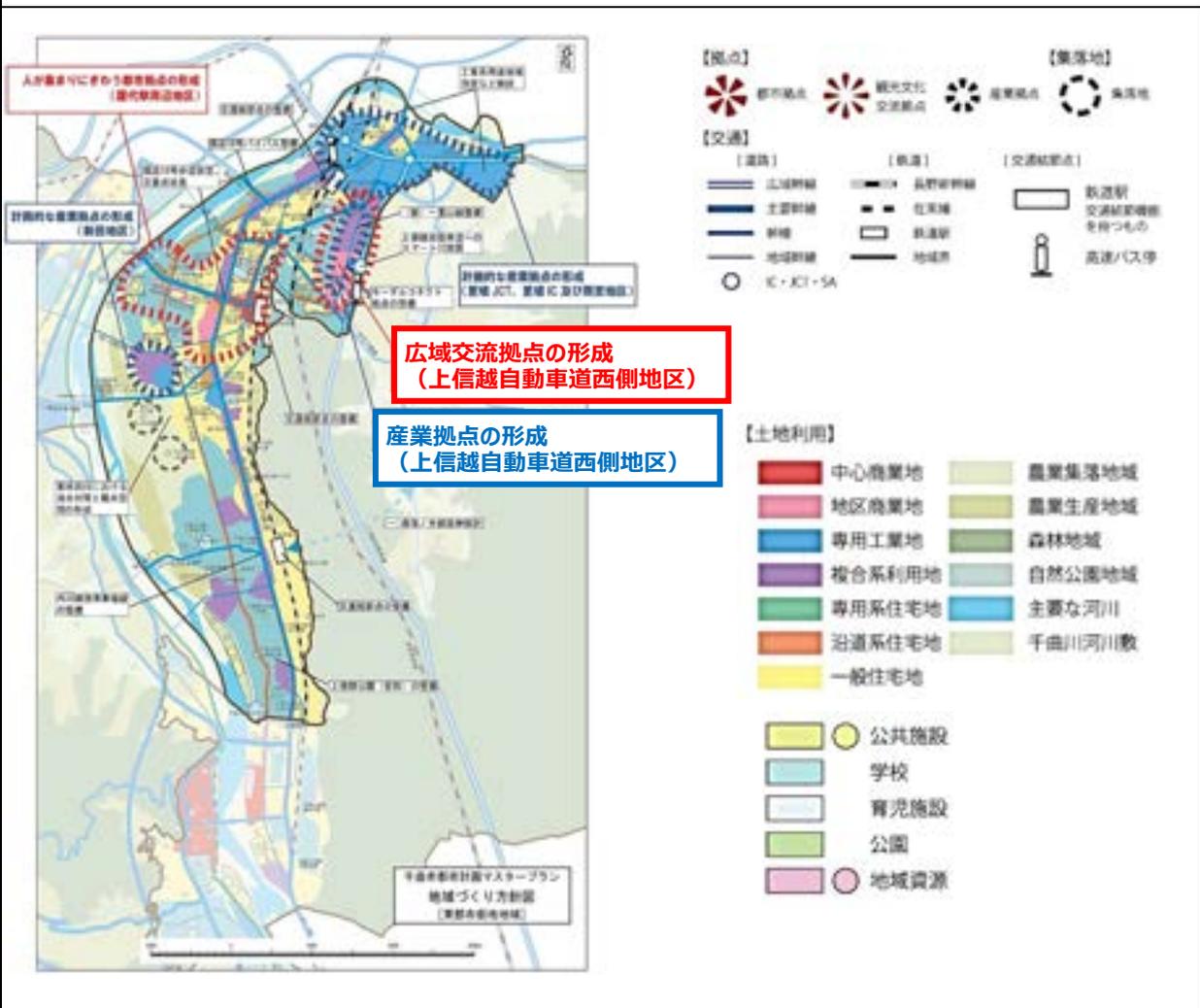
- ・高速道路網の結節点としての優位性を生かし、更埴インターチェンジ周辺地区やスマートインターチェンジの設置が検討されている上信越自動車道西側地区等、交通便利性に優れた場所への多様な産業の企業立地を図る。

(東部市街地地域の土地利用)

- ・市全体の活性化をけん引するため、上信越自動車道西側周辺の市街地を新たな広域交流拠点と位置付け、商業系や工業系用途地域の指定による適正な土地利用の誘導を図る

(地域づくり方針(交通))

- ・上信越自動車道西側地区へのSICの設置及びアクセス道路となる(都)一重山線を整備
- ・SIC設置予定地周辺における交通結節機能を図るため、モーダルコネクト拠点(バスターミナル等)の整備を検討



## ⑤千曲市立地適正化計画(令和7年3月31日改訂)

千曲市立地適正化計画では、上信越自動車道西側地区が市独自の「準誘導区域」に設定され、交通利便性の高さを活用した新たな開発が位置付けられています。

準誘導区域

- ・現時点では市街地が形成されていないものの、今後大規模な開発が予定され、地域防災力の向上や居住に寄与するエリアに対して「準誘導区域」を設定

まちづくりの方針2 魅力的で交流のある都市機能の創出

- ・市内の都市機能の充実と交通結節点における開発促進による新たな魅力の創出を図る。

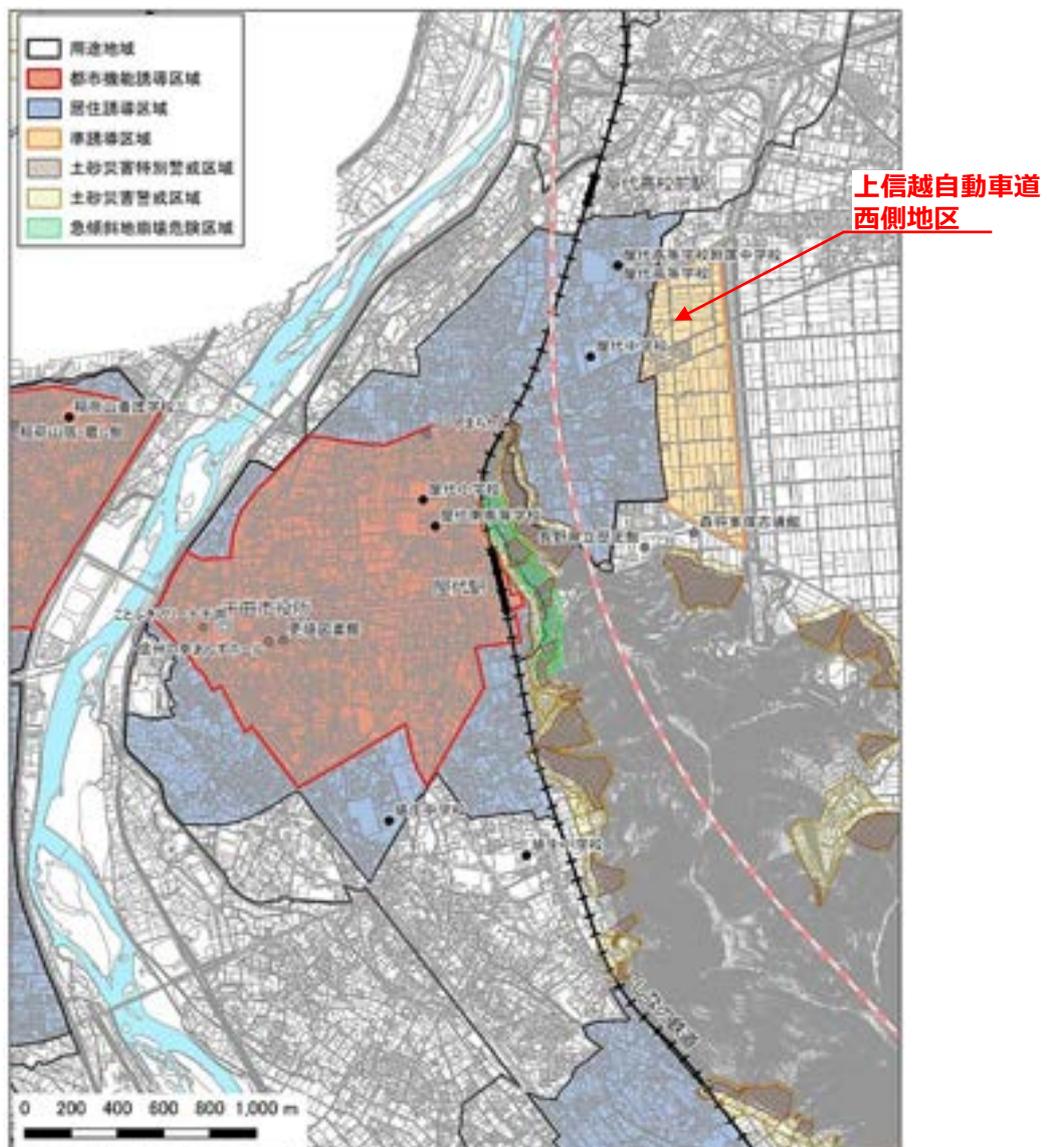
将来都市構造の構成要素 ③拠点

- ・広域交流拠点は「上信越自動車道西側地区」としてSICを含めた市全体の活性化をけん引する新たな交流のための市街地形成を進める地区として位置づける。

誘導施策(2) 魅力ある市街地の形成

(交通結節点における開発の促進)

- ・屋代SIC周辺において、交通利便性の高さを活用した新たな開発を進める
- ・地区の一部では公共文化ゾーンとして、子育て世代に寄与する施設の整備を図る

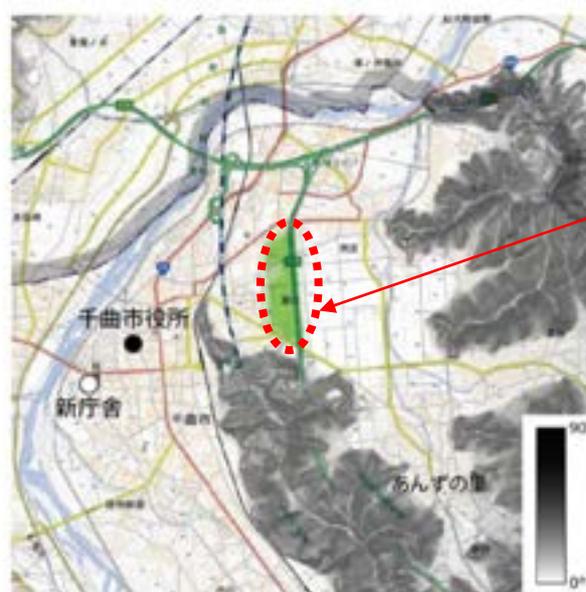


## ⑥千曲農業振興地域整備計画書(平成30年10月)

千曲農業振興地域整備計画書では、国土利用計画(千曲市計画)の土地利用構想図において都市地域に指定された屋代地区は、高度な土地利用調整が必要な大規模農用地に位置付けられています(現状は農用地区域)。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 農用地区域の設定方針ただし書き | 具体的な転用案件があり、該当計画の実施について、農振法をはじめ他法令との調整が可能であり、かつ社会情勢からやむを得ないと認められる農用地は農用地区域に含めない |
|-----------------|---|

| 地域、地区及び施設等の具体的な名称又は計画名 | 位置(集落名等) | 面積  |     |    | 備考                               |
|------------------------|----------|-----|-----|----|----------------------------------|
|                        |          | 農用地 | その他 | 計  |                                  |
| 屋代地区<br>土地区画整理事業       | 屋代地区     | 33  | 2   | 35 | 国土利用計画(千曲市計画)の土地利用構想図において都市地域に指定 |



高度な土地利用調整が必要な大規模農用地

※土地区画整理事業は、当時想定されていた開発手法(現在は、民間事業者の開発行為により開発を進めるとしている)。

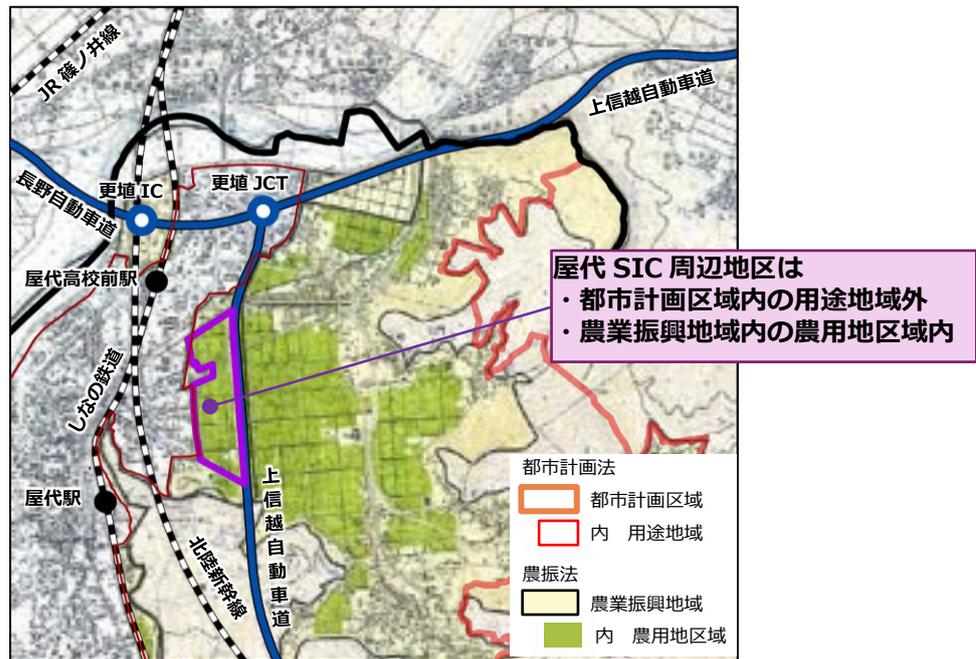
## (5) 屋代SIC周辺地区に関わる土地利用関係法令制度

屋代SIC周辺地区の土地利用に係る法令として、都市計画法、農振法（農業振興地域の整備に関する法律）、農村産業法（農村地域への産業の導入の促進等に関する法律）、地域未来投資促進法（地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律）があります。これらの法令と屋代SIC周辺地区の土地利用に係る事項を下記に示します。

### ■ SIC周辺の土地利用に係る法令とその内容

| 名称  | SIC周辺の土地利用に係る事項  |
|---|--|
| 都市計画法                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>千曲市では、市街化区域を設定しない<u>非線引き都市計画区域</u>が指定され、市街地では用途地域が定められている。</li> <li>SIC周辺地区は用途地域外（白地）であり、<u>大規模集客施設（延床面積1万㎡以上）の立地が原則として制限され、立地を可能とするためには、「開発整備促進区を定める地区計画」が必要。</u></li> </ul>   |
| 農振法（農業振興地域の整備に関する法律）                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>SIC周辺地区は現在、農用地区域が指定されている。</li> <li>農用地区域では、<u>農地転用等の農地調整は厳しく規制されている。</u></li> <li>千曲農業振興地域整備計画書では、「高度な土地利用調整が必要な大規模農用地」という位置付けはあるが、これだけでは農用地区域の解除はできない。</li> <li>土地利用調整（農用地区域の除外）に向けては、後述する<u>農村産業法や地域未来投資促進法の土地利用調整のスキームを活用する必要がある</u>（ただし、住宅への転用は対象外）。</li> </ul>   |
| 農村産業法（農村地域への産業の導入の促進等に関する法律）                | <ul style="list-style-type: none"> <li>農村地域において計画的な土地利用（農地利用）等を行うことにより、<u>産業の導入を促進し、魅力ある雇用の場を創出することを目的とする。</u></li> <li>国の基本方針に基づき、都道府県が基本計画を策定し、市町村が実施計画を策定（都道府県との協議・同意が必要）</li> <li>「土地利用の調整が整った施設」については、<u>農用地区域除外、農地転用が可能となるよう配慮される。</u></li> <li>千曲市では、屋代工業団地、新田工業団地、雨宮産業団地が当該土地利用調整のスキームを活用している。</li> </ul>  |
| 地域未来投資促進法（地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律） | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性を活かして<u>企業が実施する地域経済を牽引する取組等の支援を通じ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。</u></li> <li>国の基本方針に基づき、市町村及び都道府県は基本計画を策定（国の同意が必要）し、同意された基本計画に基づき、市町村が土地利用調整計画を策定（都道府県の承認が必要）、事業者が地域経済牽引事業計画を策定（都道府県の同意が必要）。</li> <li>都道府県が同意した土地利用調整計画において調整された区域における地域経済牽引事業については、<u>農用地区域除外、農地転用が可能となるよう配慮される。</u></li> <li>千曲市では、八幡東産業団地が当該土地利用調整のスキームを活用している。</li> <li>近隣自治体では、須坂市が須坂長野東IC周辺開発（大規模商業・工場等の立地）において、当該土地利用調整のスキームを活用している。</li> </ul> |

■屋代SIC周辺地区の土地利用に関する法規制の現状



出典：千曲農業振興地域整備計画書（平成30年10月）の付図1号土地利用計画図を基に作成

## 第2章 基礎調査

### 1 千曲市全体の概況の整理・分析

#### (1) 地勢・歴史

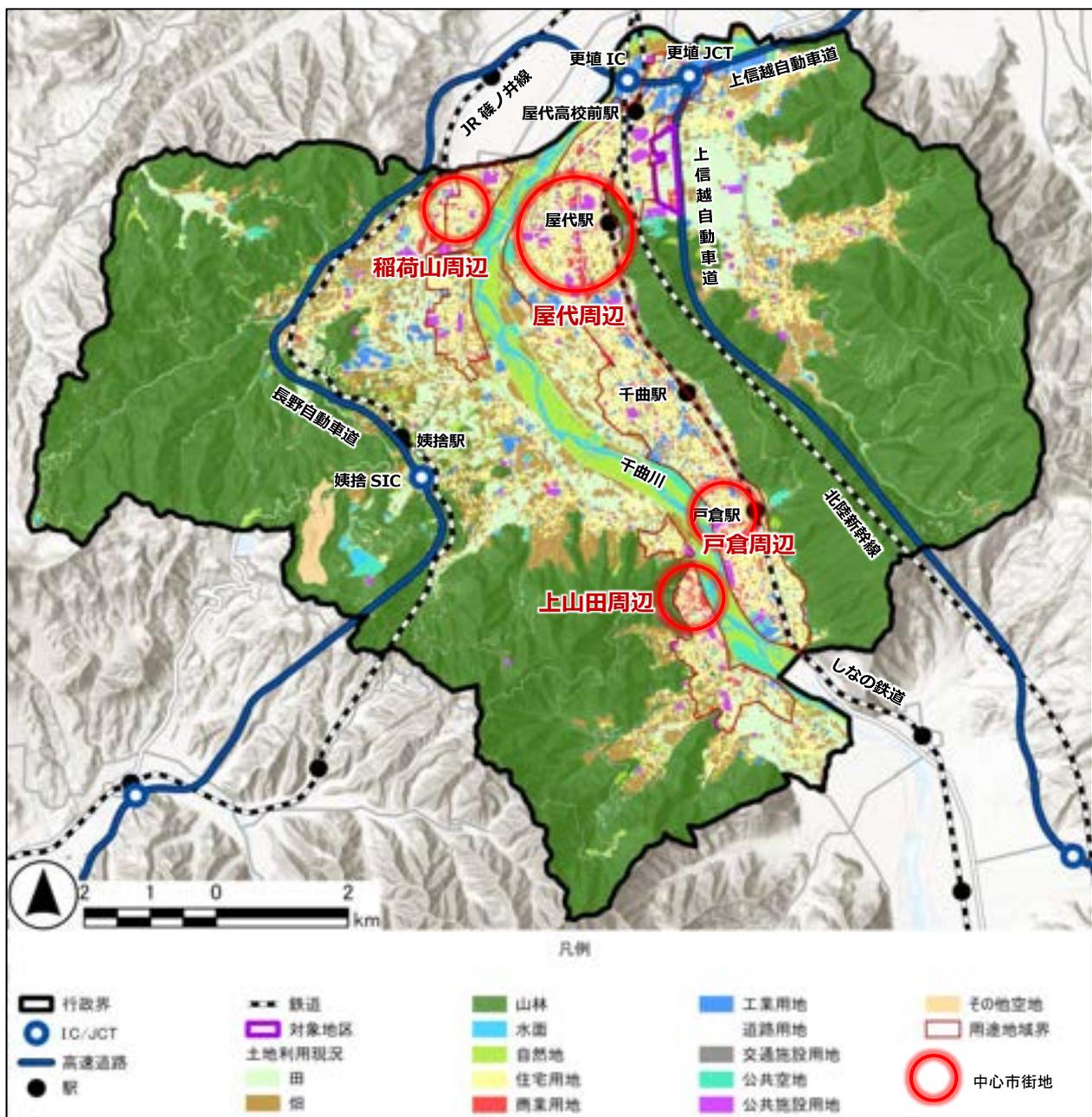
千曲市は、東西を山地に挟まれ、人口や都市機能は千曲川が形成する沖積地と東西の山麓に形成された扇状地からなる平坦部に集積しています。

歴史的には、北国街道、善光寺街道、谷街道といった街道が交差する場所として古くから交通の要衝でした。現在においても鉄道や高速道路が複数敷設された交通の要衝となっています。

交通の利便性を活かして工業立地も盛んに行われてきました。明治には温泉が掘削され、戸倉地区や上山田地区などの温泉観光地も発達しました。

本市は平成15年9月1日に、更埴市・戸倉町・上山田町の三市町の合併により誕生し、南北に市街地が分散し、中心市街地は、稲荷山周辺、屋代周辺、戸倉周辺、上山田周辺となっています。

#### ■地形と土地利用等



出典：「千曲都市計画基礎調査」（令和3年3月）を基に作成

## (2) 交通網

### ① 鉄道

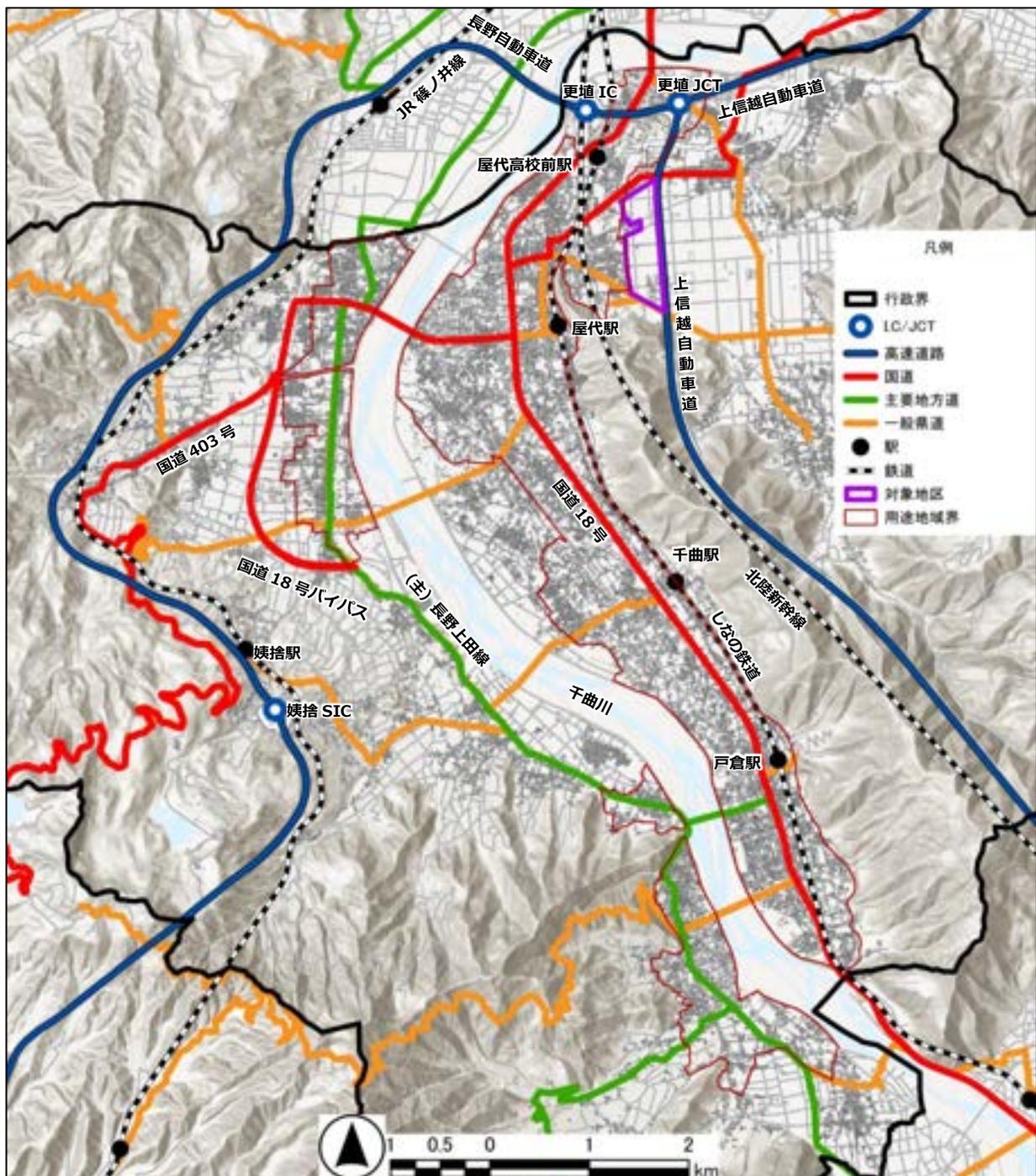
鉄道は千曲川左岸にしなの鉄道が、千曲川右岸にJR篠ノ井線が走っています。

### ② 道路

高速道路2路線が市内を通過し、更埴ICを主要アクセスポイントとして、国道18号より千曲市周辺地域に接続しています。

市街地の骨格となる幹線道路は、国道18号、国道403号、主要地方道長野上田線などで構成されているほか、国道18号バイパスが部分的に供用しています。

### ■ 交通網



出典：国土交通省「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果WEBマップ」を基に作成

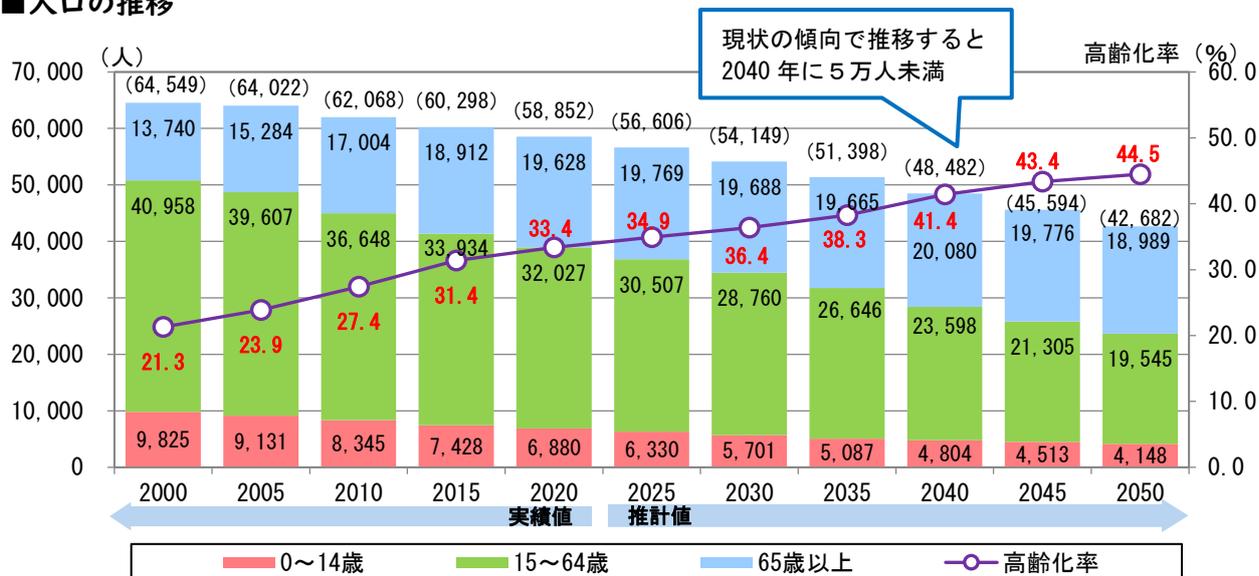
### (3) 人口

#### ①人口の推移

総人口は2000年の64,549人をピークに減少傾向に転じており、2020年には6万人を下回る58,852人となっています。また、2050年には42,682人となることが見込まれています。

年齢3区分別の人口を見ると、高齢化率（65歳以上人口の割合）は2020年の33.4%から2050年には44.5%となることが見込まれます。

#### ■人口の推移



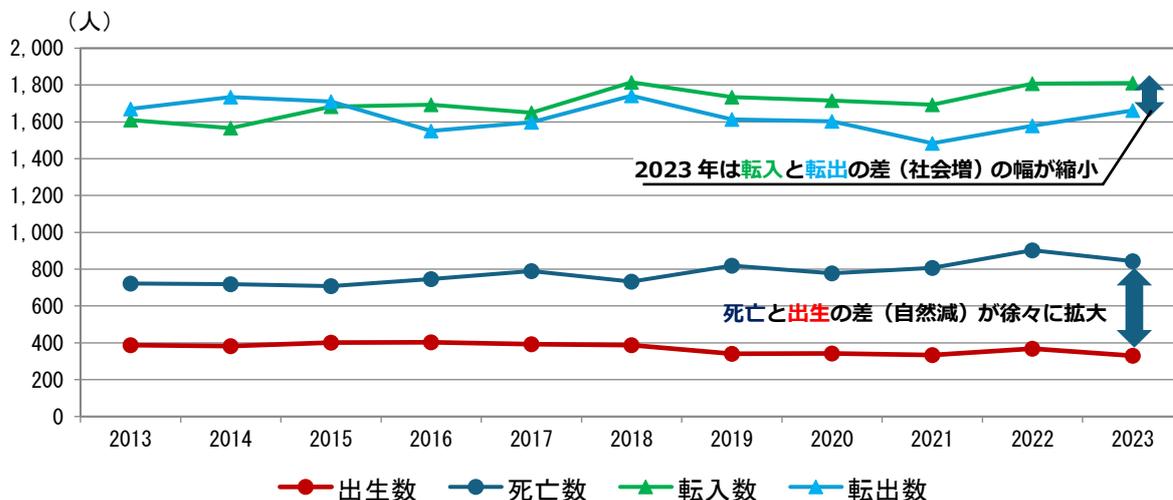
※（ ）内の数値は総人口で年齢不詳を含む

出典：2000～2020年は総務省「国勢調査」を基に作成。2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」を基に作成

#### ②人口動態

死亡数が出生数を上回る自然減の状態が継続し、死亡数と出生数の差は徐々に拡大する傾向にあります。また、転入数と転出数の推移を見ると、2016年から転入数が転出数を上回る社会増の状態が継続し、2022年まで社会増の増加幅が拡大傾向にありましたが、2022年からは転出数が増加傾向にある一方、転入数は横這い傾向がうかがえ、社会増が縮小する兆しがあります。

#### ■人口動態の推移

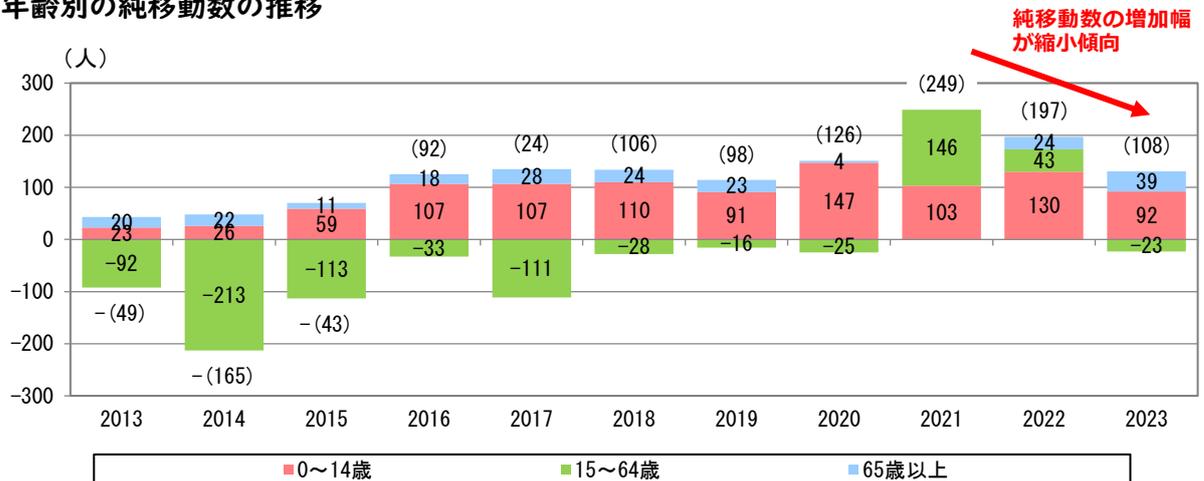


出典：長野県「毎月人口異動調査」を基に作成

### ③年齢別の純移動数

年齢3区分別の純移動数（転入－転出）の推移を見ると、0～14歳の純移動数がプラスで推移しており、子育て世帯が転入していると考えられます。2021・2022年は15～64歳人口の純移動数もプラスとなり、純移動数全体も200人前後まで増えましたが、2023年の15～64歳人口の純移動数が再びマイナスとなり、純移動数は縮小の兆しがあります。

#### ■年齢別の純移動数の推移



※（ ）内の数値は総数

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（REASASの人口マップ）を基に作成

### ④地域別の転入・転出状況

転入超過上位の地域を見ると、長野市が卓越しており、近年の社会増は長野市からの転入者が寄与しています。既往調査※によると、その背景として、相対的な地価の安さが指摘されており、未就学児を持つ世帯が転入しやすいことが強みとなっています。ただし、長野市からの転入超過数は2021年をピークに減少傾向にあります。一方、転出超過となっている上位の地域を見ると、松本市、小諸市、名古屋市、上田市、高崎市となっています。

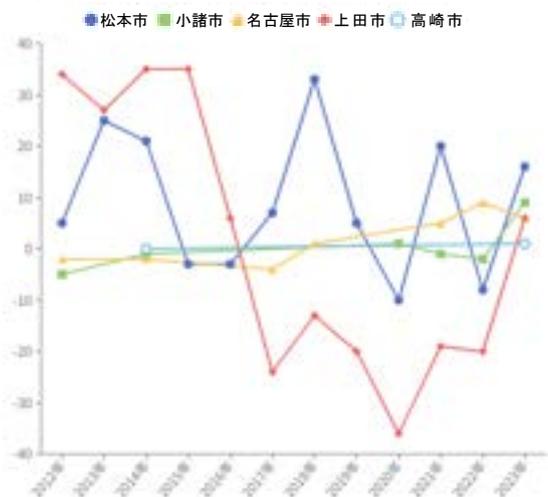
※(株)NTTデータ経営研究所「少子化対策地域評価ツールの活用促進に向けた自治体の交流機会の拡充や環境整備に係るモデル事業」（令和5年3月）

#### ■地域別の転入超過・転出超過数の推移

##### 【転入超過数上位5地域】



##### 【転出超過数上位5地域】

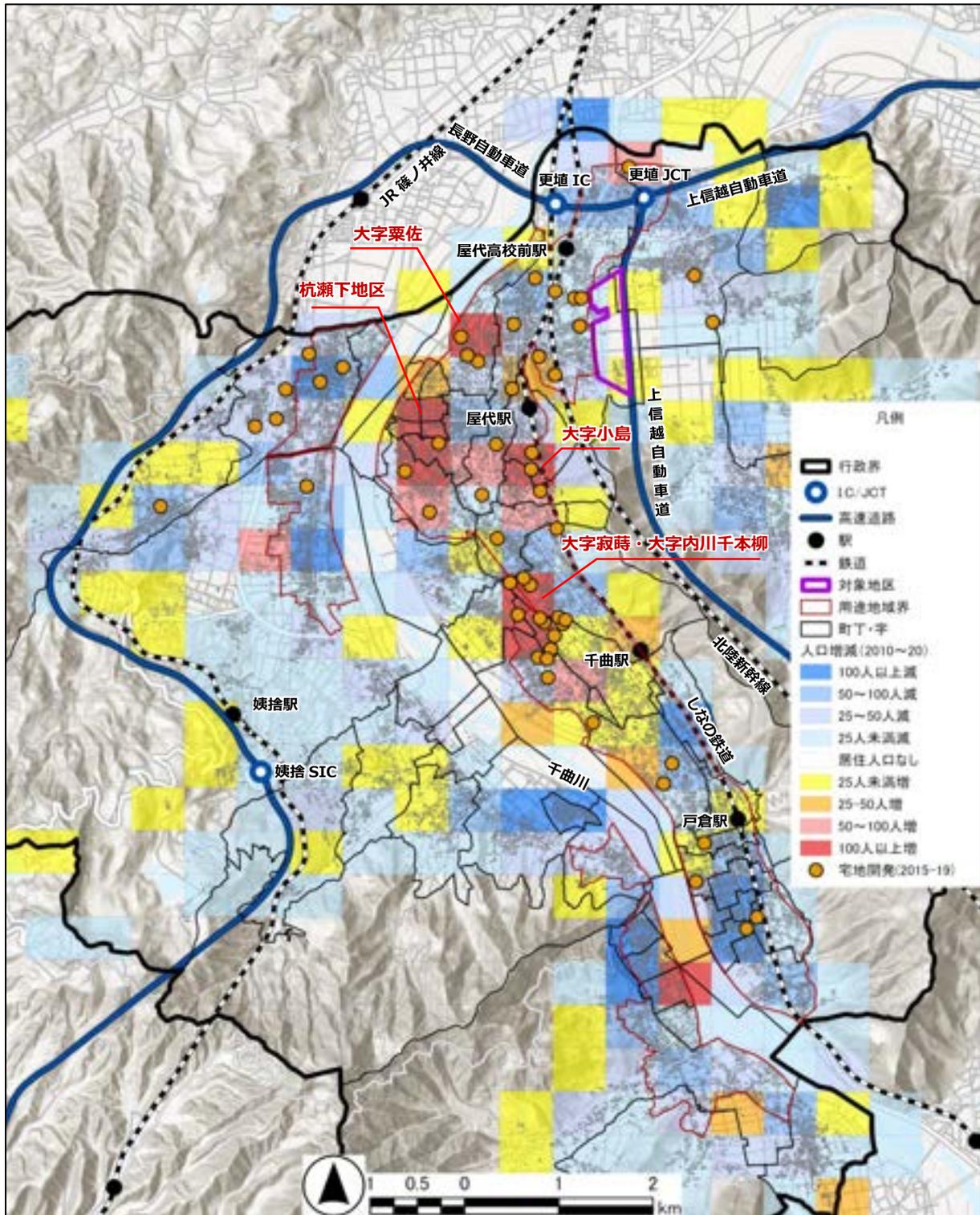


出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（REASASの人口マップ）

### ⑤人口増減分布

2010～2020年の人口増減の分布を見ると、住宅の開発行為が行われた大字粟佐、大字小島、大字寂時・大字内川千本柳、市街地整備が行われた杭瀬下地区で人口増加が顕著です。

#### ■人口増減分布(2010～2020年)



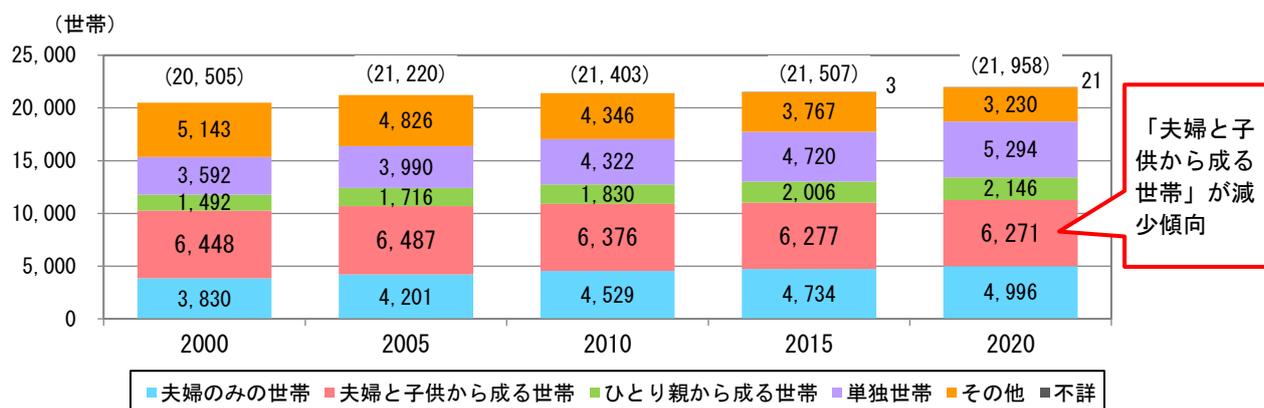
出典：総務省「国勢調査 500mメッシュデータ」を基に作成

## (4) 世帯数

一般世帯数は緩やかな増加を維持していますが、既に人口が減少局面にあるため、近い将来、減少に転じることが予想されます。

また、家族類型別の世帯数の推移を見ると、「夫婦と子供から成る世帯」が2005年以降から減少傾向に転じている一方、「単独世帯」や「夫婦のみ世帯」が増加傾向にあり、少子高齢化が影響（子育て世帯が減少し、世帯分離により高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が増加）していると考えられます。

### ■一般世帯数の推移



※ ( ) 内の数値は総数

出典：総務省「国勢調査」を基に作成

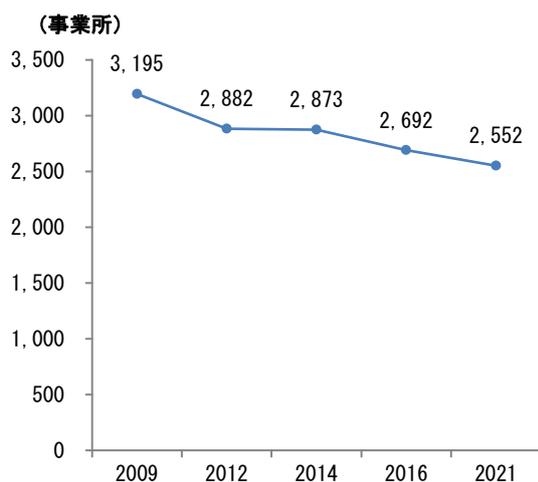
## (5) 産業・観光

### ①事業所数・従業者数

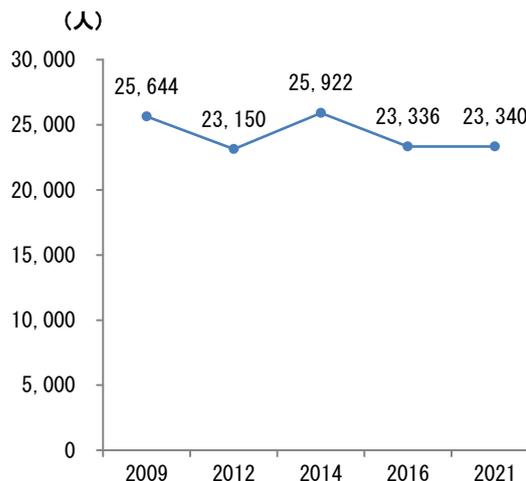
事業所数は、緩やかな減少傾向、従業者数は増減しながらも横這いで推移しています。事業所数が減少しながらも従業者が横這い傾向であることから、小規模な事業者が減少していると考えられます。

### ■事業所数・従業者数の推移

#### 【事業所数】



#### 【従業者数】



出典：総務省「経済センサス-活動調査」, 「経済センサス-基礎調査」を基に作成

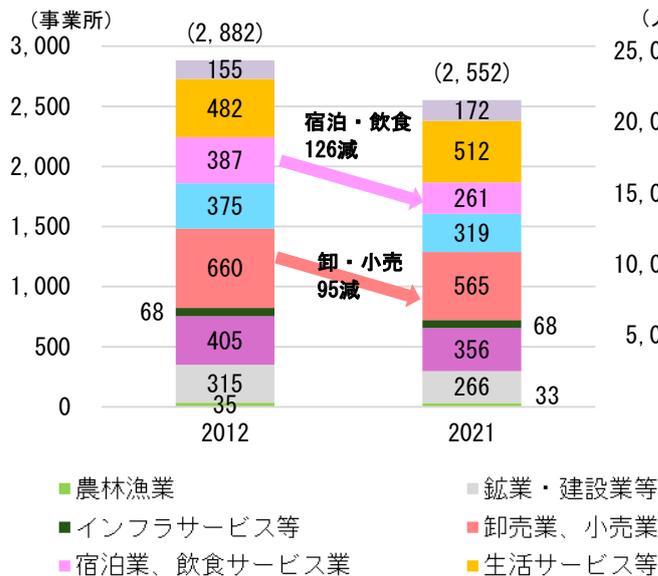
## ②産業別事業所数・従業者数

事業所は「宿泊業、飲食サービス業」と「卸売業、小売業」の減少が全体の減少の主な要因になっており、コロナ禍の影響で小規模な事業所が廃業したと考えられます。

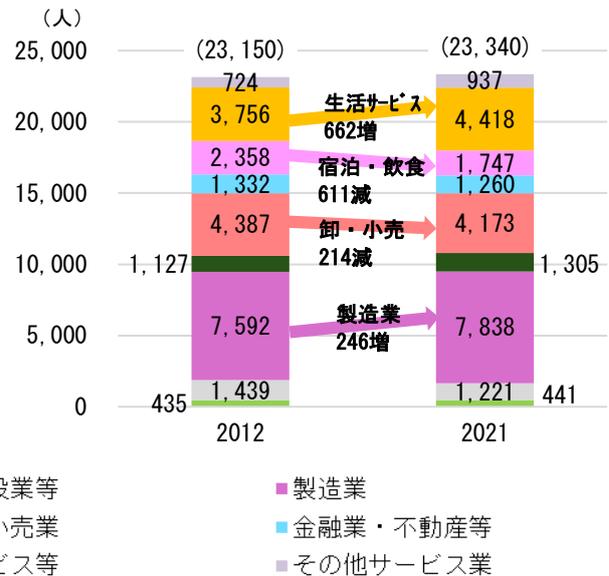
従業者数は「宿泊業、飲食サービス業」と「卸売業、小売業」が減少する一方、「製造業」と「生活サービス等」が増加しており、この業種を中心に雇用が維持され、全体として横ばいで推移したと考えられます。

### ■産業別事業所数・従業者数の推移

#### 【事業所数】



#### 【従業者数】



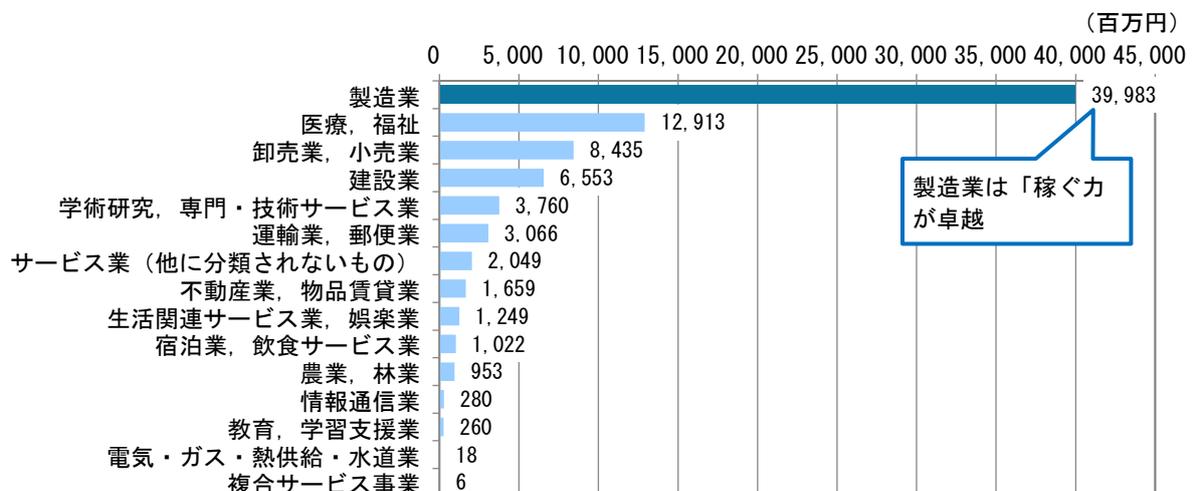
※鉱業・建設業等：「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」、インフラサービス等：「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」、金融業・不動産等：「金融業、保険業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」、生活サービス等：「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」、その他サービス業：「複合サービス事業」「サービス業(他に分類されないもの)」「分類不詳」

出典：総務省「経済センサス-活動調査」を基に作成

## ③産業別付加価値額

産業別の付加価値額を見ると、製造業が約400億円と最も多く、卓越しています。製造業は、千曲市の産業構造の中で地域経済を担う重要な役割を果たしています。

### ■産業別付加価値額(2021年)



出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」のRESASによる再編加工を基に作成

#### ④農業

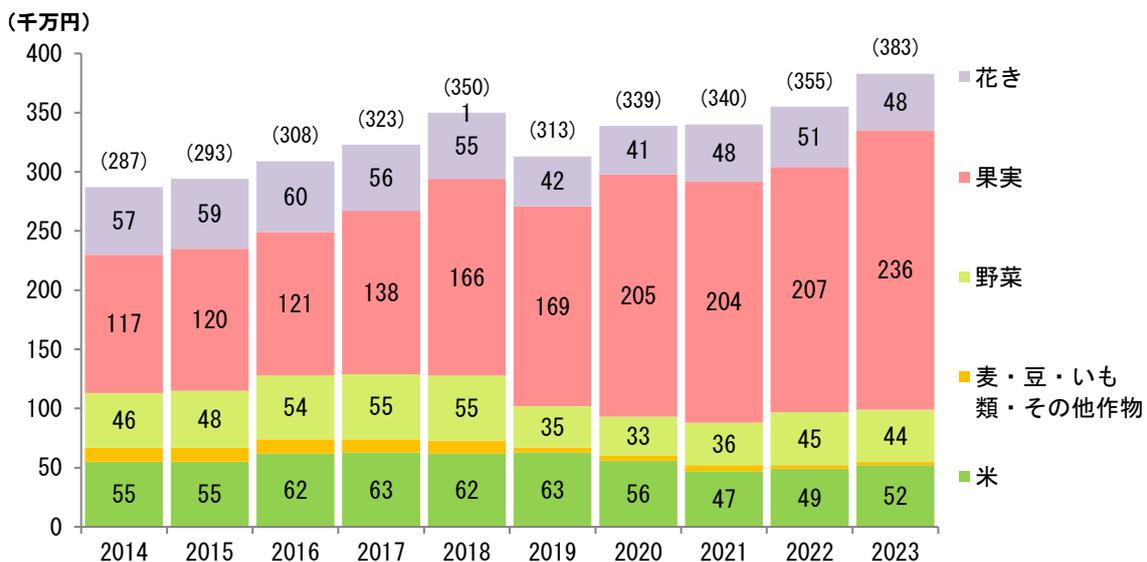
##### (農業産出額)

農業産出額の推移を見ると、増減はしながらも増加傾向で推移しており、2014年の約29億円から2023年には約38億円となっています。中でも果実の増加が寄与しており、2014年の約12億円から2023年には約24億円と2倍になっています。

2023年の果実の内訳を見ると、ぶどうが63%、りんごが27%となっており、この2つで90%を占め、特にぶどうは、近年、ワイン用ぶどうの栽培面積が増加しています。

千曲市の特産である「あんず」について長野県の栽培面積・出荷額の推移を見ると、栽培面積は減少傾向、出荷量は増減しながらも平均的に500 t 台で推移しており、千曲市でも同様の傾向と推察されます。

##### ■農業産出額(耕種)の推移

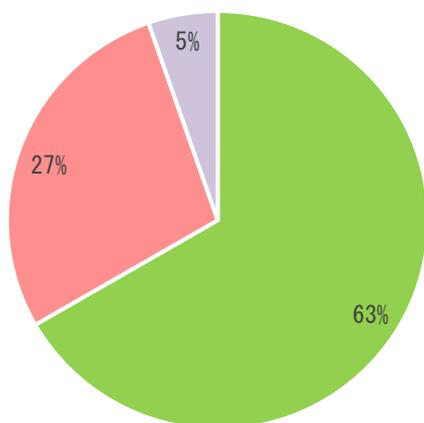


※1 ( ) 内の数値は総数

※2 2019年以降の「花き」には「麦」「その他の作物」を含む(統計上、秘匿扱いになったため内訳が不明)

出典：農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」を基に作成

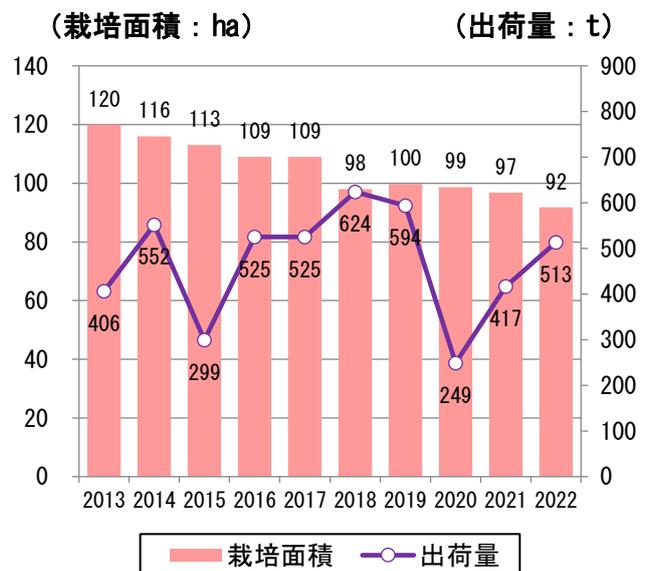
##### ■果実の農業産出額の内訳(2023年)



※その他：西洋なし、もも、おうとう、うめ

■ぶどう ■りんご ■その他

##### ■あんずの栽培面積・出荷額(長野県)の推移



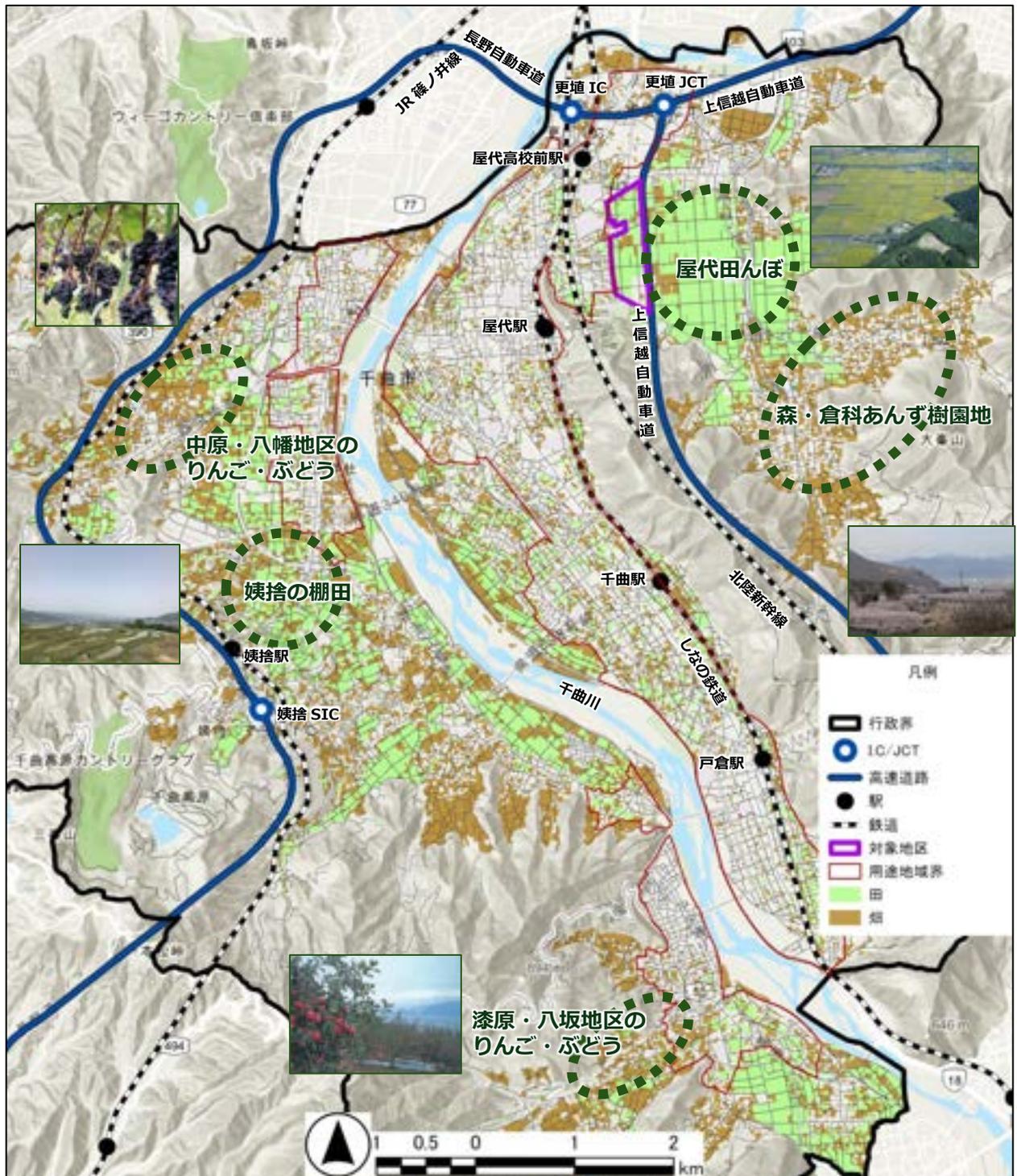
出典：農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」を基に作成

出典：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」を基に作成

## (農地分布)

対象地区の東側には「屋代たんぼ」と呼ばれる水田が広がっています。また、森・倉科地区の山裾では「あんず樹園地」があります。千曲川の西側では、全国で初めて棚田として国の名勝に指定された「姨捨の棚田」があるほか、漆原・八坂地区に代表される扇状地ではりんご・ぶどうが栽培されています。

### ■農地の分布



※写真は、千曲市景観計画、市報千曲、千曲市HPより

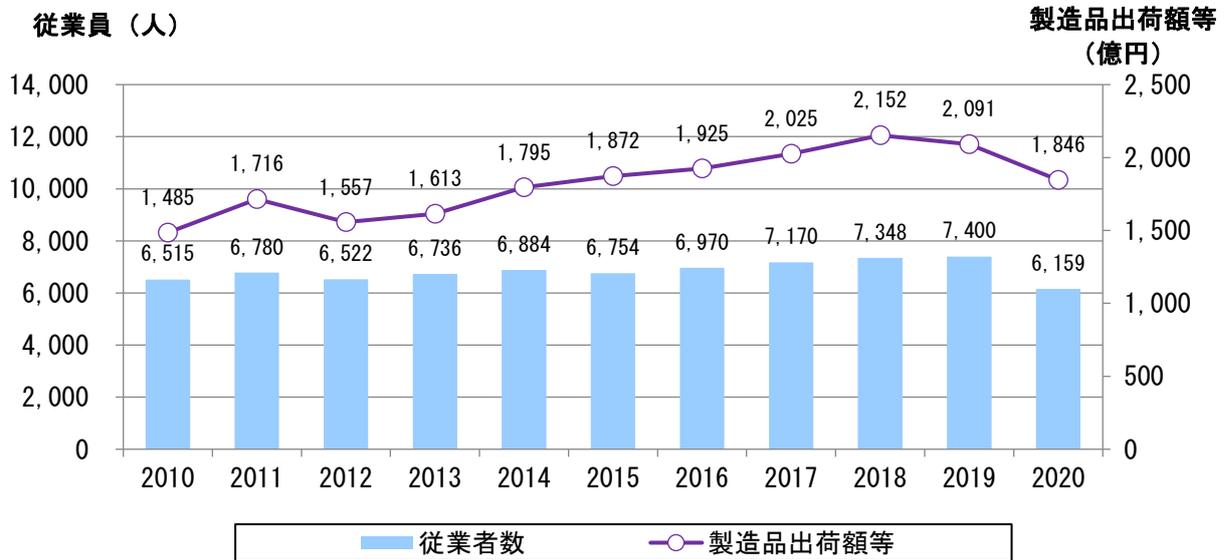
出典：「千曲都市計画基礎調査」(令和3年3月)を基に作成

## ⑤製造業

### (従業者数と製造品出荷額等)

従業者数は2019年まで、製造品出荷額等は2018年まで緩やかな増加傾向で推移していましたが、以降は減少しています。また、製造品出荷額等の内訳では主力（シェアが最大）である生産用機械器具製造業の減少が大きくなっています。

#### ■製造業の従業者数と製造品出荷額等の推移

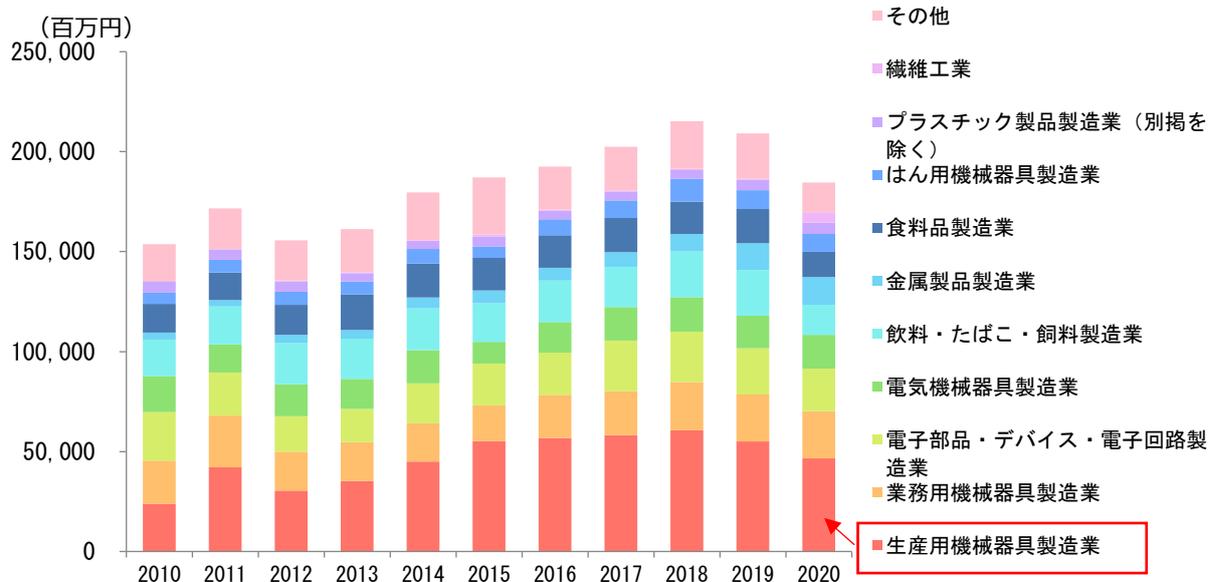


※従業者4人以上の事業所のみ

※平成27年の製造品出荷額等については、個人経営調査票による調査分を含まない

出典：経済産業省「工業統計調査」、平成23年・27年・令和2年は総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」を基に作成

#### ■産業中分類別の製造品出荷額等の推移



※従業者4人以上の事業所のみ

出典：RESAS 地域経済分析システムの公表データを基に作成

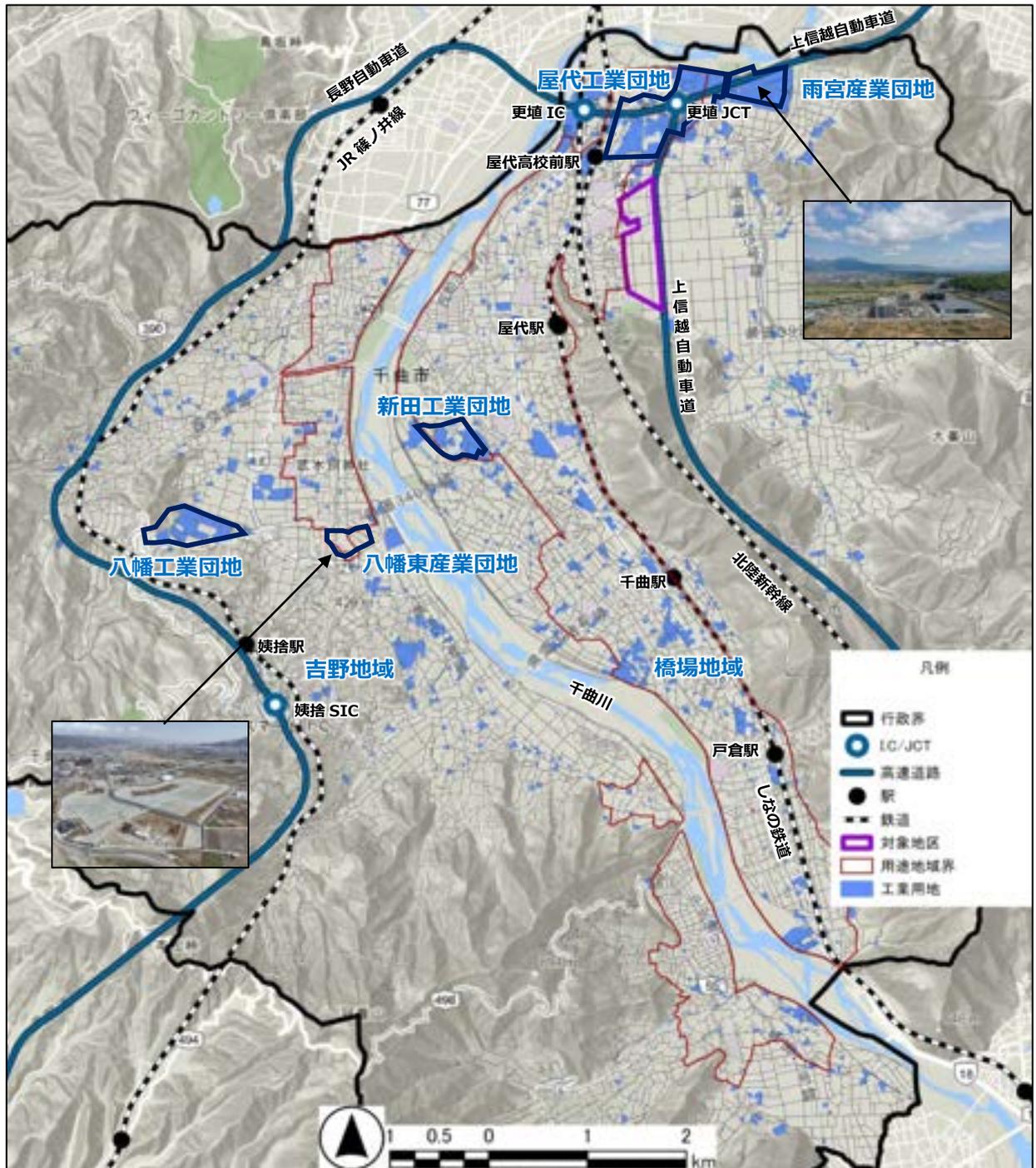
(経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工)

## (工業用地分布)

市内には工業団地、産業団地が5つあるほか、吉野地域や橋場地域など産業集積地が分布しています。

- 八幡工業団地：プラスチック加工、医療機器、倉庫業等が立地
- 屋代工業団地：電子部品・デバイス・電子回路製造業や金属製品製造業、倉庫業等が立地
- 新田工業団地：業務用機械器具製造業や倉庫業等が立地
- 八幡東産業団地：建設機械レンタル企業の国内最大規模の新工場が立地予定
- 雨宮工業団地：半導体・電子・電気機器製造業等が立地

### ■土地利用現況における工業用地及び工業団地等の分布



※写真は、千曲市HPより

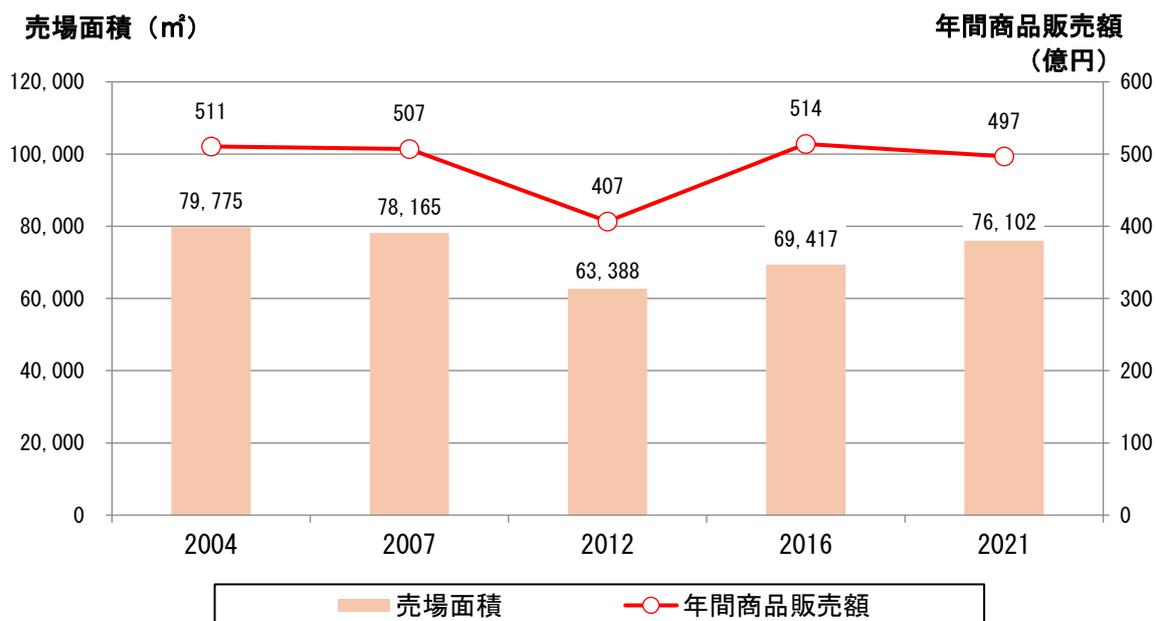
出典：「千曲都市計画基礎調査」(令和3年3月)を基に作成

## ⑥小売業

### (売場面積と年間商品販売額)

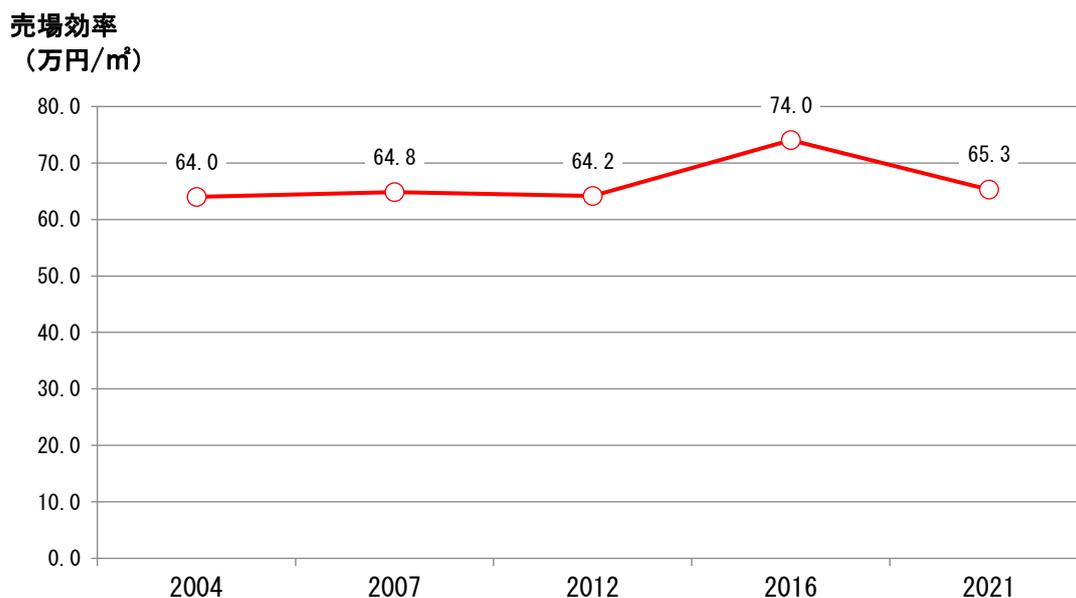
東日本大震災で日本経済全体が低迷した2011年を除くと、千曲市の売場面積は2016年まで微減傾向で推移していましたが、2016～2021年には増加に転じています。この間は「ホームプラザナフコ千曲店」や「ダイレックス千曲店」が立地しています。年間商品販売額は、2011年を除くと、500億円前後で推移しており、ほぼ横ばい傾向です。また、売場効率を見ると、2016年を除いて65万円前後で推移しており、店舗間での過当競争は生じていないと考えられます。

#### ■売場面積と年間商品販売額の推移



出典：2004及び2007年は経済産業省「商業統計」、2012年以降は総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」を基に作成

#### ■売場効率の推移



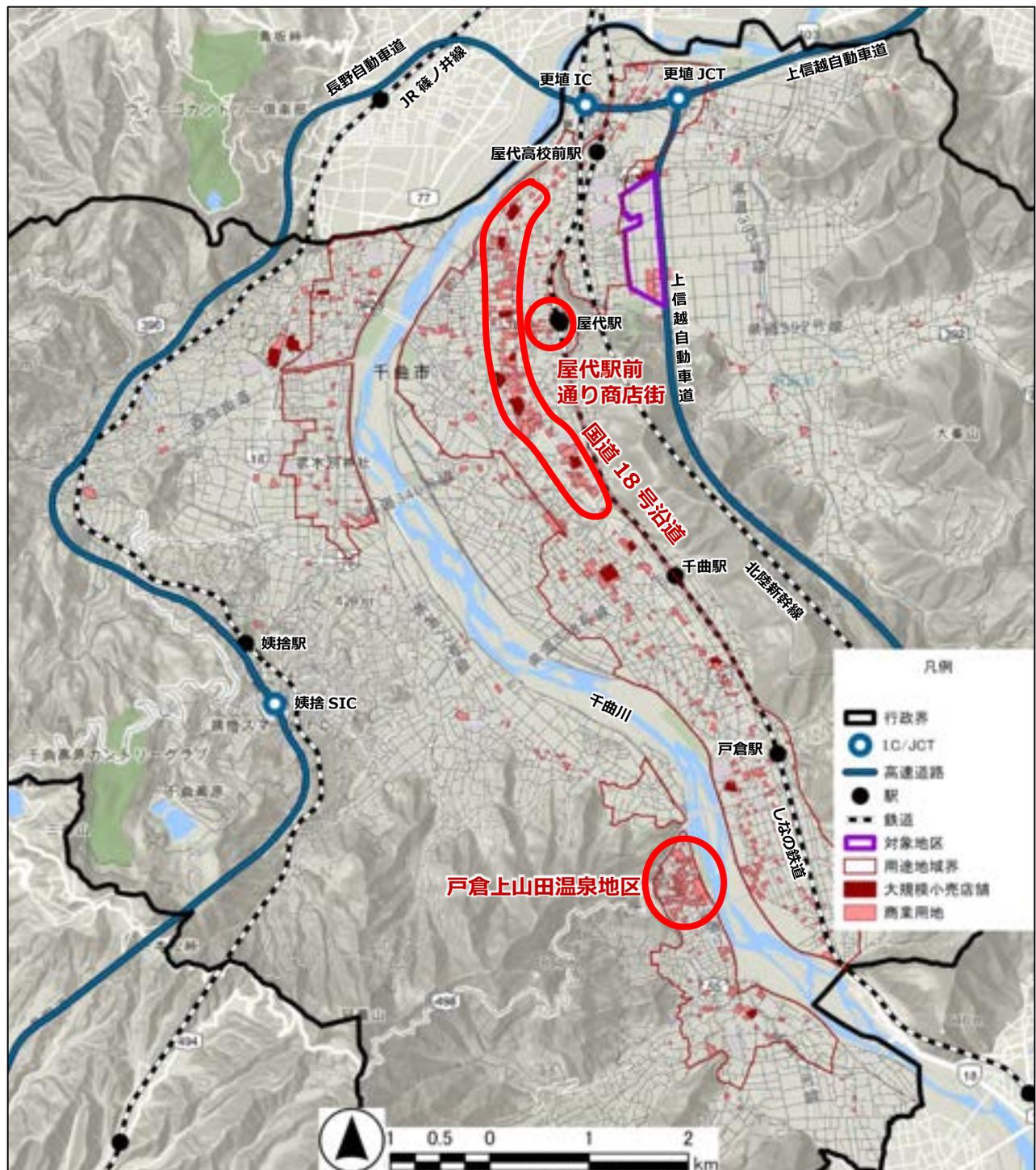
出典：2004及び2007年は経済産業省「商業統計」、2012年以降は総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」を基に作成

### (商業用地・大規模小売店舗)

大規模小売店舗の分布を見ると、交通利便性を背景として、国道18号等の広域幹線道路沿道で立地する傾向があります。

また、商業用地も国道18号等の等の広域幹線道路沿道に集積が見られます。また、沿道商業以外では、屋代駅西側の商業集積（屋代駅前通り商店街）があるほか、戸倉上山田温泉地区では観光商業系の土地利用が集積しています。

#### ■土地利用現況における商業用地・大規模小売店舗分布



出典：「千曲都市計画基礎調査」（令和3年3月）を基に作成

## (商圈構造)

千曲市の商圈は旧更埴市を一次商圈として、旧戸倉町、旧上山田町等が二次商圈と同時に、旧更埴市は長野市（合併前）の一次商圈でもあります。

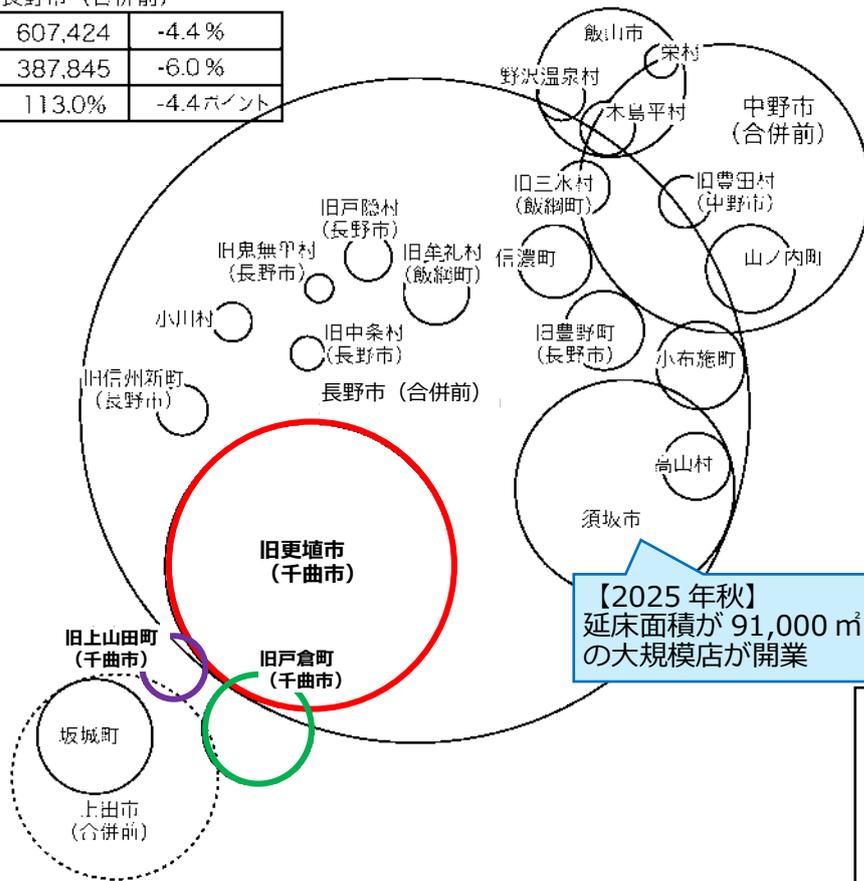
千曲市の商圈人口、吸引人口、吸引力係数<sup>\*</sup>は増加、地元滞留率は概ね横ばい傾向となっており、一定の自立性・成長性を維持していますが、須坂市の商圈が大規模店の立地により今後拡大することが見込まれ、千曲市の商圈も購買力の流出など影響を受けることが考えられます。

<sup>\*</sup>吸引力係数：居住人口に対する吸引人口の百分比であり、数値が大きいほど地元滞留率並びに他市町村からの流入人口の割合が高いことを示す。

## ■北信地区の商圈構造と商圈人口・地元滞留率・吸引人口

長野市（合併前）

|         |          |
|---------|----------|
| 607,424 | -4.4%    |
| 387,845 | -6.0%    |
| 113.0%  | -4.4ポイント |



飯山市

|        |          |
|--------|----------|
| 30,234 | -6.0%    |
| 11,648 | -11.6%   |
| 64.7%  | -3.7ポイント |

中野市（合併前）

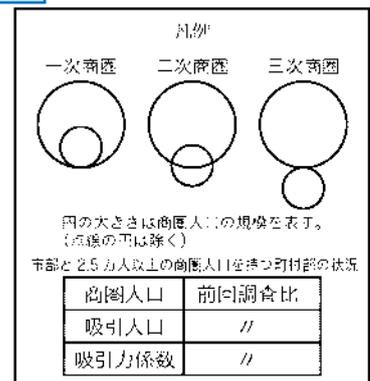
|         |          |
|---------|----------|
| 114,126 | -2.6%    |
| 40,077  | -8.7%    |
| 108.6%  | -6.9ポイント |

須坂市

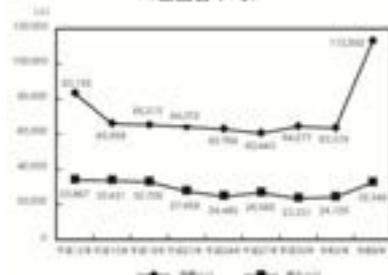
|        |          |
|--------|----------|
| 65,269 | -1.8%    |
| 23,164 | -6.7%    |
| 47.8%  | -2.5ポイント |

旧更埴市（千曲市）

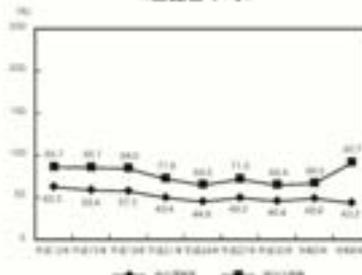
|         |          |
|---------|----------|
| 112,892 | 78.1%    |
| 32,348  | 34.1%    |
| 90.7%   | 24.2ポイント |



圏人口と吸引人口（旧更埴市（千曲市））  
＜全品目平均＞



地元滞留率と吸引力係数（旧更埴市（千曲市））  
＜全品目平均＞



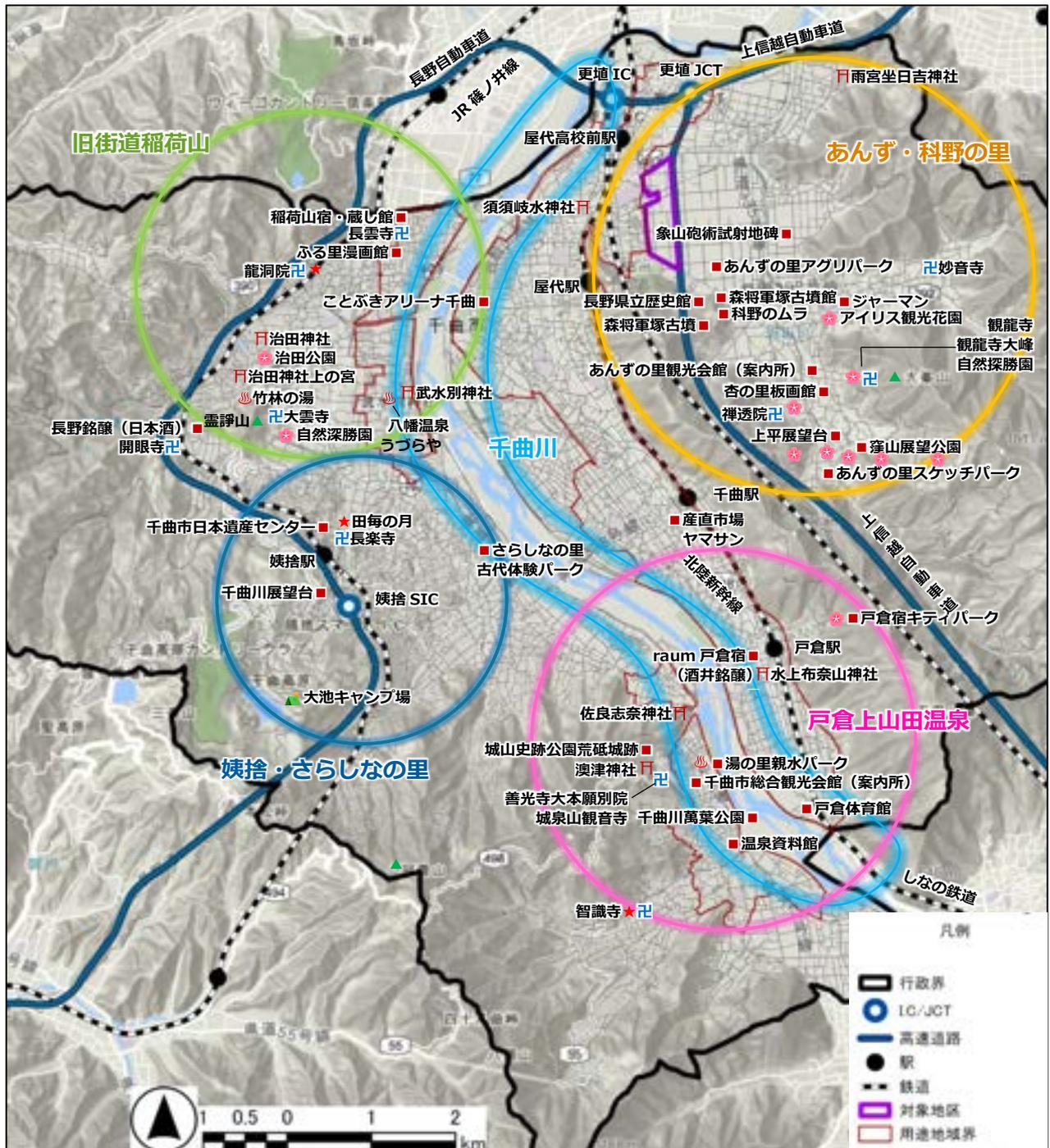
出典：「長野県商圈調査報告書」（令和6年度）を基に作成

## ⑦観光

### (観光資源の分布)

千曲市の観光資源は、日本を代表する河川である「千曲川」、「日本一のおんずの里」と日本最大級の竪穴式石室を持つ「森將軍塚古墳」に象徴される「おんず科野」エリア、「稲荷山重要伝統的建造物群保存地区」に象徴される「旧街道稲荷山」エリア、国の名勝・重要文化的景観・日本遺産である「姨捨棚田（田毎の月）」に象徴される「姨捨・さらしなの里」エリア、開湯120年の歴史をもつ温泉街に象徴される「戸倉上山田温泉」エリアの5つの魅力エリアがあります。

### ■観光資源分布



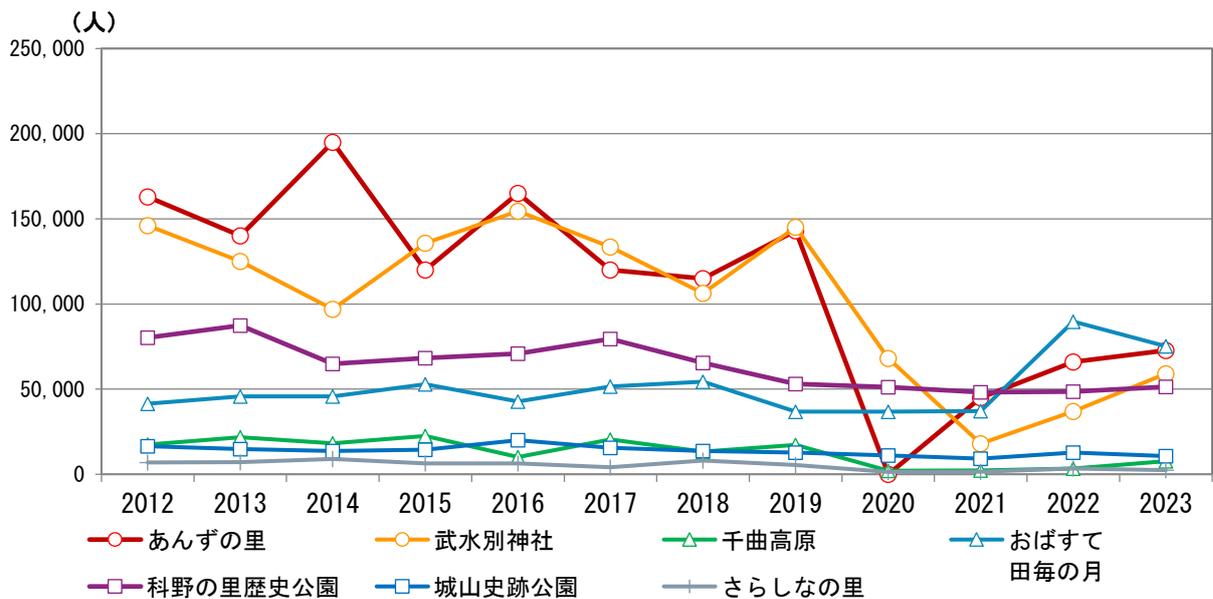
出典：信州千曲観光局のパンフレットを基に作成

## (観光地利用者数)

地点別の観光地利用者数の推移をみると、2019年以前（コロナ禍前）は「あんずの里」と「武水別神社」が概ね10万人以上、「科野の里歴史公園」が5万人以上、「おばすて田毎の月」が5万人前後で推移していましたが、2020年のコロナ禍は「あんずの里」と「武水別神社」の利用者数に大きな影響を与えました。「あんずの里」と「武水別神社」は、2023年においてもコロナ禍前の水準に戻っていない状況です。

一方、重要文化的景観や日本の棚田百選に選定されている「おばすて田毎の月」は、2022年以降増加傾向にあり、コロナ禍前の水準を超える状況にあります。また、「科野の里歴史公園」は、コロナ禍から5万人前後で推移しており横ばい傾向となっています。

### ■施設・地域別の観光地利用者数の推移



※2020年は「あんずの里」の「あんずまつり」が中止

出典：千曲市観光課資料を基に作成

### ■施設・地域の概要

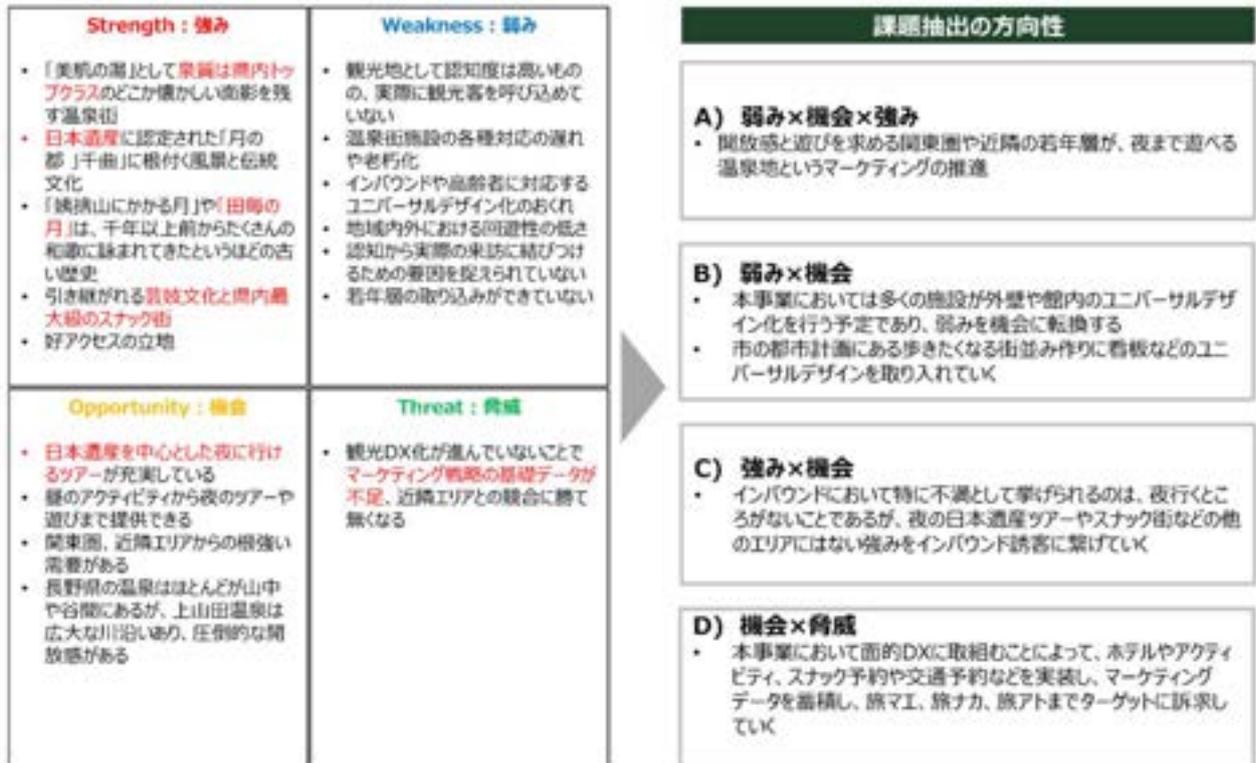
|          |   |   |
|----------|---|---|
| あんずの里    | 「一目十万本」とうたわれる日本一のあんずの里。里山一面を薄紅色に染め上げ、展望台からは飯綱山など雪の残る美しい山々の景色も一緒に堪能でき、畑の中の小径を歩くと花を間近に感じられる花見の名所。 |  |
| 武水別神社    | 善光寺平の五穀豊穡と千曲川の氾濫防止を祈って祀られた神社となっており、現在では交通安全祈願で有名。県の天然記念物に指定されている境内の古木や立川流の傑作とされている社殿の彫刻は見事。     |  |
| 千曲高原     | 大池自然の家、大池キャンプ場、ゴルフ場などの施設があり緑に囲まれてやすらぎの時間が過ごせる。  |  |
| おばすて田毎の月 | 国の名勝・天然記念物（田毎の月）にも認定されている棚田は、約1,800枚からの田から成り立ち、季節ごとに様々な景色を見せる。また、古より月見の名所としても知られている。            |  |
| 科野の里歴史公園 | 森將軍塚古墳、長野県立歴史館、千曲市森將軍塚古墳館などの施設一帯を歴史公園として整備。   |  |
| 城山史跡公園   | 村上氏の土族である山田氏によって築城された山城。武田軍と上杉軍によって争奪戦が繰り返されたことでも有名。連郭式山城を再現した公園で、大河ドラマなどのロケ地ともなっている。           |  |
| さらしなの里   | さらしなの里古代体験パークは、縄文時代の集落を再現した歴史公園。公園内の歴史資料館には遺跡から発掘された縄文時代の土器などを展示。体験コーナーでは火おこしや飾り玉づくりなどが楽しめる。    |  |

出典：「信州千曲観光局中長期観光計画&実績概要（2023年5月1日）」及び「GO NAGANO」を基に作成

## (地域特性の分析)

信州千曲観光局「中長期観光計画&実績概要」(2023年5月1日)によると、地域の強みとして、「泉質は県内トップクラスのどこか懐かしい面影を残す温泉街」などが強みである一方、地域の弱みとして、「温泉街施設の各種対応の遅れや老朽化」、「地域内における回遊性の低さ」などが指摘されています。

### ■観光における地域特性分析



出典：信州千曲観光局「中長期観光計画&実績概要」(2023年5月1日)

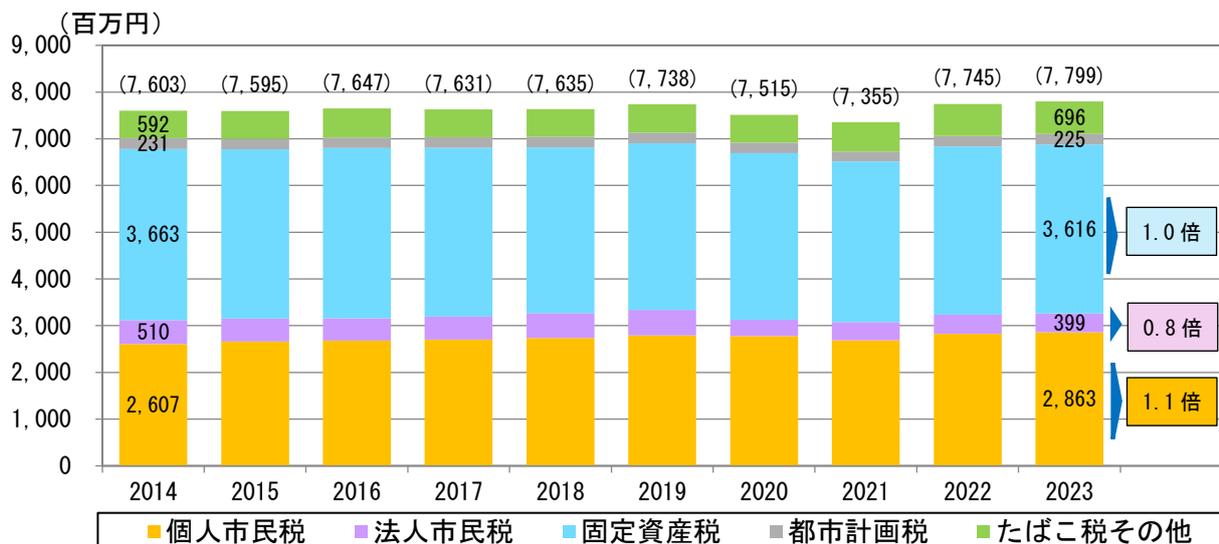
歴史文化の現況

## (6) 財政

### ① 市税収入

千曲市の市税収入の推移を見ると、コロナ禍の時期を除いて、微増で推移しており、2023年度は約78億円（過去10年間で1.03倍）となっています。内訳を見ると個人市民税が1.1倍となっており、子育て世代を中心とした転入超過の傾向が背景にあると考えられます。一方、法人市民税は0.8倍であり、コロナ禍での減少から回復途上です。また、市税の中で最も割合の高い固定資産税は横ばいとなっています。

#### ■ 市税収入額の推移

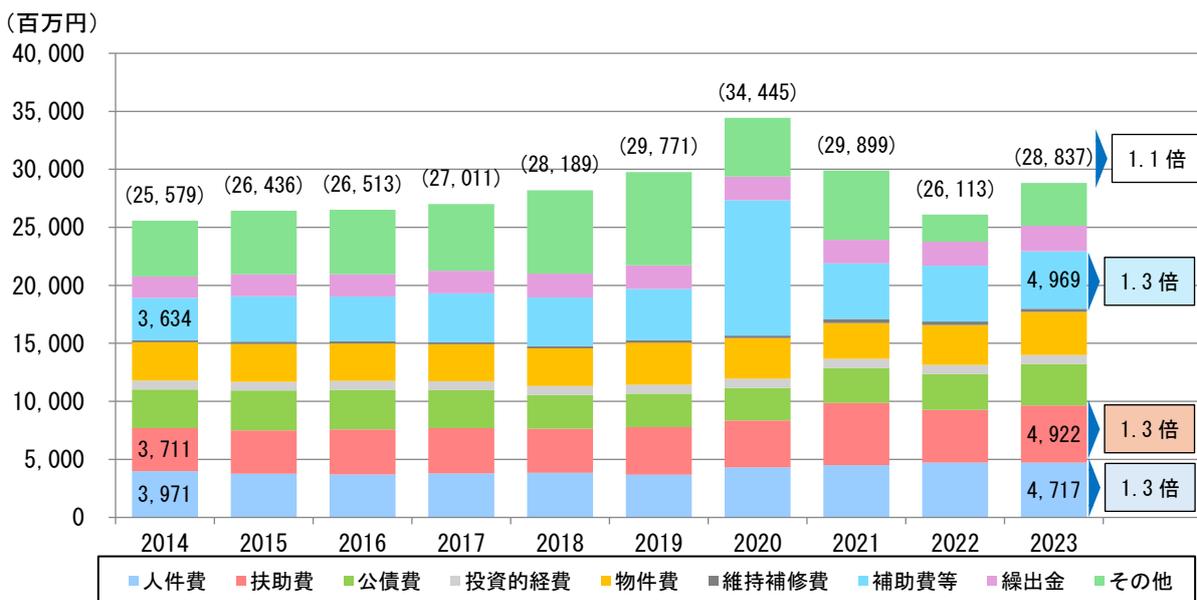


出典：総務省「市町村別決算状況調」を基に作成

### ② 性質別歳出額

千曲市の性質別歳出額の推移を見ると、コロナ禍の時期を除いて、微増で推移しており、2023年度は約288億円（過去10年間で1.1倍）となっています。内訳を見ると人件費・扶助費・補助費等が1.3倍となっています。扶助費は人口構造の高齢化によって今後も自然増が見込まれます。

#### ■ 性質別歳出額の推移



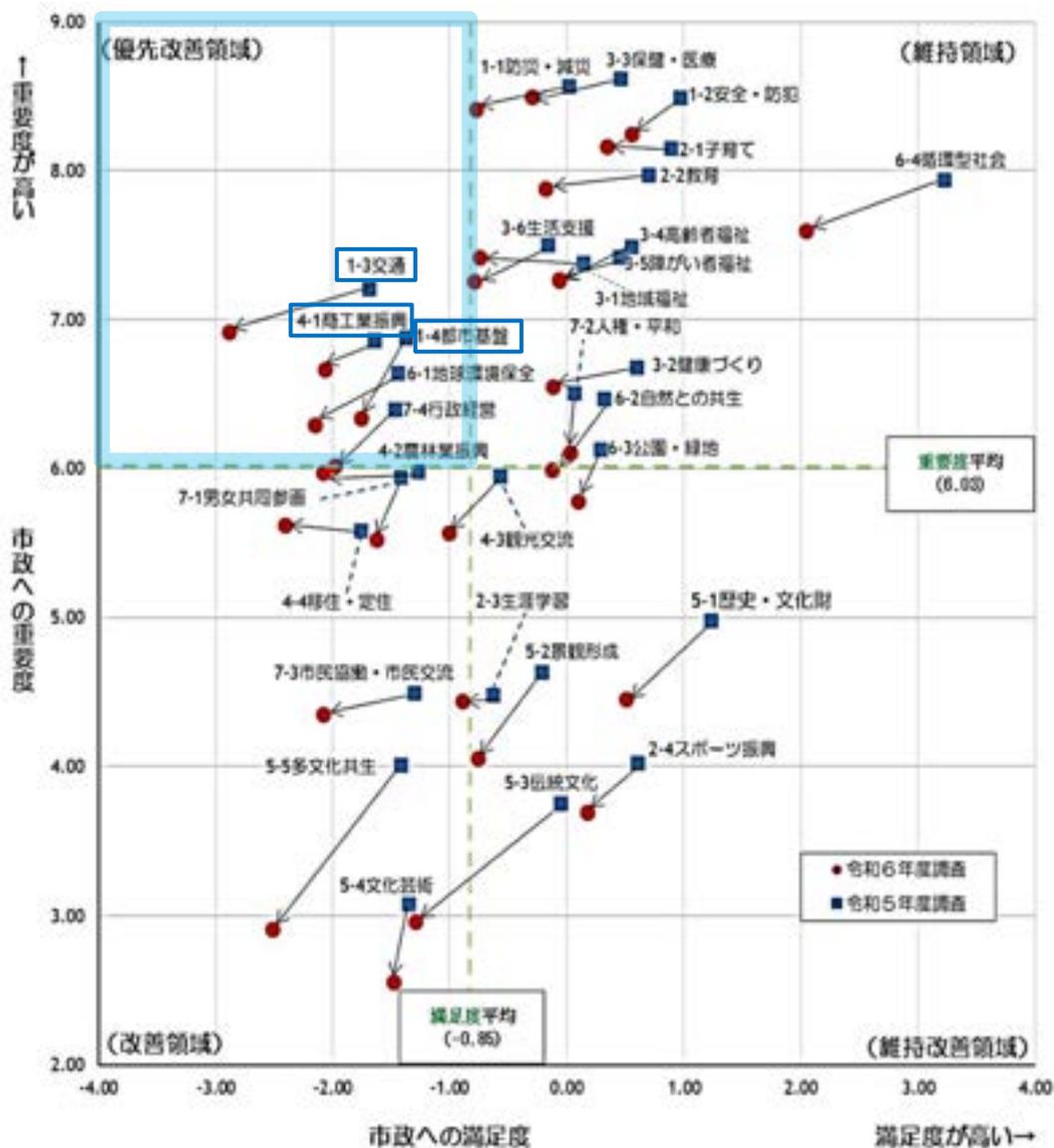
出典：「千曲市統計書」を基に作成

## (7) 市民意識

### 1) 施策に対する評価

「令和6年度市民意識調査」では、「千曲市総合計画」に掲げた31項目の達成方針に対する市民の評価（満足度と重要度）を調査しています。重要が高い一方、満足度が低い項目は重点的な取組が必要な項目と考えられ、「交通」、「商工業振興」、「都市基盤」といった屋代SIC周辺地区のまちづくりに関連する項目が含まれています。

■ 市政への満足度と重要度の相関図（令和5年度との比較）

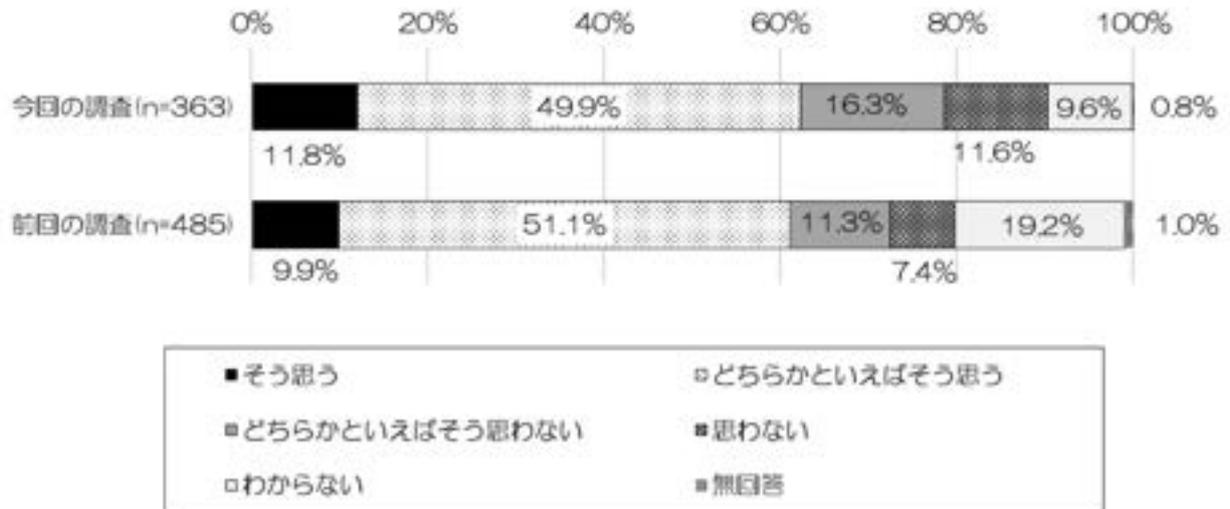


出典：令和6年度「市民意識調査」集計・分析結果報告書

## 2) 子育て環境に対する評価

「千曲市 こども計画策定のためのニーズ調査集計結果（令和6年5月）」では、千曲市は子育てしやすい環境かとたずねたところ（就学前児童保護者のみ）、「どちらかといえばそう思わない」が5.0%増加、「そう思わない」が4.2%増加と、全体として不満を持っている人の割合が増えています。

### ■千曲市の子育て環境



出典：計画策定のためのニーズ調査集計結果（令和6年5月）



## (2) 土地利用

### ①対象地区

現状は農地であり、地区の南端に観光施設の「あんずの里物産館」や「あんずの里アグリパーク」が立地しています。

### ②対象地区周辺

対象地区周辺の土地利用を方面別に見ると、工業、農業、自然、住宅・商業等の異なる土地利用に囲まれています。

- ・北側：更科IC・更科JCT周辺では、工業/産業団地を中心とした工業系土地利用が中心
- ・東側：水田を中心とした土地利用が広がり、山裾に集落（住宅用地）が形成
- ・南側：長野県立歴史館が立地しているほか、有明山の尾根の先端に森將軍塚古墳が所在
- ・西側：住宅主体の市街地で、屋代駅周辺は商店街、国道18号沿いは商業系土地利用が中心

### ③人口集中地区

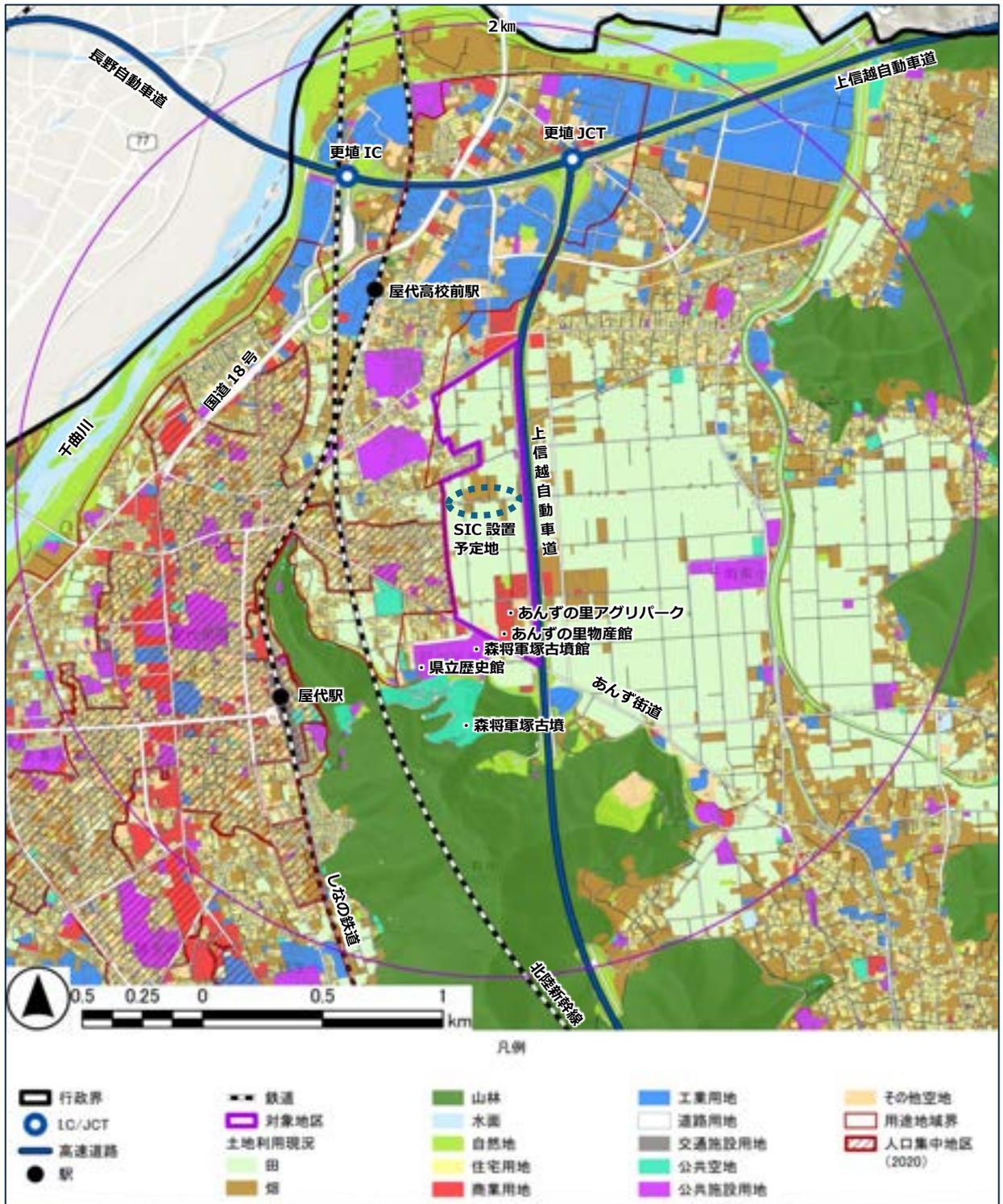
しなの鉄道西側は旧更埴市の中心市街地等であり、人口集中地区（市街地の目安：概ね40人/ha以上）となっているほか、しなの鉄道東側では「あんず街道」沿いが人口集中地区となっています。人口集中地区以外の用途地域内は住宅と農地が混在する土地利用となっています。

#### ■対象地区の現状（森將軍塚古墳より北を望む）



出典：（仮称）屋代スマートインターチェンジの概要について（上空写真）

■土地利用現況



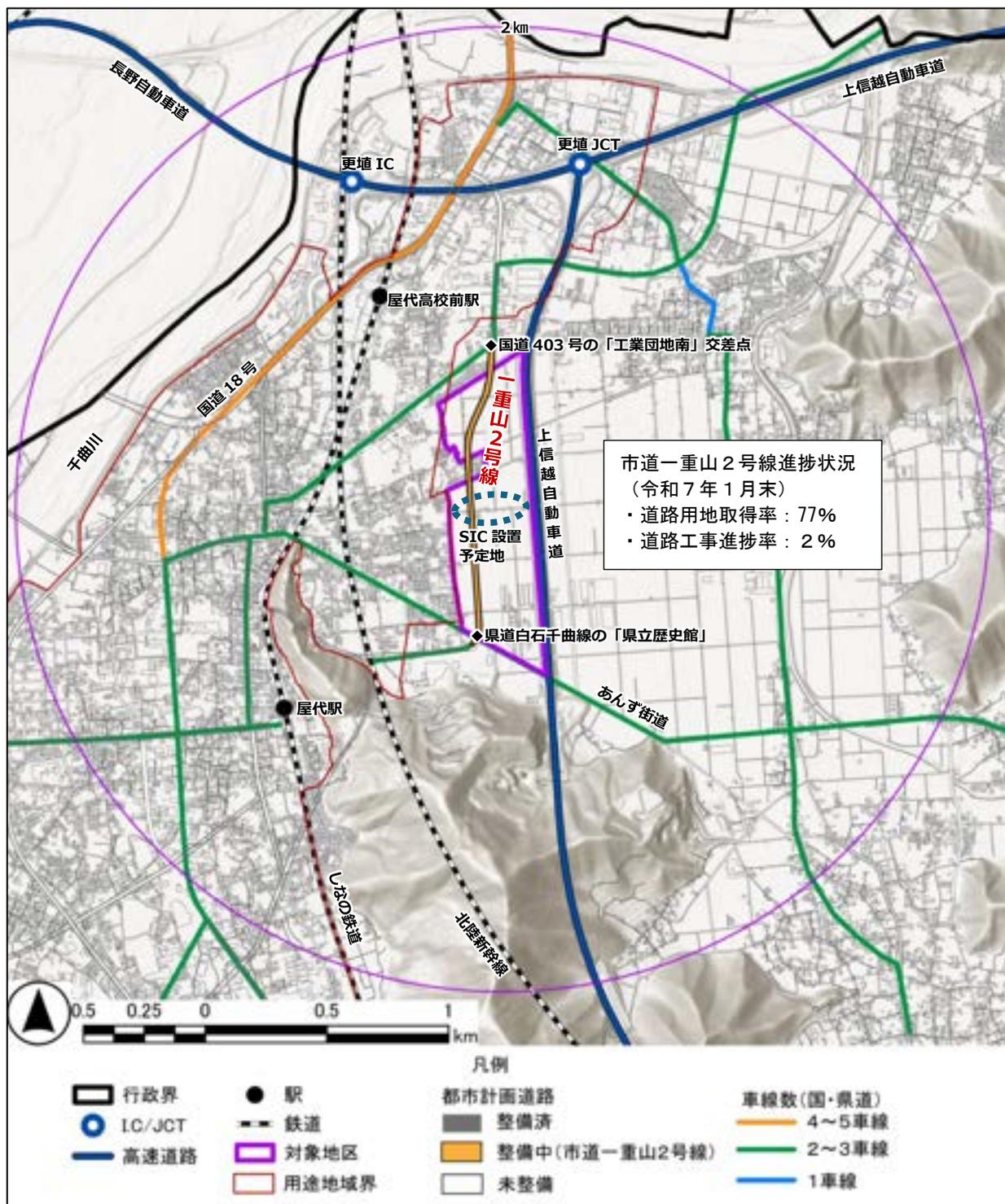
出典：「千曲都市計画基礎調査」(令和3年3月)を基に作成

### (3) 道路交通

#### ① 道路の整備状況

屋代SICの接続道路として、令和2年度から市道一重山2号線の整備に着手しています（目標：令和11年3月までの開通）。整備区間は、国道403号の「工業団地南」交差点から県道白石千曲線の「県立歴史館」までの約1.4キロメートルで、道路幅は20mの計画となっています。中期的には一重山を抜けて、しなの鉄道西側の市街地に連絡することとなります。

#### ■ 都市計画道路の整備状況



出典：「千曲都市計画基礎調査」（令和3年3月）及び都市計画道路GISデータを基に作成

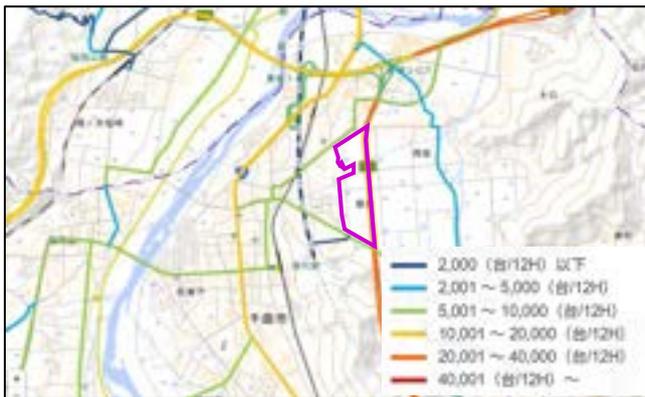
## ②自動車交通量 (国県道)

屋代SICが設置される上信越自動車は12時交通量が2～4万台となっています。また、南北方向の幹線道路である国道18号は12時交通量が1～2万台であり、混雑度は1超の区間があります。

朝夕の旅行速度は、東西方向において20km/時未満となっており、屋代駅前通りでは10km/時未満となっています。昼間は朝夕より混雑が緩和されるものの、屋代駅前通りをはじめ、東西方向では20km/時未満の区間が見られます。

### ■自動車交通の状況

#### 【昼間12時間交通量】



#### 【混雑度】



#### 【朝夕旅行速度(上り・下りのうち遅い方)】



#### 【昼間旅行速度(朝夕旅行速度と同一方向)】



出典：国土交通省「令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果WEBマップ」

## (令和7年度の交通量調査結果)

令和7年10月に実施された交通量調査結果によると、現況の交通量は、国道18号に位置する①粟佐北交差点、②屋代工業団地交差点が5万台/日以上と多く、次いで⑦横町交差点が約2万台/日となっています。また、平日は交差点①～④の大型車混入率が高く、工業団地へ向けた物流等の利用が考えられます。平日はピーク時が7時台と17時台となっており、通勤通学による交通集中が考えられます。一方、休日はピーク時が11時台～16時台となっており、日常的な交通移動が中心と考えられます。

渋滞長調査結果では、横町交差点（東側）の流入部Dにおいて、休日は定常的に20～60m程度の渋滞が発生しています。原因は、一度の青信号で通過できる車両が3～4台程度となるため、信号現示の短さが要因の一つと考えられます。また、流入部Fでは、平日7時台に最大370mの渋滞が発生しています（同様の渋滞は平日15時台、16時台で発生）。休日は渋滞が発生しておらず、右折車両の発生時に滞留が発生しています。

### ■ 交差点での交通量調査結果の概要

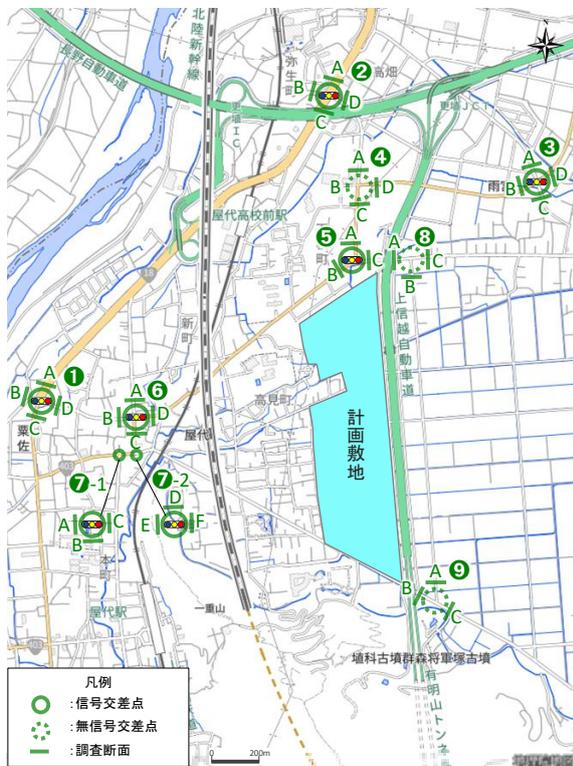


図 交通量調査地点図

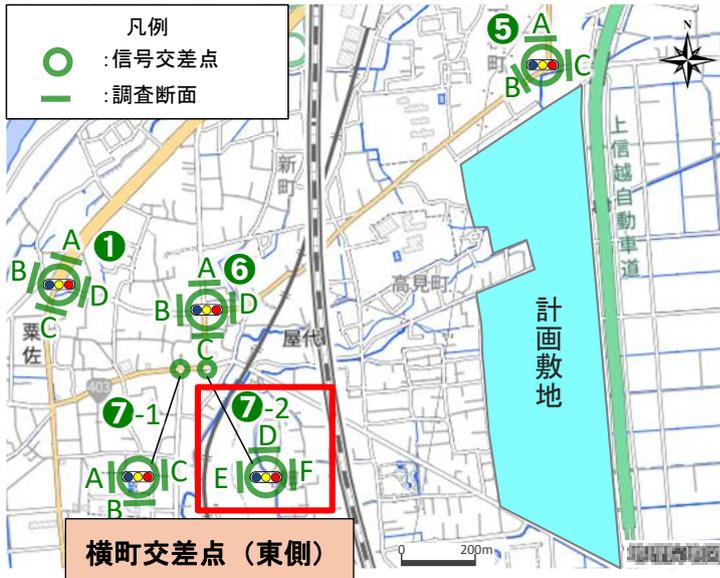
表 各交差点・各断面の自動車交通量【平日】

| 交差点番号 | 交差点名            | 12時間    |        | ピーク時   |        |        |       |
|-------|-----------------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
|       |                 | 交通量     | 大型車混入率 | 交通量    | ピーク時間帯 | 大型車混入率 | ピーク率  |
|       |                 | (台/12h) | (%)    | (台/1h) |        | (%)    | (%)   |
| ①     | 粟佐北             | 52,178  | 10.9%  | 5044   | 7時台    | 7.8%   | 9.7%  |
| ②     | 屋代工業団地          | 61,494  | 12.8%  | 6612   | 7時台    | 9.3%   | 10.8% |
| ③     | 雨宮の渡し入り口        | 14,610  | 8.2%   | 1926   | 7時台    | 5.3%   | 13.2% |
| ④     | 国道403号、一重山線     | 15,148  | 9.5%   | 1836   | 7時台    | 5.3%   | 12.1% |
| ⑤     | 工業団地南           | 17,500  | 4.4%   | 1974   | 7時台    | 2.5%   | 11.3% |
| ⑥     | 高見              | 17,718  | 3.5%   | 2058   | 17時台   | 1.1%   | 11.6% |
| ⑦(1)  | 横町              | 21,578  | 3.2%   | 2350   | 17時台   | 1.1%   | 10.9% |
| ⑦(2)  | 横町              | 10,963  | 3.7%   | 1166   | 17時台   | 1.2%   | 10.6% |
| ⑧     | 市道4269号、市道4268号 | 6,750   | 4.5%   | 753    | 17時台   | 1.3%   | 11.2% |
| ⑨     | 白石千曲線、市道4268号   | 9,312   | 4.3%   | 1072   | 7時台    | 1.5%   | 11.5% |

表 各交差点・各断面の自動車交通量【休日】

| 交差点番号 | 交差点名            | 12時間    |        | ピーク時   |        |        |       |
|-------|-----------------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
|       |                 | 交通量     | 大型車混入率 | 交通量    | ピーク時間帯 | 大型車混入率 | ピーク率  |
|       |                 | (台/12h) | (%)    | (台/1h) |        | (%)    | (%)   |
| ①     | 粟佐北             | 48,812  | 2.6%   | 4912   | 14時台   | 2.2%   | 10.1% |
| ②     | 屋代工業団地          | 58,466  | 4.1%   | 5634   | 16時台   | 4.0%   | 9.6%  |
| ③     | 雨宮の渡し入り口        | 10,810  | 2.4%   | 1098   | 16時台   | 1.8%   | 10.2% |
| ④     | 国道403号、一重山線     | 10,928  | 2.9%   | 1082   | 11時台   | 3.0%   | 9.9%  |
| ⑤     | 工業団地南           | 13,610  | 1.3%   | 1436   | 11時台   | 1.1%   | 10.6% |
| ⑥     | 高見              | 14,096  | 0.9%   | 1466   | 11時台   | 0.4%   | 10.4% |
| ⑦(1)  | 横町              | 17,284  | 0.6%   | 1868   | 11時台   | 0.1%   | 10.8% |
| ⑦(2)  | 横町              | 16,972  | 0.6%   | 1806   | 11時台   | 0.1%   | 1.9%  |
| ⑧     | 市道4269号、市道4268号 | 6,710   | 1.7%   | 728    | 16時台   | 1.4%   | 10.8% |
| ⑨     | 白石千曲線、市道4268号   | 7,104   | 0.7%   | 798    | 11時台   | 0.5%   | 11.2% |

## ■横町交差点（東側）での渋滞長の状況



### 【方向Dの渋滞発生状況】



※8時10分まで渋滞が発生  
原因：信号現示不適

※12時台~17時台まで渋滞長が発生  
原因：信号現示不適

### 【方向Fの渋滞発生状況】



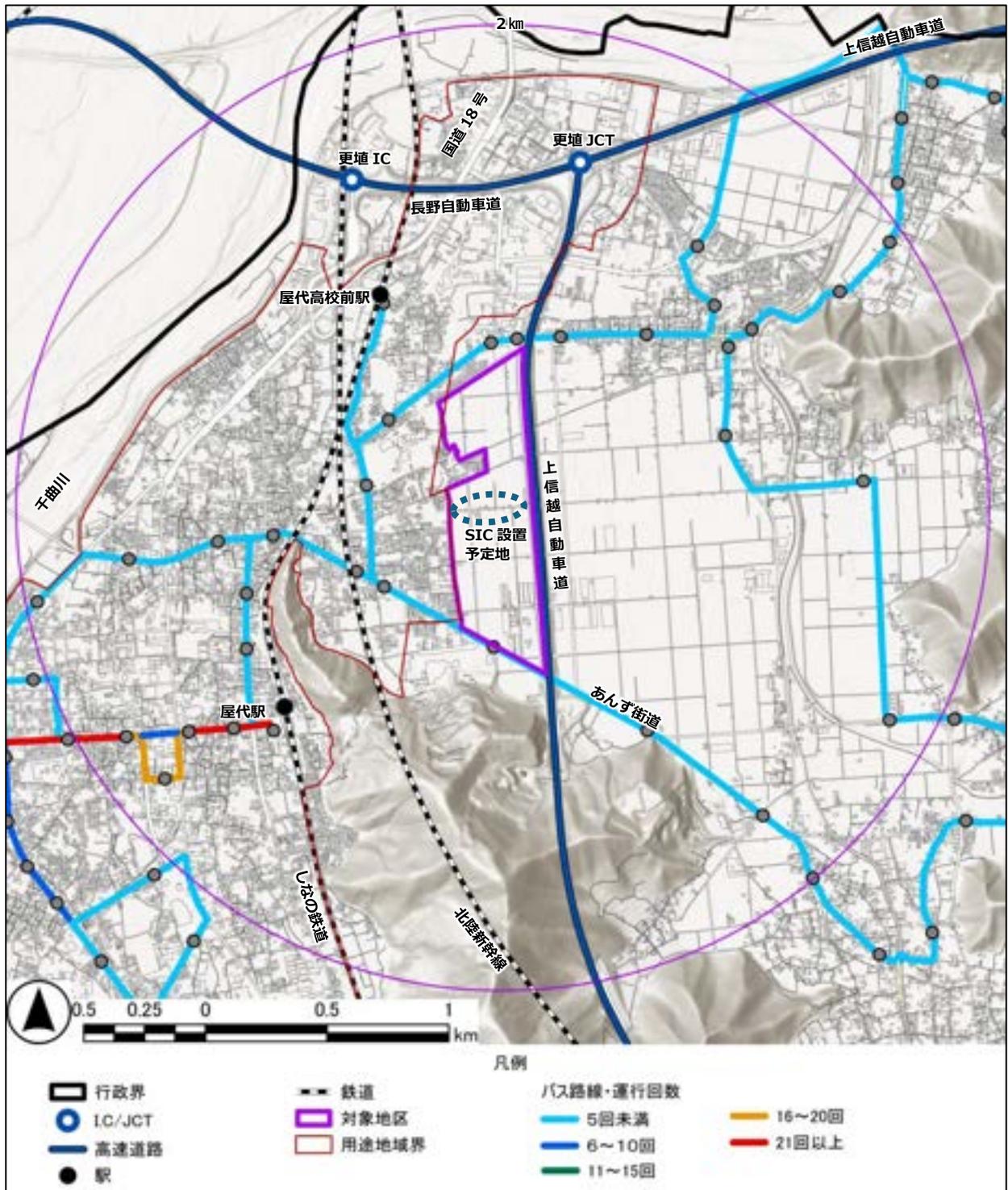
※15時台(2回)、16時台(3回)、同様の渋滞が発生  
原因：道路線形、踏切、右折車両

※10時台~17時台まで渋滞長が発生(70~110m)  
原因：道路線形、右折車両

#### (4) バス路線

運行回数が21回/日以上バス路線は屋代駅～千曲市役所～稲荷山方面を連絡する区間に限られており、対象地区周辺のバス路線は5回未満/日にとどまっています。

##### ■運行頻度別のバス路線区間

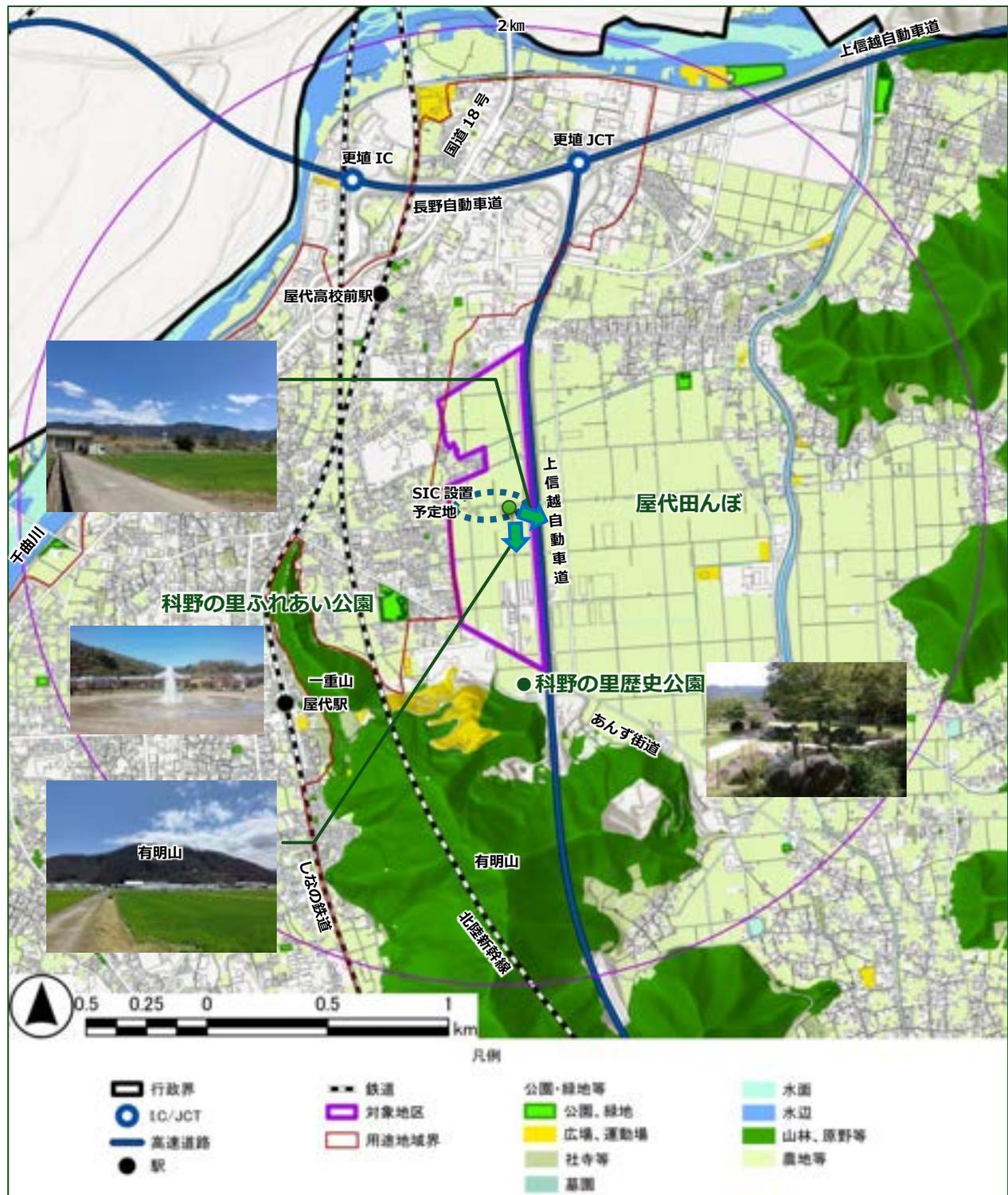


出典：「千曲都市計画基礎調査」（令和3年3月）を基に作成

## (5) 公園緑地等

対象地区の東側には、昭和40年代に大規模なほ場整備が行われた「屋代田んぼ」が広大な田園風景を創り出しています。また、対象地区の南側には「一重山」及び「有明山」があり、地域のランドマークとなっています。公園は「科野の里歴史公園」や「科野の里ふれあい公園」といった特徴ある公園が整備されています。

### ■公園緑地等の分布



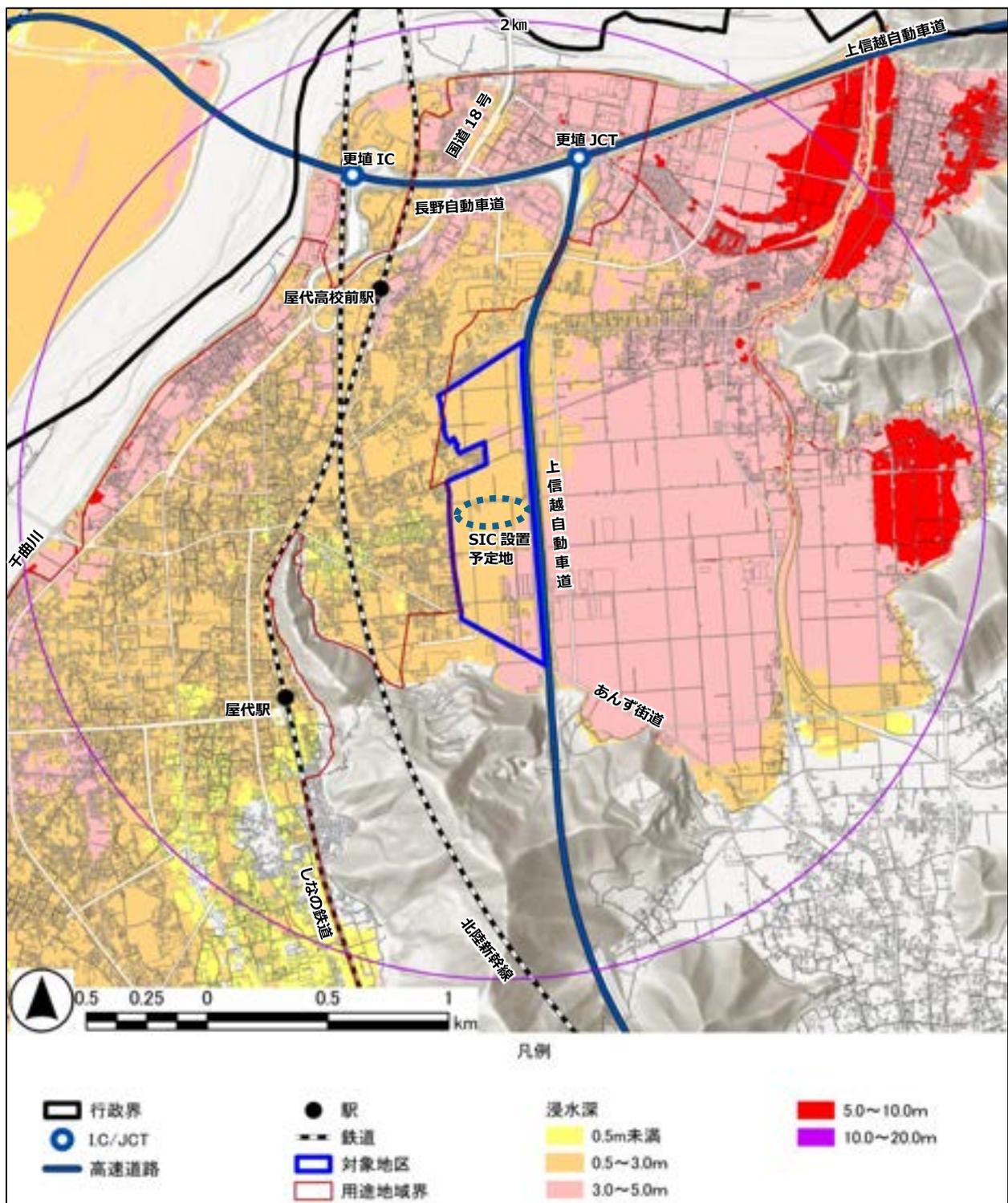
出典：「千曲都市計画基礎調査」（令和3年3月）を基に作成

## (6) 浸水想定区域

### ① 計画降雨

概ね100年に1回程度発生する降雨に対応する浸水想定区域を見ると、対象地区は0.5m～3.0m（1階レベル）の浸水が想定されています。対象地区の東側の農地や北側の更埴JCT周辺の浸水深は3.0～5.0m（2階レベル）が多く、一部には5.0～10.0m（3階レベル）も見られ、対象地区は相対的にリスクが低い区域となっています。

### ■ 浸水想定区域（計画降雨）

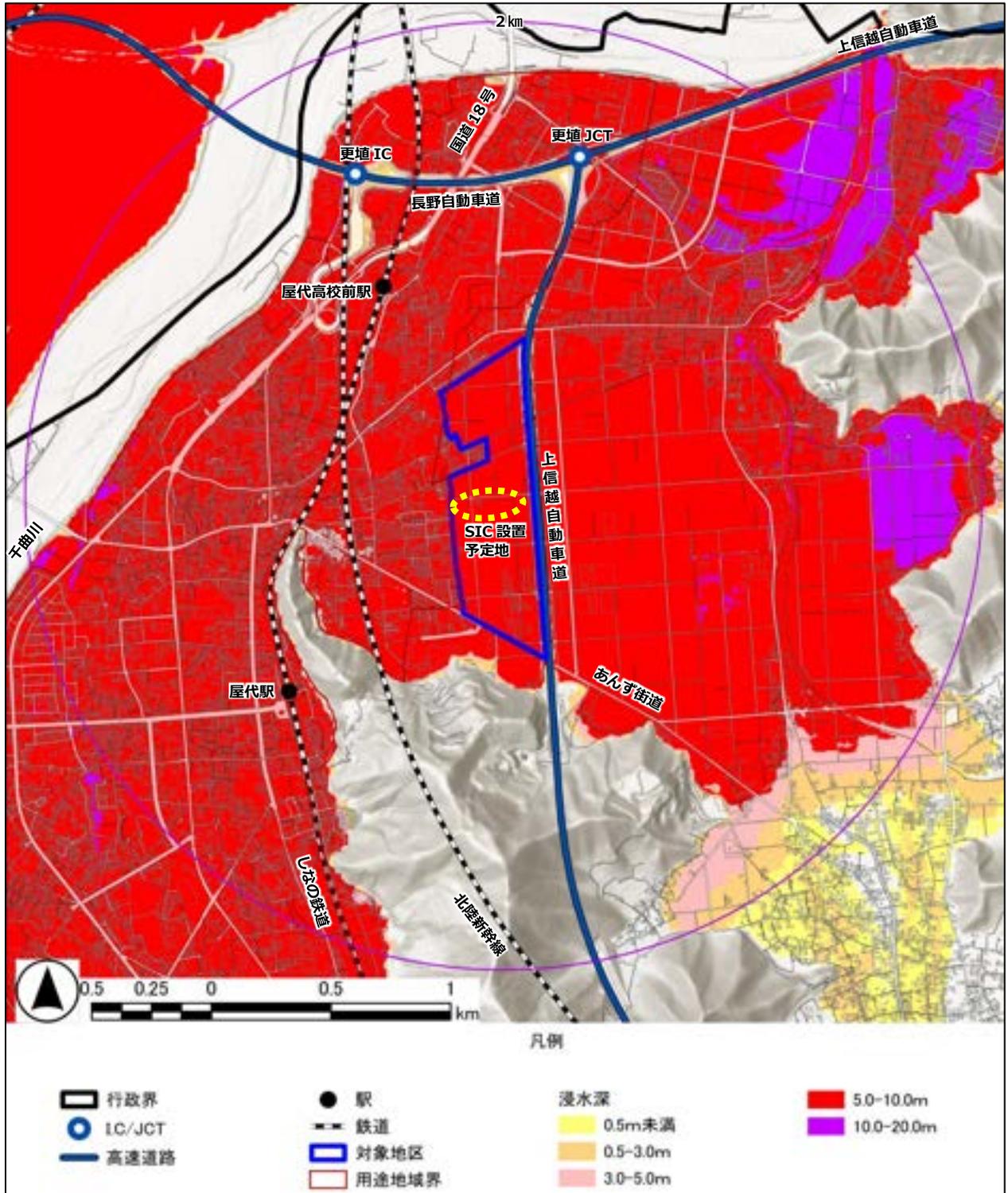


出典：国土交通省「国土数値情報 洪水浸水想定区域」（2023年度）を基に作成

## ②想定最大降雨

概ね1,000年に1度発生する降雨に対応する浸水想定区域を見ると、千曲川沿いほぼすべての平坦部が5.0～10.0m（3・4階レベル）となっています。市街地において屋内の退避空間となる10m以上の建築物は限られることから、浸水想定区域外への早期の避難のほか、緊急時には一重山等も退避空間になると考えられます。

### ■浸水想定区域（想定最大降雨）

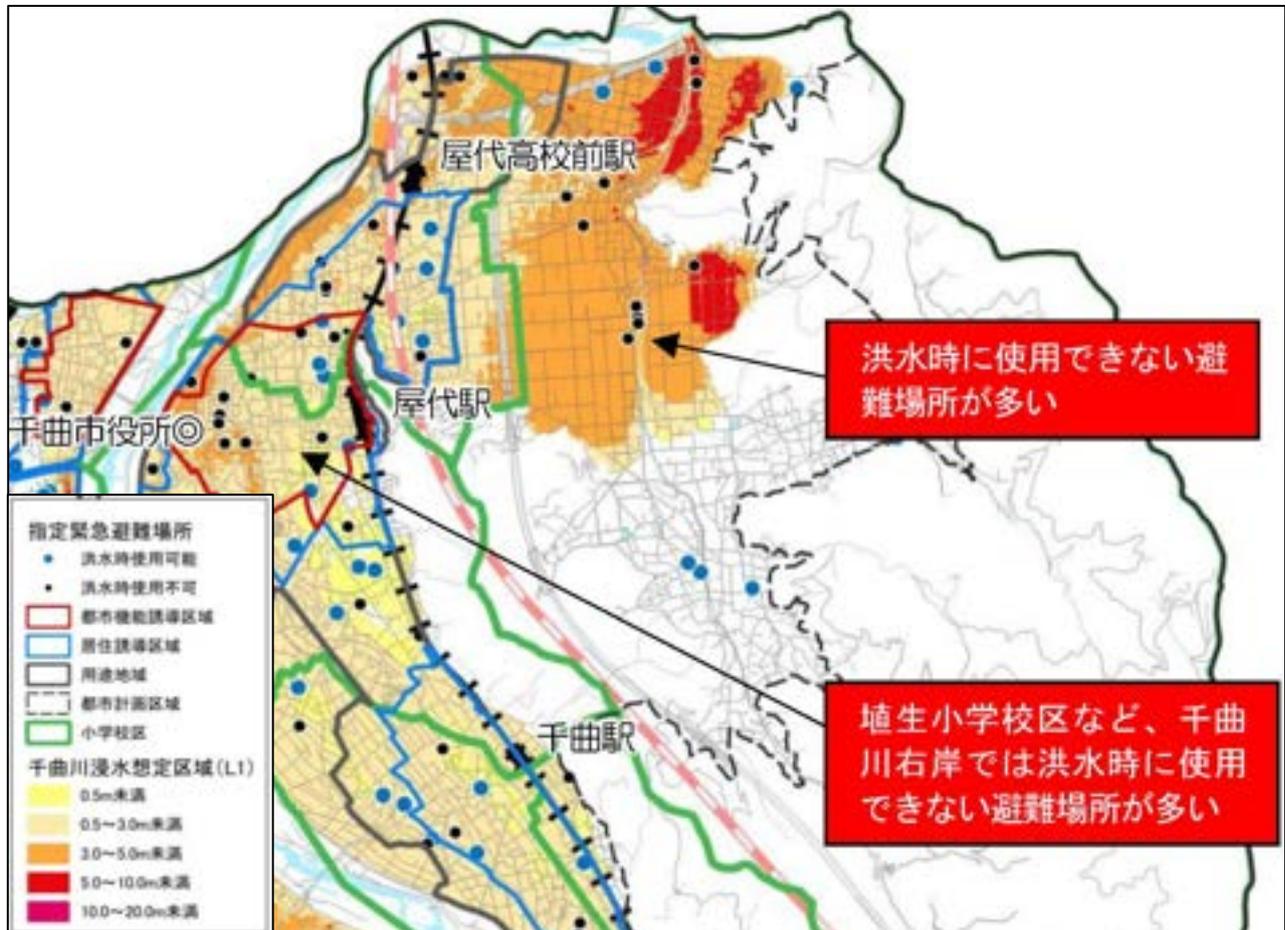


出典：国土交通省「国土数値情報 洪水浸水想定区域」（2023年度）を基に作成

### ③指定緊急避難場所

指定緊急避難場所（災害時に緊急・一時的に避難する場所）は、埴生小学校区など、洪水時に使用できない場所が特に千曲川右岸の地区に多く存在しています。また、東小学校区においても使用できない場所が多く存在しています。

#### ■小学校区と指定緊急避難場所、浸水想定区域（L1）の位置



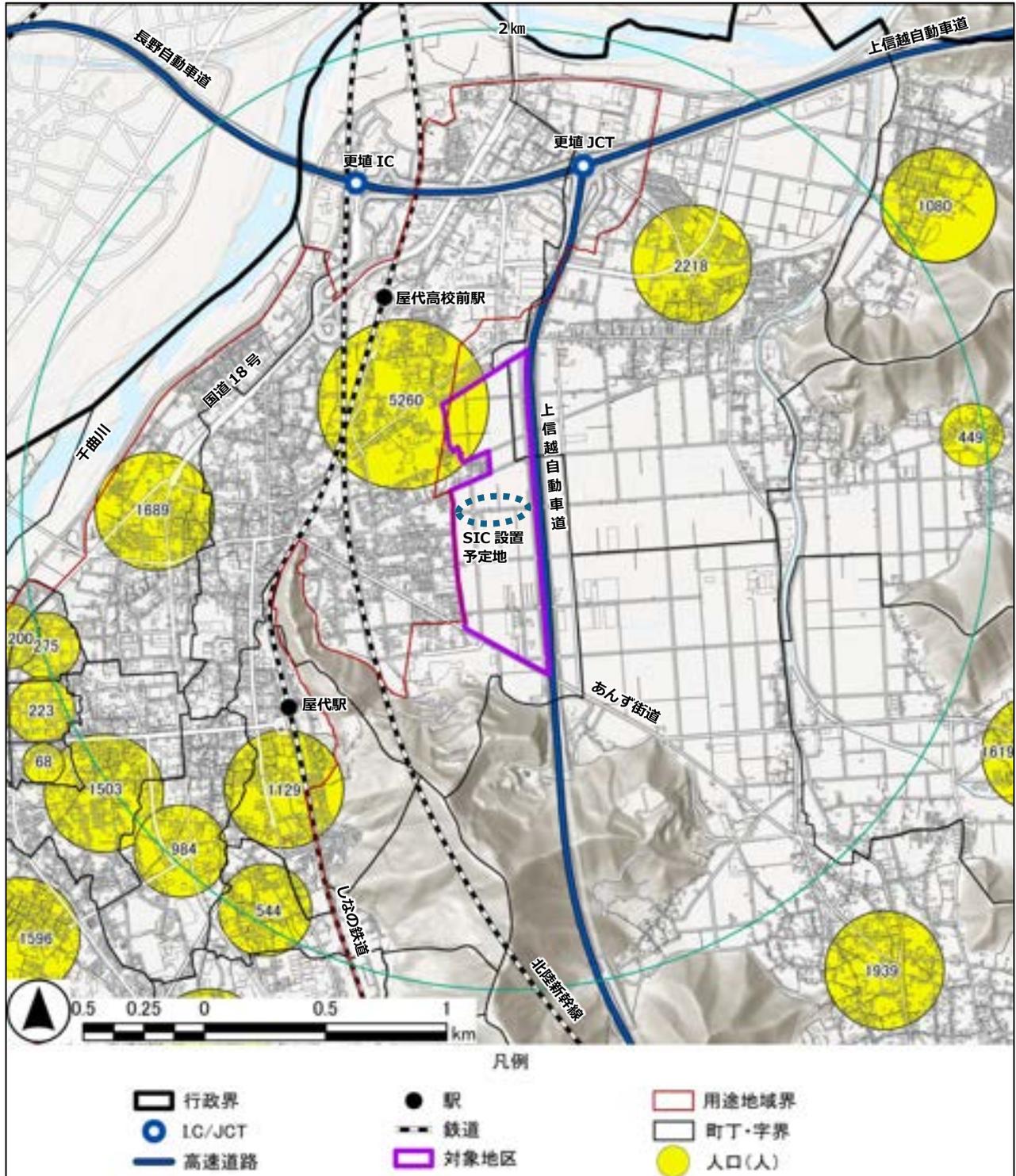
出典：千曲市立地適正化計画

## (7) 人口・世帯

### ① 人口分布

対象地区の西及び北西側（大字屋代）は5,260人の人口集積（千曲市の町丁・字別人口では最大）があるほか、北東側（大字雨宮）に2,218人、屋代駅以西に1,000人以上の町丁・字が分布しています。

### ■ 町丁・字別の人口分布（2020年）

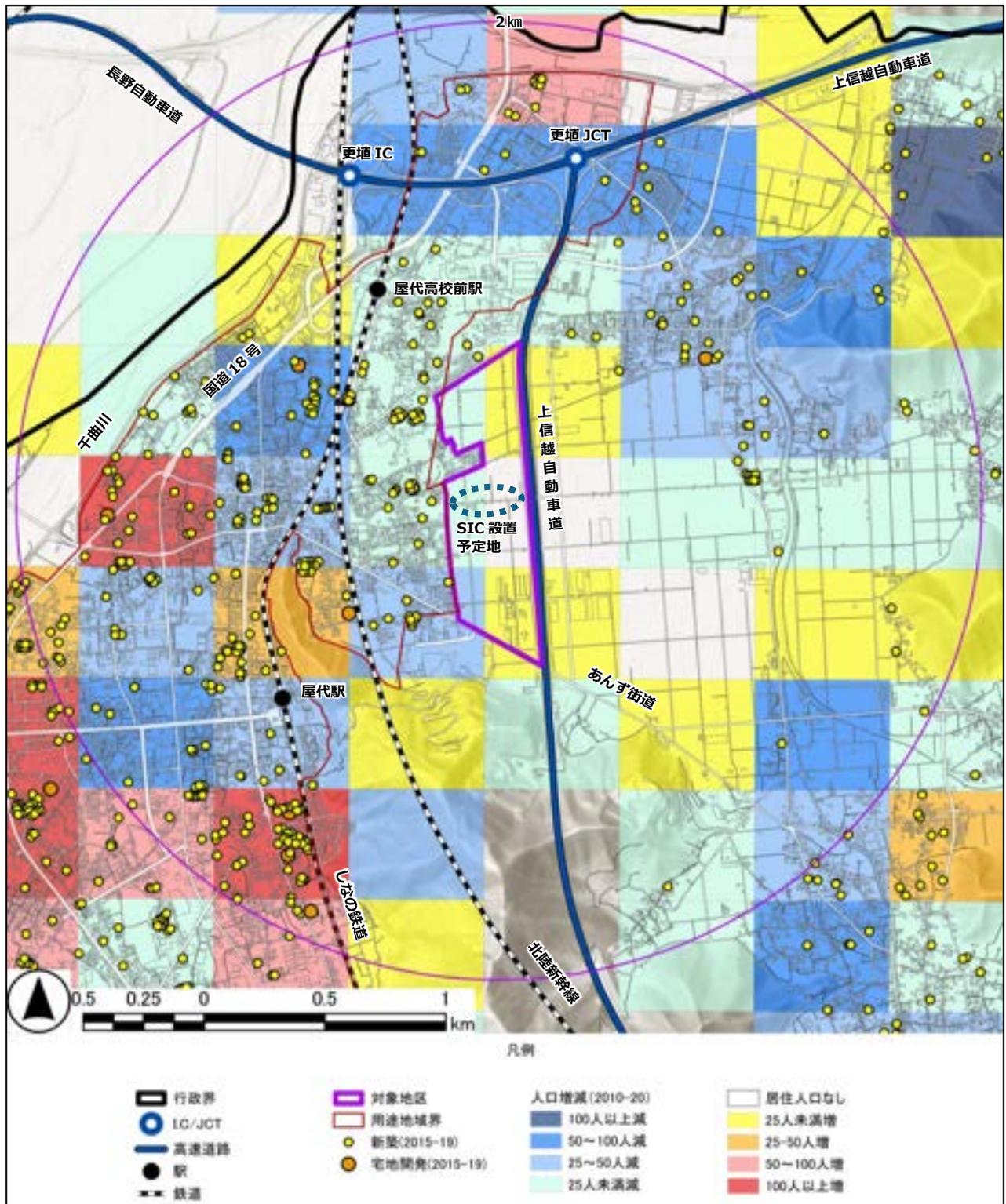


出典：総務省「国勢調査」を基に作成

## ②人口増減数

対象地区の西及び北西側や屋代駅周辺のメッシュは人口減少の傾向にある一方、千曲川沿いや国道18号沿いでは人口が増加傾向にあります。なお、対象地区の西及び北西側や屋代駅周辺においても新築や宅地開発が見られることから、住宅立地の需要はあることがわかります。一方、屋代駅周辺は、建物の密度が高く、住宅立地の余地が少ないため人口が減少していると考えられます。

### ■500mメッシュ単位の人口増減数(2010~2020年)

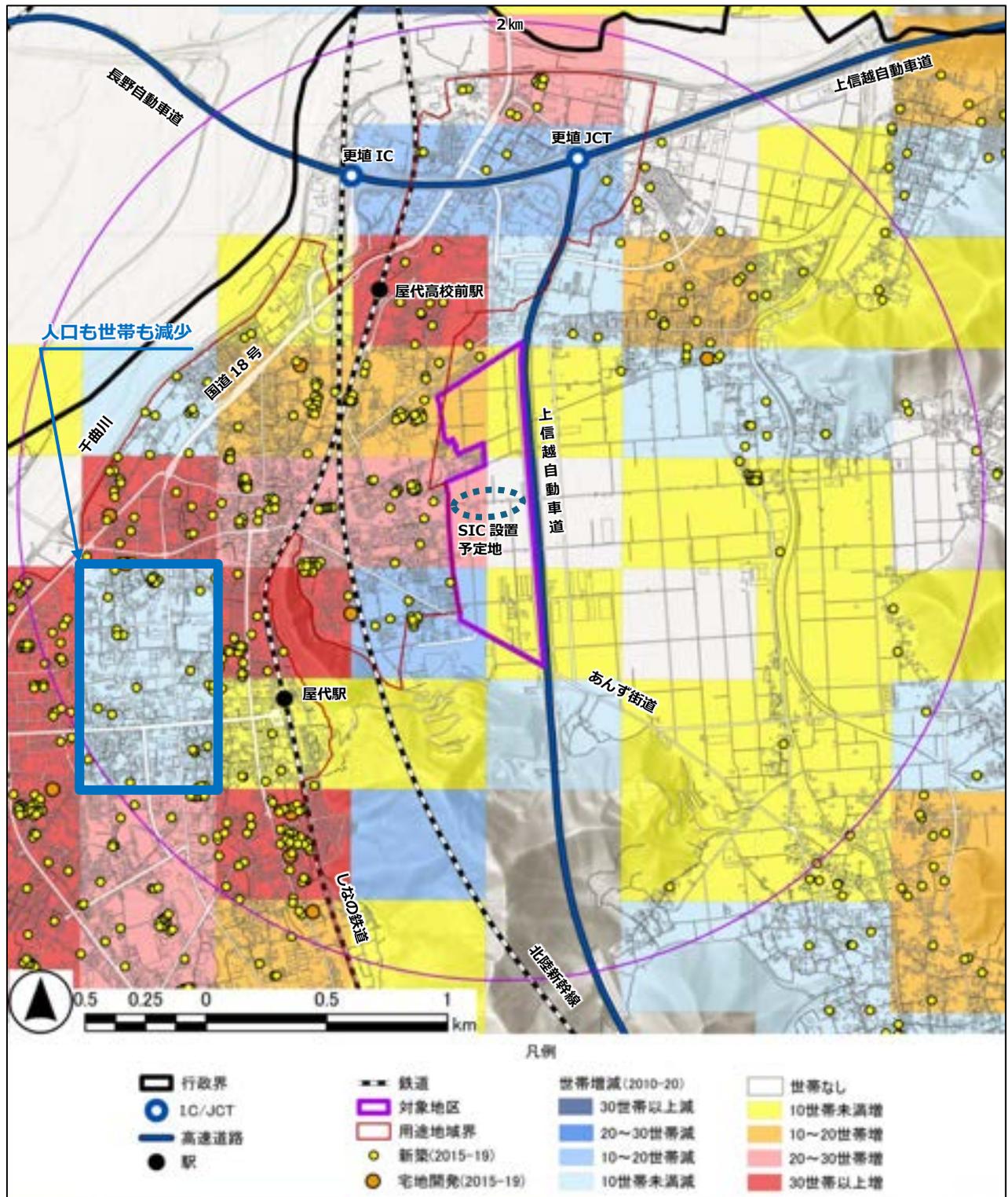


出典：総務省「国勢調査」を基に作成

### ③世帯増減数

用途地域内及びその周辺では、世帯数が増加を維持しているエリアが多いですが、人口も世帯も減少しているエリアがあり、空き家又は空き地が増加していると考えられます。一方、人口増加傾向にある千曲川沿い（杭瀬下や大字粟佐）や国道18号沿い（大字桜堂や大字打沢）では、住宅立地を背景として世帯増加が顕著です。

■500mメッシュ単位の世帯増減数(2010~2020年)

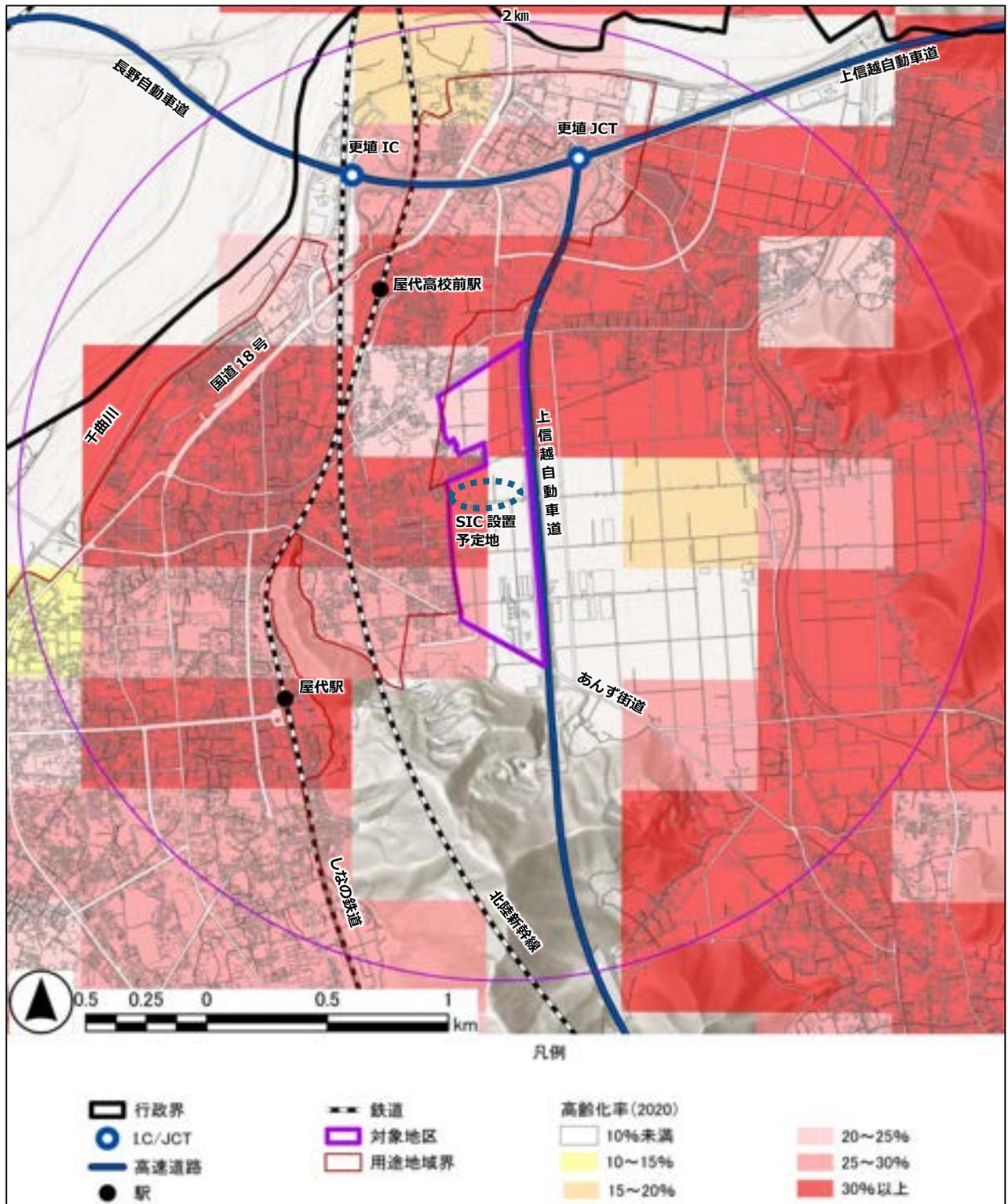


出典：総務省「国勢調査」を基に作成

#### ④高齡化率

2020年の千曲市全体の高齡化率は33.4%であり、30%超の地域が中心ですが、対象地区の西及び北西側（大字屋代）は30%未満であり、人口・世帯が増加しているエリアは相対的に高齡化率が低い水準にあります。また、人口が増加している地域（杭瀬下）は高齡化率が15%未満であり、若い世代の中心のまちであると考えられます。

#### ■500mメッシュ単位の高齡化率（2020年）

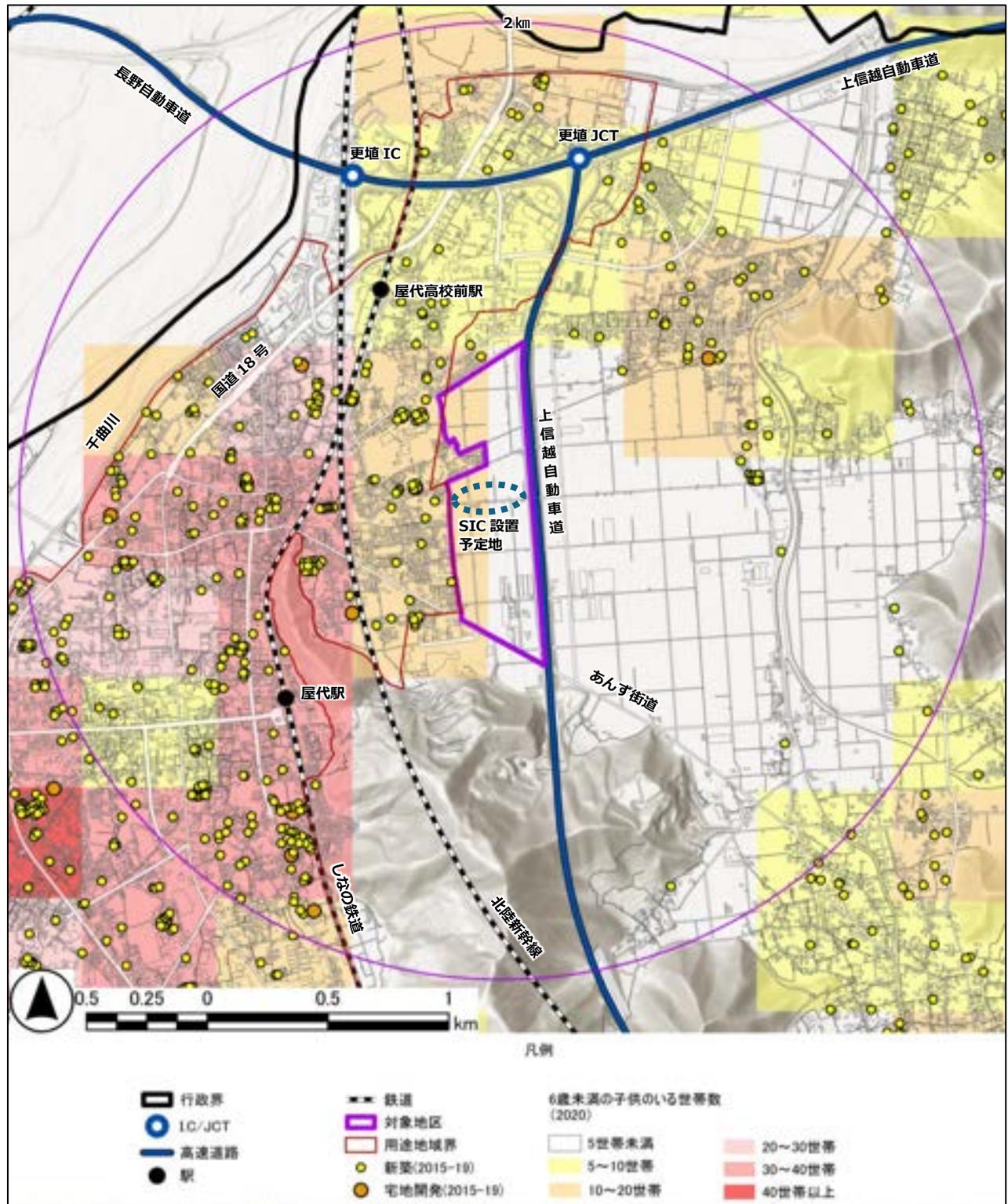


出典：総務省「国勢調査」を基に作成

### ⑤6歳未満の子供がいる世帯

6歳未満の子供がいる世帯は、宅地開発や新築が集積する屋代駅西側の市街地で密度が高く、特に杭瀬下付近が多くなっています。

■500mメッシュ単位の6歳未満の子供がいる世帯数(2020年)



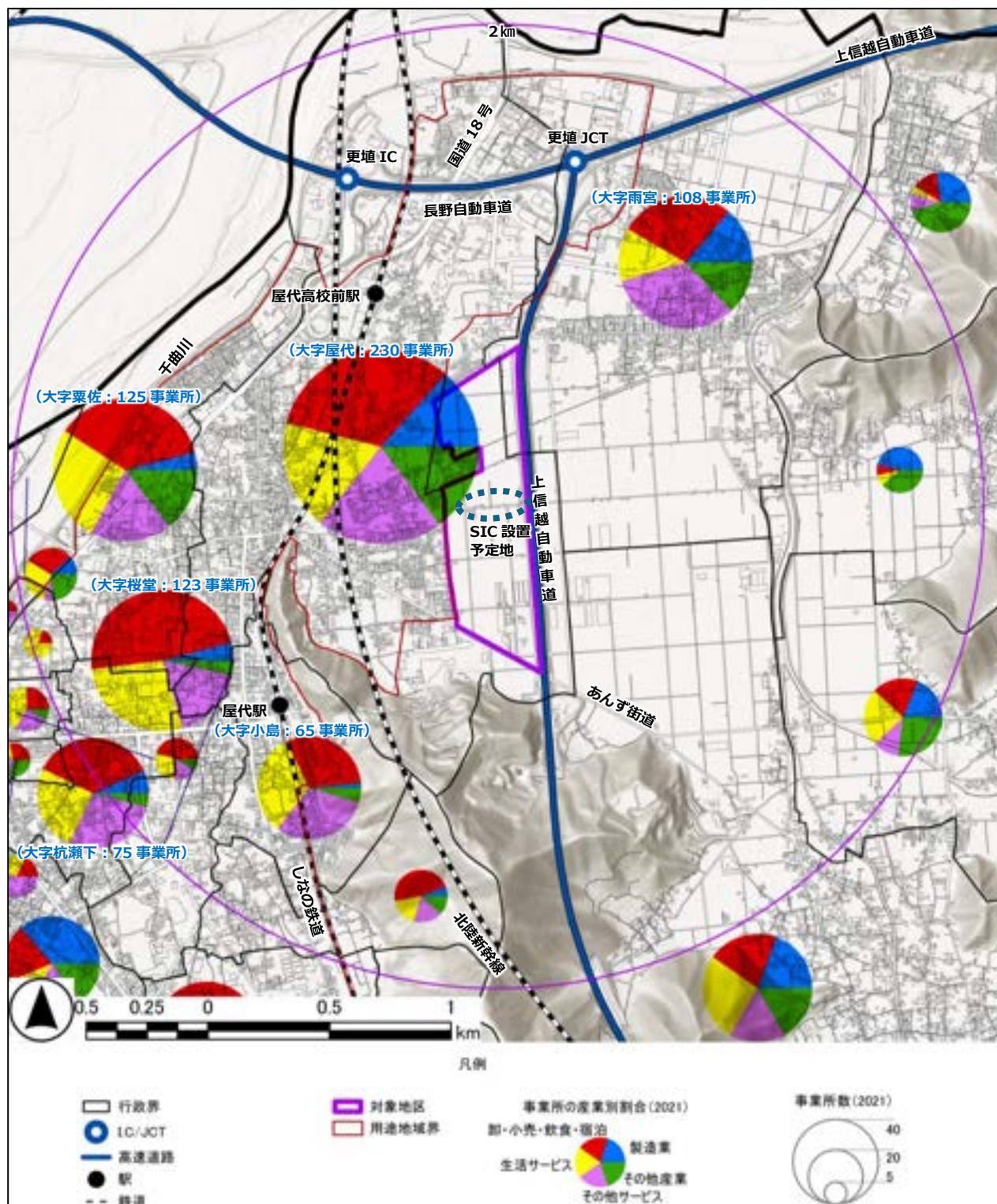
出典：総務省「国勢調査」を基に作成

## (8) 事業所

### ① 産業別事業所数

屋代工業団地周辺（大字屋代、大字雨宮）や、屋代駅西側の市街地（大字杭瀬下、大字粟佐）に事業所数の集積があり、屋代工業団地周辺は製造業の割合が相対的に高く、屋代駅西側の市街地は商業の割合が相対的に高い傾向にあります。

### ■ 産業別事業所数の分布（2021年）



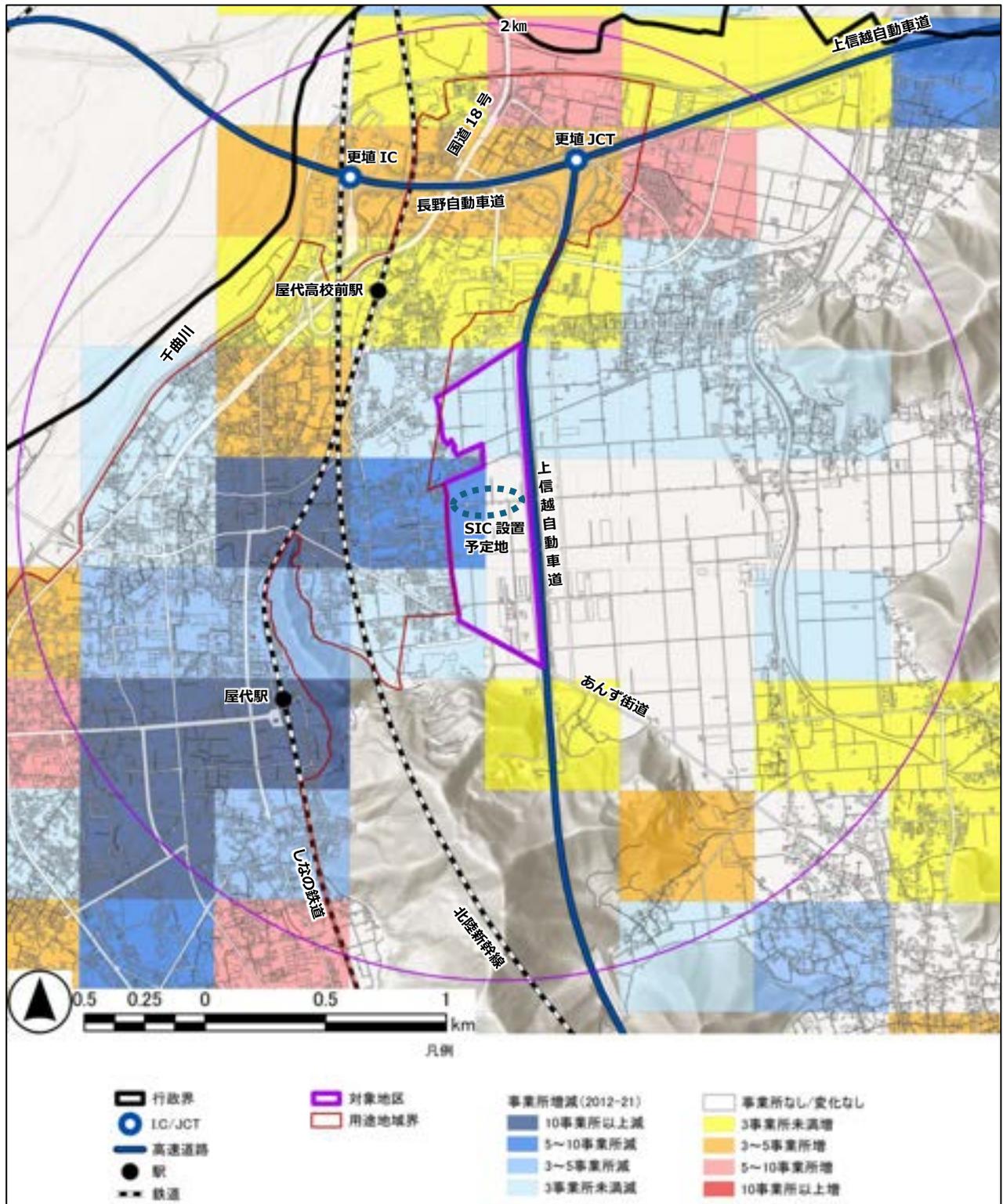
※生活サービス：「金融業、保険業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」、その他サービス：「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「複合サービス業」「サービス業（他に分類されないもの）」、その他産業：「農林漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」

出典：総務省「経済センサス-活動調査」を基に作成

## ②事業所数の増減

屋代工業団地周辺（大字屋代、大字雨宮）では、従業者数が増加している一方、屋代駅西側の駅前商店街を含むエリアでは事業所の減少が顕著となっており、空き店舗が増えていると考えられます。

### ■500mメッシュ単位の事業所増減数(2012～2021年)



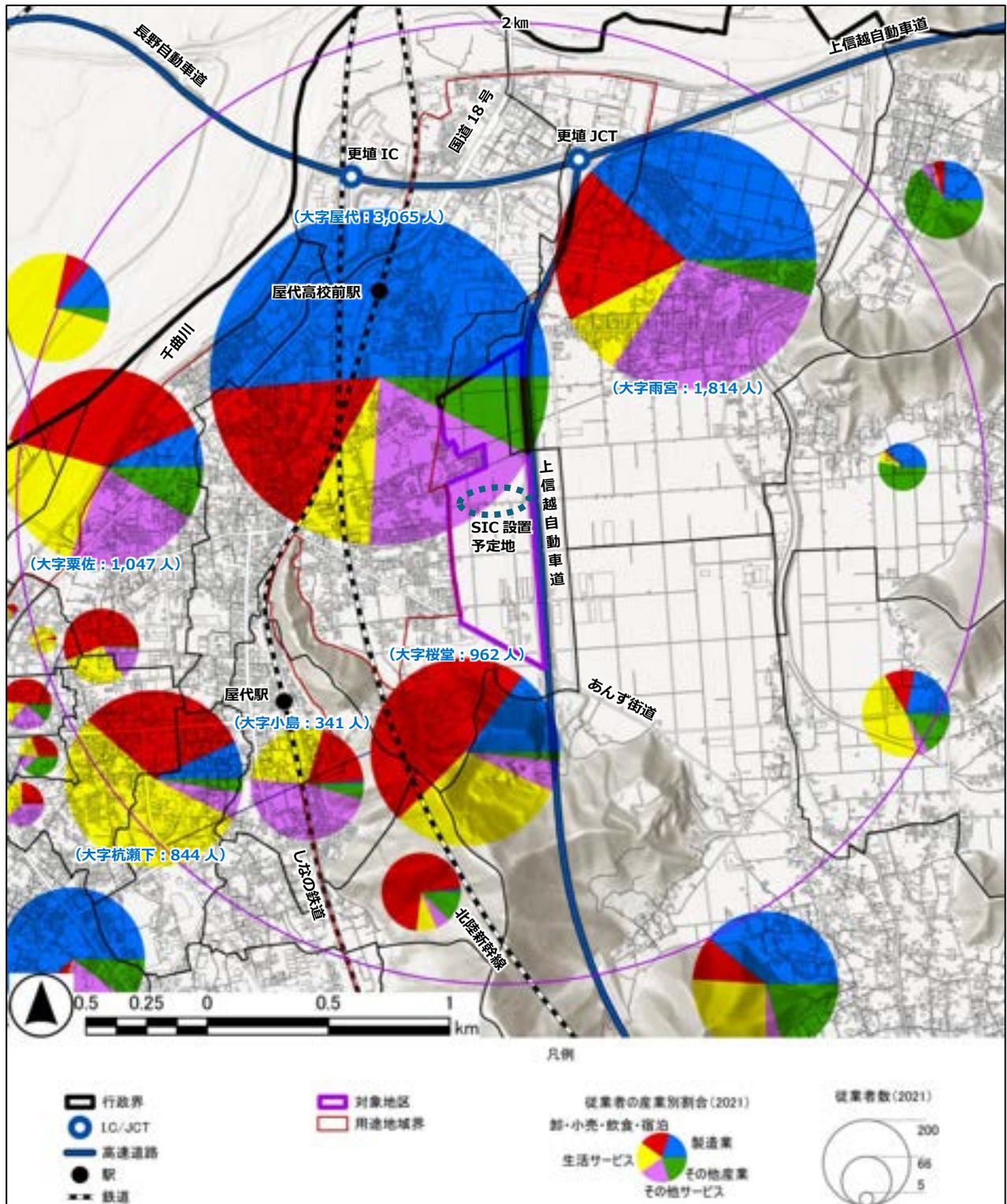
出典：総務省「経済センサス-活動調査」を基に作成

## (9) 従業者

### ① 産業別従業者数

屋代工業団地周辺（大字屋代、大字雨宮）に従業者の集積があり、製造業については事業所数と比べて従業者の割合が高いことから、規模の大きな事業所が立地していると考えられます。また、人口の集積がある西側の市街地は、商業等の割合が高くなっています。

### ■ 産業別従業者数の分布（2021年）



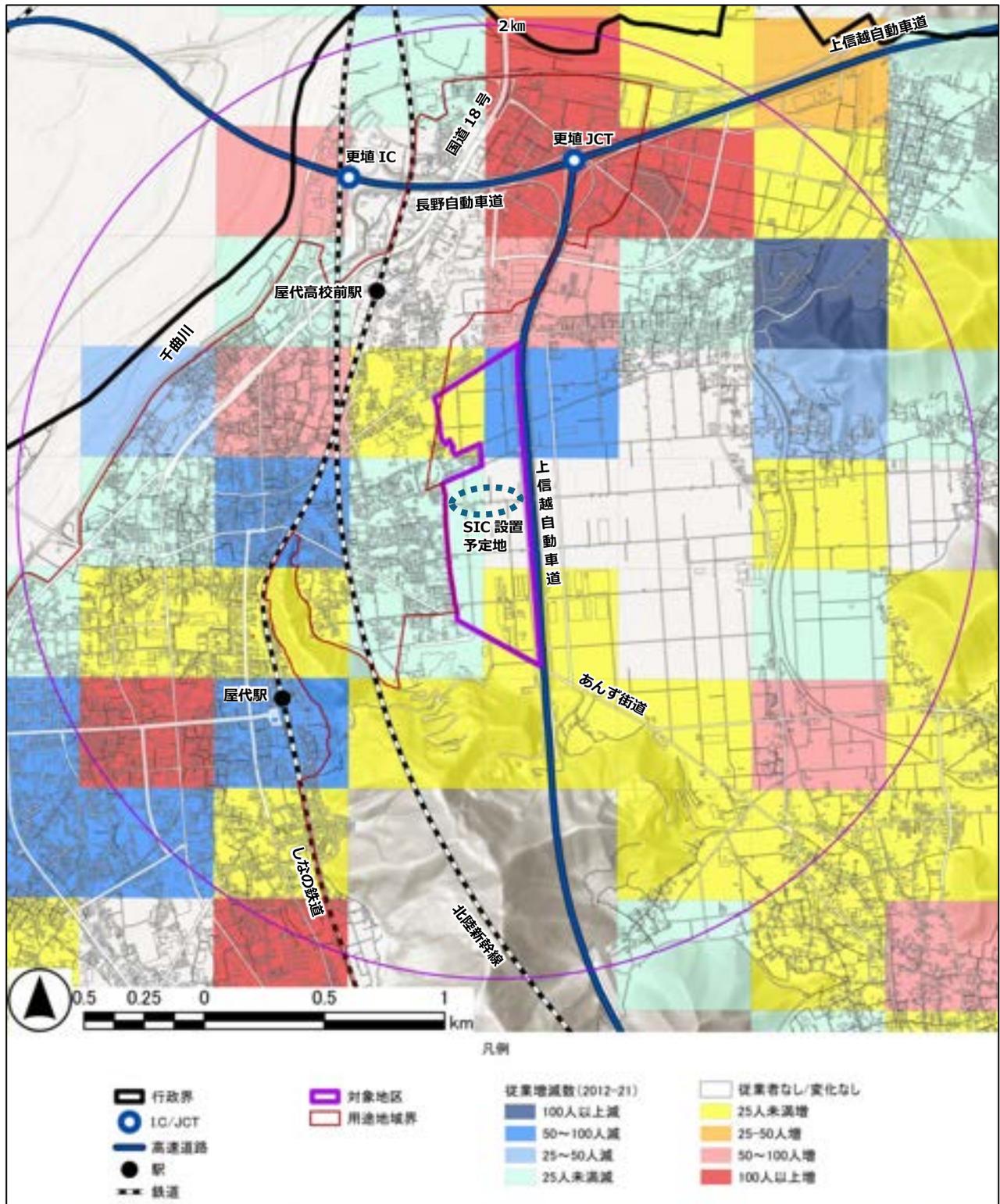
※生活サービス：「金融業、保険業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」、その他サービス：「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」、「複合サービス業」「サービス業（他に分類されないもの）」、その他産業：「農林漁業」「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」

出典：総務省「経済センサス-活動調査」を基に作成

## ②従業者数の増減

屋代工業団地周辺（大字屋代、大字雨宮）や屋代駅の駅前通りにおいて従業者数の増加が顕著となっています。

### ■500mメッシュ単位の従業者増減数（2012～2021年）



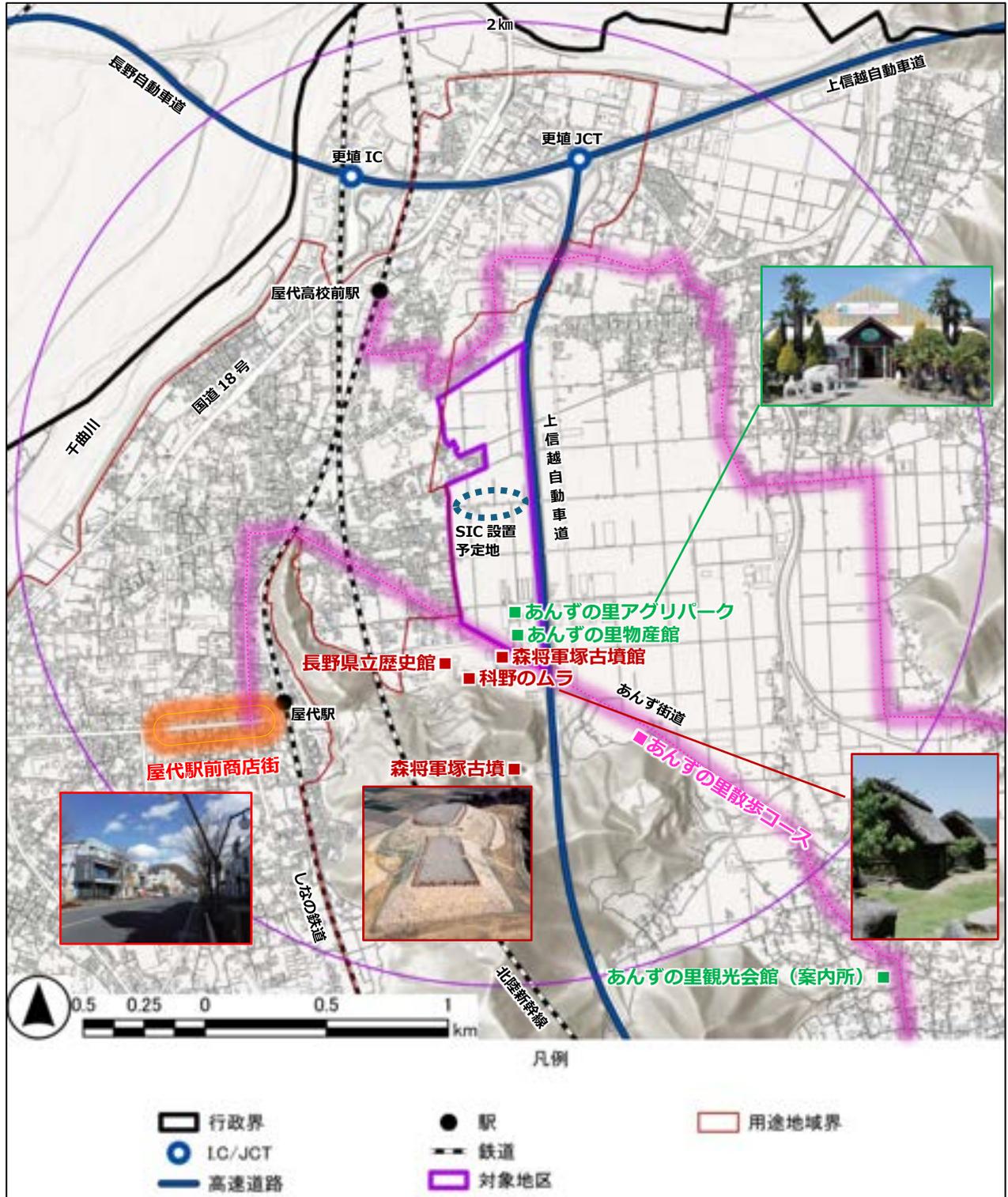
出典：総務省「経済センサス-活動調査」を基に作成

## (10) 集客資源

### ① 集客資源の分布

対象地区には「あんずの里アグリパーク」や「あんずの里物産館」が立地しているほか、隣接して「森將軍塚古墳」、「科野のムラ」、「長野県立歴史館」が立地し、歴史観光ゾーンを形成しています。また、屋代駅前には商店街が形成され、電線の地中化や広い歩道が整備されています。

### ■ 観光・集客資源の分布



出典：信州千曲観光局のパンフレットを基に作成

## ②歩行者数

2024年（1月1日～12月31日）の期間における祝休日1日平均の歩行者数を見ると、森將軍塚古墳館前の道路、駅前商店街、船山通りが多くなっています。

### ■歩行者数（スマートフォンGPS位置情報ビッグデータから集計した推測値）



※調査に用いたデータは au(KDDI)スマートフォンの位置情報ビッグデータ。(auスマートフォンユーザーからの同意に基づき取得し、個人が特定できない形式に加工した位置情報および属性(性別・年齢層)情報データ)

・データには20歳未満及びインバウンド観光利用者のデータは含まれない

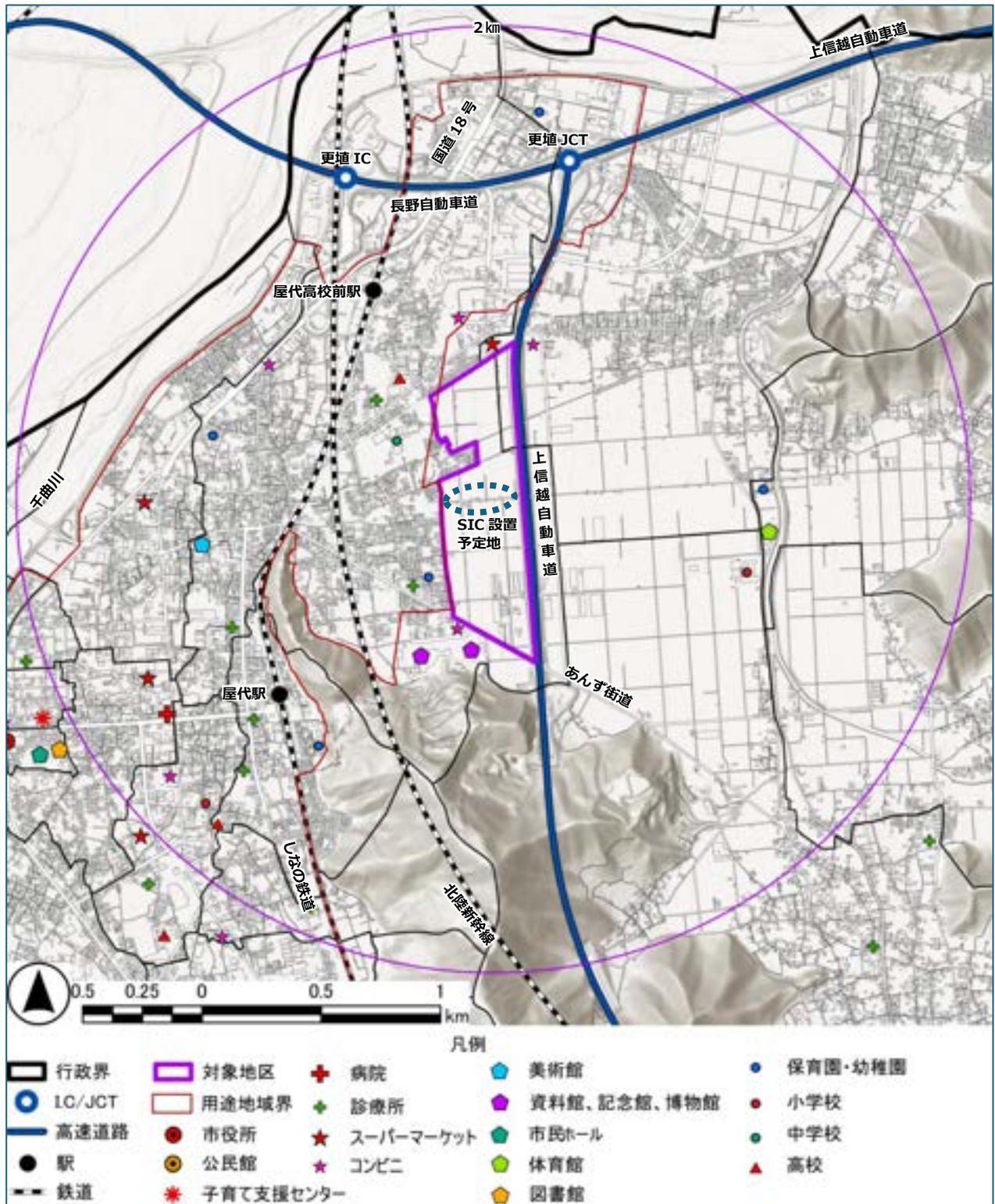
・分析結果の数値は全人口推計値(サンプルを、国勢調査の市区町村別・性年代別人口に基づいて拡大した値)

出典: KDDI・技研商事インターナショナル「KDDILocation Analyzer」

## (11) 施設分布

公共公益施設は、屋代駅西側の市街地に集積しており、対象地区周辺にもスーパー、コンビニエンスストア、診療所等の施設が分布しています。

### ■生活サービス・公共公益施設の分布

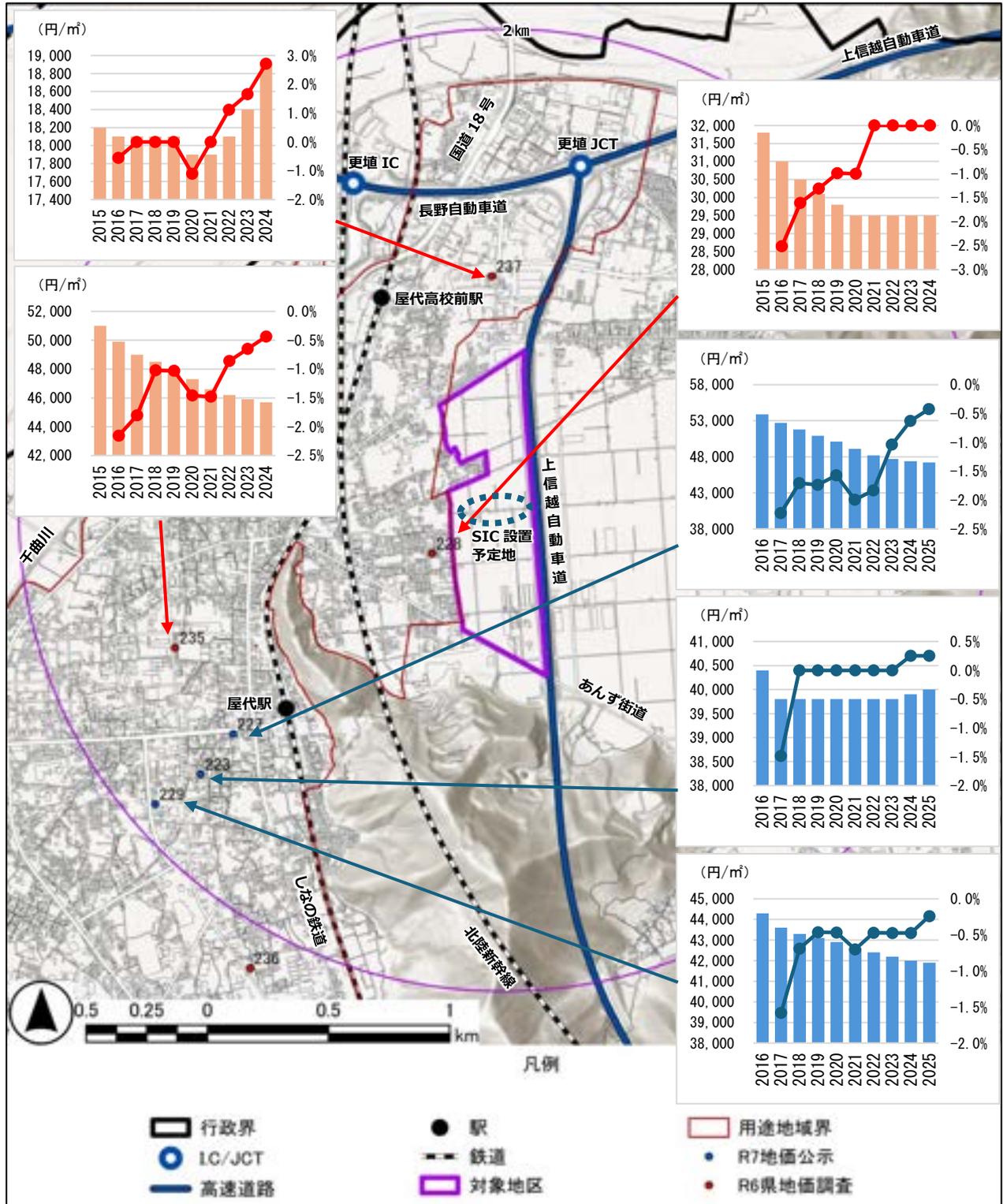


出典：千曲市立地適正化計画（令和7年3月31日改定）を基に作成

## (12) 地価分布

屋代駅周辺の既成市街地では、過去10年間で地価の下落率が改善する方向にあり、最新値では4万円/m<sup>2</sup>以上の水準で落ちついています。一方、更埴IC周辺の地価が上昇傾向にあり、雨宮産業団地の整備等による影響が考えられます。また、対象地区の西側では、地価が近年は横ばい（3万円弱/m<sup>2</sup>）を維持しており、屋代SIC整備やまちづくりの検討の進捗が影響している可能性があります。

### ■地点別の地価の推移



出典：国土交通省「地価公示」及び長野県「地価調査」を基に作成

### 3 SIC周辺等のまちづくり事例

#### (1) まちづくり効果の事例

SICの整備と併せた周辺開発を行うことにより、観光交流の促進や製造業や物流、大規模商業施設等の企業立地が進展し、地域経済、雇用、税収等の効果が見られます。また、住宅地開発を行っている事例では人口定着や商業・医療等の生活関連施設の立地も見られます。

#### ■ 事例の概要

| 地区名                     | 概要   |
|-------------------------|--|
| 寒河江SIC周辺地区<br>(山形県寒河江市) | 【観光交流の促進】SIC周辺で整備された観光関連施設の入込客数が増加<br>【企業立地の促進】民間開発エリアでの企業立地が増加し、分譲が完了                         |
| 新潟東SIC周辺地区<br>(新潟県新潟市)  | 【人口増加】土地区画整理事業の進捗により、人口・世帯数が増加<br>【生活関連施設の立地促進】商業・医療等の生活関連施設が立地<br>【物流拠点の立地】SICの開通に合わせて物流拠点が立地 |
| 長岡北SIC周辺地区<br>(新潟県長岡市)  | 【企業の立地】SICに隣接する流通産業団地の企業立地が増加し、分譲が完了<br>(売上額：約250億円、雇用：約1,000人)                                |
| 愛鷹SIC周辺地区<br>(静岡県沼津市)   | 【企業の立地】SIC整備後は民間開発の面積が開通前の約1.8倍に増加   |
| 遠州豊田SIC周辺地区<br>(静岡県磐田市) | 【観光交流の促進】大規模商業施設の立地によりSIC利用者が増加<br>【商業の活性化】年間商品販売額が増加<br>【雇用の増加】地区内の雇用者数は30人から2,469人に増加        |
| 安八SIC周辺地区<br>(岐阜県安八町)   | 【企業の立地】SIC整備構想の公表以降、16社の新規企業が進出<br>【雇用の増加】約700人(うち町内雇用約100人)の新規雇用を創出                           |
| 亀山PA地区<br>(三重県亀山市)      | 【企業の立地】工業団地の分譲の進捗とともに、製造業出荷額等が増加<br>【税収の増加】工業団地の造成と一体となったSIC整備により地方税収入額が増加                     |

## ①寒河江SIC周辺地区（山形県寒河江市）

| <p>概要</p>  | <p>(経緯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2004年4月：SIC社会実験候補箇所として国土交通省に登録</li> <li>・2004年8月：「寒河江SAスマートインターチェンジ社会実験準備会」設立</li> <li>・2004年9月：社会実験箇所に採択</li> <li>・2006年10月：恒久設置決定</li> </ul> <p>(立地した施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最上川ふるさと総合公園：センターハウス（展示、研修室）、スケートパーク、ドッグラン、イベント広場、芝生広場、歴史の丘、遊具、駐車場</li> <li>・民間開発エリア：温泉施設（寒河江花咲か温泉「ゆ〜チェリー」）</li> </ul>  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
|------------|---|---------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|------|----|-----|----|------|----|-------|---------|-----------|---|----|-----------|---|----|-----|---|-----|
| <p>位置図</p> |   |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| <p>効果</p>  | <p>(観光交流の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SIC周辺施設（最上川ふるさと総合公園、寒河江花咲か温泉ゆ〜チェリー、アグリランド産直センターなど）の入込客数が、2014年度から2016年度まで増加傾向</li> </ul> <p>(企業立地の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SIC整備以後、隣接するチェリークアパーク（民間開発エリア）での企業立地が増加し、分譲が完了</li> </ul> <p>(救急医療への寄与)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、救急患者は山形市中心部の医療施設まで搬送していたが、SIC整備によって、救急搬送が迅速化・安定化したうえ、24時間運用によって、夜間においてもSICを利用した救急搬送が可能となり、救急医療に寄与</li> </ul> <div data-bbox="896 1064 1436 1467"> <p>【周辺施設の入込客数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入込客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>1200</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1550</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1750</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1600</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1500</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1450</td></tr> <tr><td>R2</td><td>850</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1000</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="896 1473 1436 1926"> <p>【企業立地状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>企業立地数</th> <th>分譲率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H16 (整備前)</td> <td>2</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>H18 (整備後)</td> <td>4</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 年度      | 入込客数 | H26 | 1200 | H27 | 1550 | H28 | 1750 | H29 | 1600 | H30 | 1500 | R1 | 1450 | R2 | 850 | R3 | 1000 | 年度 | 企業立地数 | 分譲率 (%) | H16 (整備前) | 2 | 25 | H18 (整備後) | 4 | 50 | H26 | 8 | 100 |
| 年度         | 入込客数  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H26        | 1200  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H27        | 1550  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H28        | 1750  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H29        | 1600  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H30        | 1500  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| R1         | 1450  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| R2         | 850   |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| R3         | 1000  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| 年度         | 企業立地数   | 分譲率 (%) |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H16 (整備前)  | 2   | 25      |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H18 (整備後)  | 4   | 50      |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| H26        | 8   | 100     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |
| <p>出典等</p> | <p>寒河江市HP「寒河江SAスマートインターチェンジ設置の経緯・整備効果」</p>  |         |      |     |      |     |      |     |      |     |      |     |      |    |      |    |     |    |      |    |       |         |           |   |    |           |   |    |     |   |     |

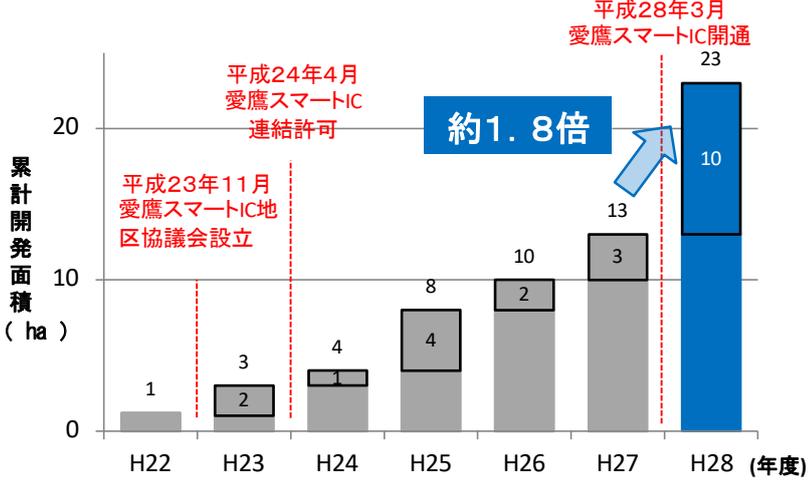
## ②新潟東SIC周辺地区(新潟県新潟市)

| <p>概要</p>  | <p>(経緯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年3月：西野中野山地区の市街化区域編入、地区計画の決定</li> <li>・2011年11月：土地区画整理事業の組合設立、事業着手</li> <li>・2012年4月：日本海東北自動車道への連結許可</li> <li>・2014年11月：土地区画整理事業の事業完了</li> <li>・2016年3月：新潟東SIC開通</li> </ul> <p>(土地区画整理事業区域に立地した施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅：240区画</li> <li>・商業施設</li> <li>・医療施設</li> <li>・介護福祉施設</li> <li>・事務所</li> </ul>   |       |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
|------------|--|-------|----|-----|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
| <p>位置図</p> |  |       |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| <p>効果</p>  | <p>(人口増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟東SIC周辺地区では、土地区画整理事業の進捗により、人口・世帯数が増加</li> </ul> <p>(生活関連施設の立地促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業の区域では商業・医療等の生活関連施設が立地</li> </ul> <p>(物流拠点の立地)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内有数のスーパーマーケット運営企業がスマートICの開通に合わせて物流拠点を整備</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="379 1563 869 1977"> <p><b>東区中野山地区の人口の推移</b></p> <p>スマートIC沿線地域の人口及び世帯数が5年増加傾向</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人口</th> <th>世帯数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>5,340</td><td>2,150</td></tr> <tr><td>H22</td><td>5,500</td><td>2,170</td></tr> <tr><td>H23</td><td>5,310</td><td>2,180</td></tr> <tr><td>H24</td><td>5,480</td><td>2,200</td></tr> <tr><td>H25</td><td>5,130</td><td>2,130</td></tr> <tr><td>H26</td><td>5,320</td><td>2,240</td></tr> <tr><td>H27</td><td>5,810</td><td>2,420</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5,890</td><td>2,430</td></tr> </tbody> </table> <p>※新潟県統計年報より集計(「高年3月の数値」)</p> </div> <div data-bbox="917 1563 1420 1915"> <p><b>地元スーパーマーケット物流拠点の整備</b></p> <p>県内有数のスーパーマーケット運営企業がスマートICの開通に合わせて、物流拠点を整備</p> <p>地元スーパーマーケットの物流拠点</p> <p>村上や長岡方面の輸送に新潟東スマートICを利用</p> </div> </div> | 年度    | 人口 | 世帯数 | H21 | 5,340 | 2,150 | H22 | 5,500 | 2,170 | H23 | 5,310 | 2,180 | H24 | 5,480 | 2,200 | H25 | 5,130 | 2,130 | H26 | 5,320 | 2,240 | H27 | 5,810 | 2,420 | H28 | 5,890 | 2,430 |
| 年度         | 人口   | 世帯数   |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H21        | 5,340  | 2,150 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H22        | 5,500  | 2,170 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H23        | 5,310  | 2,180 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H24        | 5,480  | 2,200 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H25        | 5,130  | 2,130 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H26        | 5,320  | 2,240 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H27        | 5,810  | 2,420 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| H28        | 5,890  | 2,430 |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |
| <p>出典等</p> | <p>新潟市「日本海東北自動車道『新潟東スマートIC』開通1年後の整備効果について(2017年)」</p>  |       |    |     |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |     |       |       |

### ③長岡北SIC周辺地区（新潟県長岡市）

|             |  |
|-------------|--|
| <p>概要</p>   | <p>(経緯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度：長岡北SIC周辺開発候補地決定</li> <li>・2017年3月：長岡北SIC開通</li> <li>・2018年度：長岡北スマート流通産業団地造成工事着手</li> <li>・2020年度：順次分譲開始</li> <li>・2022年度：全区画完売</li> </ul> <p>(流通産業団地概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主体：長岡地域土地開発公社</li> <li>・面積：開発面積約36ha、分譲面積約26ha</li> </ul>                                   |
| <p>位置図</p>  |   |
| <p>交通対策</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡北SICと国道8号を結ぶ新たなアクセス道路の整備（2018年）</li> <li>・周辺道路整備（SICからの1次アクセス道路）として左岸バイパス北部延伸事業を実施中</li> </ul>   |
| <p>効果</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・分譲開始から2年で完売（33区画・21社）</li> <li>・2020年10月には、進出企業から成る「長岡北スマート流通産業団地協議会」が設立され、共通したインターンシップメニューの採用や合同企業見学会、新人研修等を実施し、地域経済の活性化や定住人口の増加を目指している。</li> </ul> <p>【経済効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備投資額：約213億円（建物・設備：約170億円、用地：約43億円）</li> <li>・売上額：約250億円</li> <li>・雇用人数：約1,000人（うち新規雇用人数：350人）</li> </ul> |
| <p>出典</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡北スマートIC地区協議会「長岡北スマートICの利用状況と整備効果」（平成30年6月29日）</li> <li>・長岡市プレスリリース（令和5年3月28日）</li> </ul>   |

④愛鷹SIC周辺地区（静岡県沼津市）

| <p>概要</p>  | <p>(経緯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年度：愛鷹SIC地区協議会設立</li> <li>・2012年度：国土交通省から沼津市長に対し連結を許可</li> <li>・2016年度：愛鷹SIC開通</li> </ul> <p>(立地した施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所等の企業立地</li> </ul>  |          |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
|------------|--|----------|-----------|----------|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|----|---|-----|----|---|-----|----|----|
| <p>位置図</p> |   |          |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| <p>効果</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鷹SIC開通前の周辺の開発立地件数は46件（H22年～H28年10月）</li> <li>・H28年の愛鷹SIC周辺における開発面積は、民間投資の誘発により開通前のH27年に比べ約1.8倍に増加</li> </ul> <p>■ 愛鷹スマートIC周辺（愛鷹、片浜、金岡）の開発面積の推移</p>  <table border="1"> <caption>愛鷹スマートIC周辺（愛鷹、片浜、金岡）の開発面積の推移 (単位: ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開発面積 (ha)</th> <th>増加分 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>13</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>23</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>約1.8倍</p> <p>平成23年11月 愛鷹スマートIC地区協議会設立</p> <p>平成24年4月 愛鷹スマートIC 連結許可</p> <p>平成28年3月 愛鷹スマートIC開通</p> <p>※H28のデータは、10月までの値<br/>※口囲いの値は、各年度における開発面積の増加分</p> <p>出典：沼津市開発行為年度別許可面積、件数（愛鷹、金岡、片浜地区）<br/>H28愛鷹スマートインターチェンジ利用実態調査</p> | 年度       | 開発面積 (ha) | 増加分 (ha) | H22 | 1 | 1 | H23 | 3 | 2 | H24 | 4 | 1 | H25 | 8 | 4 | H26 | 10 | 2 | H27 | 13 | 3 | H28 | 23 | 10 |
| 年度         | 開発面積 (ha)  | 増加分 (ha) |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H22        | 1  | 1        |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H23        | 3  | 2        |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H24        | 4  | 1        |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H25        | 8  | 4        |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H26        | 10   | 2        |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H27        | 13   | 3        |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| H28        | 23   | 10       |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |
| <p>出典</p>  | <p>沼津市 建設部 道路建設課「東名高速道路 愛鷹スマートインターチェンジ～開通6ヶ月の交通量及びストック効果について～」</p>   |          |           |          |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |   |   |     |    |   |     |    |   |     |    |    |



効果

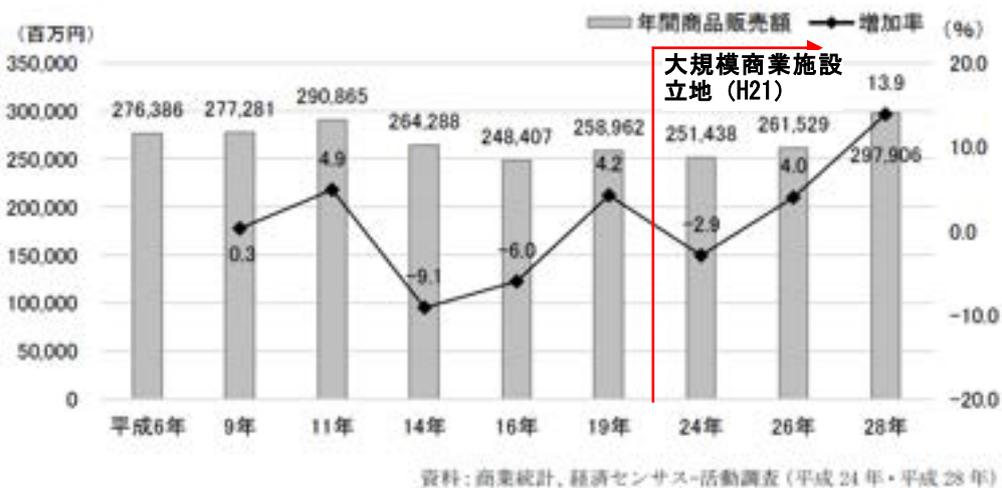
(観光交流の促進)

- ・大規模商業施設の立地によりSIC利用者が増加



(商業の活性化)

- ・年間商品販売額は、大規模商業施設立地以降、当初は東日本大震災による全国的な景気低迷で停滞していたが、その後増加傾向に転じている。



(雇用の増加)

- ・「都市再生整備計画 事後評価シート」によると、基準年次(2005年)の地区内の雇用者数は30人であったものが、目標年次(2010年)では2,469人(目標値: 1,050人)となっており、当初目標の2倍以上の効果が報告されている。

出典等

- ・(財)道路新産業開発機構「高速道路を活用した地域の活性化部会の報告概要」
- ・静岡県スマートIC協議会「静岡県内におけるスマートIC整備効果」
- ・静岡県磐田市「都市再生整備計画 事後評価シート 遠州豊田PA周辺地区」

## ⑥安八SIC周辺地区(岐阜県安八町)

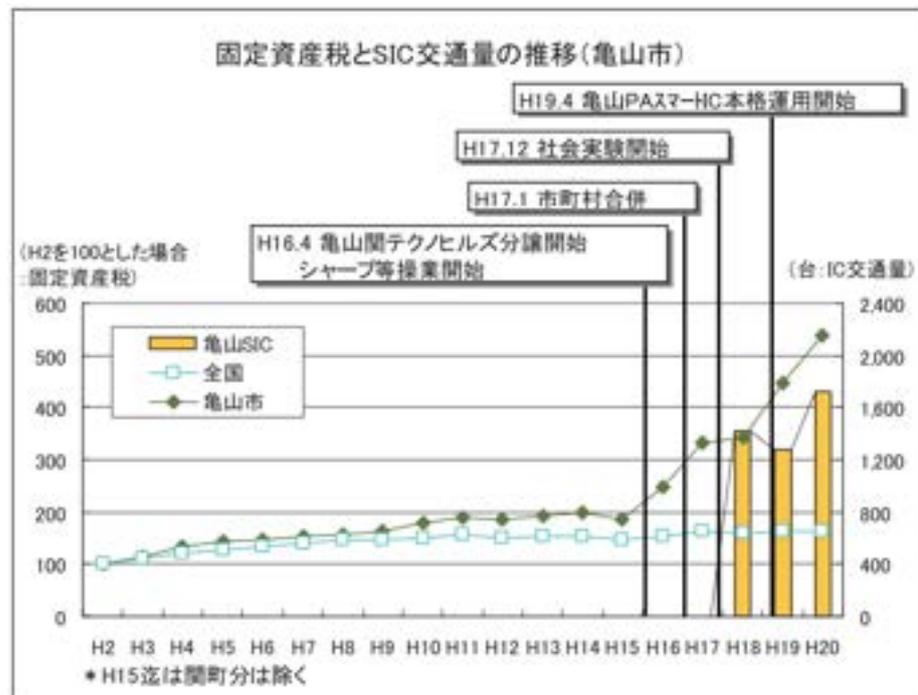
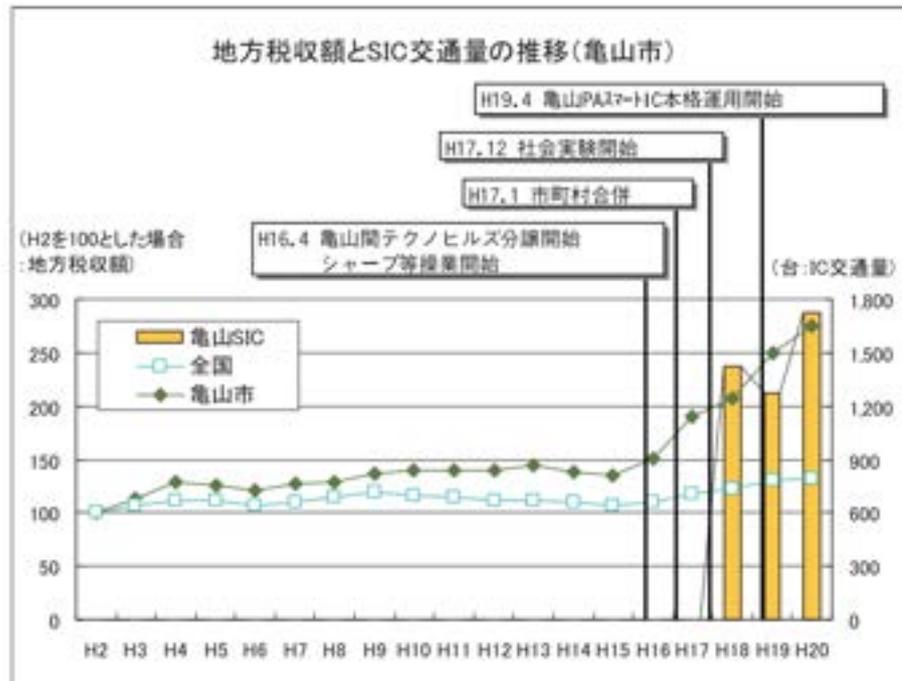
| <p>概要</p>  | <p>(経緯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年4月：安八町がSICの計画を発表</li> <li>・2013年6月：国土交通省が設置を許可</li> <li>・2016年5月：着工</li> <li>・2018年3月：供用開始</li> </ul> <p>(立地した施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業、運送業等</li> </ul>   |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
|------------|--|----|--------|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| <p>位置図</p> |  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| <p>効果</p>  | <p>・2007年のSIC整備構想の公表以降、安八町では16社の新規企業進出があり、約700人（うち町内雇用約100人）の新規雇用を創出（2019年3月現在）</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>企業進出状況</b> [単位:社]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規進出社数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>3</td></tr> <tr><td>H21</td><td>0</td></tr> <tr><td>H22</td><td>0</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1</td></tr> <tr><td>H24</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>7</td></tr> <tr><td>H31</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="flex: 2;"> <p><b>【進出企業16社の内訳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製造業：10社</li> <li>運送業：3社</li> <li>その他：3社</li> </ul> <p>● 稼働中 (Red)<br/>● 未稼働 (Blue)</p> </div> </div> | 年度 | 新規進出社数 | H20 | 3 | H21 | 0 | H22 | 0 | H23 | 1 | H24 | 0 | H25 | 0 | H26 | 0 | H27 | 0 | H28 | 2 | H29 | 1 | H30 | 7 | H31 | 2 |
| 年度         | 新規進出社数   |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H20        | 3  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H21        | 0  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H22        | 0  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H23        | 1  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H24        | 0  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H25        | 0  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H26        | 0  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H27        | 0  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H28        | 2  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H29        | 1  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H30        | 7  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| H31        | 2  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |
| <p>出典</p>  | <p>安八スマートインターチェンジ地区協議会「名神高速道路 安八スマートインターチェンジ～開通後1年の利用状況及び整備効果について～」</p>  |    |        |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |

## ⑦ 亀山PA地区 (三重県亀山市)

|            |  |
|------------|--|
| <p>概要</p>  | <p>(まちづくりの経緯・スマートIC整備年次)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2002年 4月：亀山・関テクノヒルズ造成開始</li> <li>・2005年 12月：亀山PAスマートICを社会実験的に設置</li> <li>・2007年 4月：亀山PAスマートICの本格導入</li> <li>・2008年 2月：亀山・関テクノヒルズ竣工（第4期造成工事）</li> </ul> <p>(立地した施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀山・関テクノヒルズでは、SIC整備直後からの企業進出が相次ぎ、SIC整備による企業進出が進展</li> </ul> |
| <p>位置図</p> |  |
| <p>効果</p>  | <p>(交通面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する工業団地までの距離が約2 km短縮され、所要時間が7分短縮</li> <li>・国道1号で発生していた朝・夕の渋滞（最大4.2km）が大幅に緩和</li> </ul> <p>(製造業出荷額等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亀山・関テクノヒルズ工業団地の分譲開始までは、ほぼ全国水準と同様の推移をしてきたが、分譲の翌年には約80%増となり、その後も増加が顕著</li> </ul> <div data-bbox="724 1458 1417 1984"> </div>               |

(税収)

- ・工業団地の造成と一体となってSICが整備されたことで、地方税収入額が増加
- ・固定資産税からSIC整備効果についてみると、平成2年から全国水準を上回る推移をしているが、特に亀山・関テクノヒルズが分譲されてから急激に増加
- ・分譲後の平成14年に約200%を超え、平成19年SICが本格運用されると、500%を超える推移を示した。



出典等

- ・一般社団法人道路審産業開発機構報告「名阪国道沿線工業団地の躍進」
- ・住友商事による官・民一体産業開発事業
- ・中部地方整備局HP

## (2) まちづくり手法の事例

SIC周辺のまちづくり手法の参考事例として、IC周辺において地域未来投資促進法を活用した土地利用調整（農用地区域の解除）を行った須坂市の事例と、千曲市と同様に非線引き都市計画区域の用途地域外において、「開発整備促進区を定める地区計画」の手法で大規模商業施設の立地を可能にした南アルプス市の事例を整理します。

### ■ 事例の概要

| 地区名                       | 概要  |
|---------------------------|---|
| 須坂長野東IC周辺地区<br>（長野県須坂市）   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模商業施設、宿泊施設、物流施設、工場の立地を誘導</li> <li>・地域未来投資促進法の土地利用調整スキーム、市街化調整区域における地区計画を活用して民間施設の立地を誘導</li> <li>・渋滞対策として、必要な道路を市の主導で整備</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>観光集客施設用地・物流関連産業施設用地の様子（2025年3月現在）</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ものづくり産業施設用地・ものづくり2次用地の様子（2025年3月現在）</p>  </div> </div>                   |
| 南アルプスIC南地区<br>（山梨県南アルプス市） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模商業施設、地域交流施設（地元企業）の立地を誘導</li> <li>・非線引き都市計画区域の用途地域外であるため、「開発整備促進区を定める地区計画」を活用し、大規模商業施設、地域交流施設の立地を誘導</li> <li>・広域からの集客を支え、市内の移動拠点となるバス停留所や駐車場を整備</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備イメージ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>2024年6月30日にオープンした地域交流エリア（飲食、物販、農産物直売所、アウトドア体験、イベント広場）</p>  </div> </div> |

## ①須坂長野東IC周辺地区（長野県須坂市）

| <p>概要</p>                  | <p>(対象地区の土地利用規制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法では線引き都市計画区域の市街化調整区域</li> <li>・農振法では農業振興地域の農用地区域</li> <li>・農地法では農用地区域内農地</li> </ul> <p>(整備の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業や物流機能を強化し、観光商業機能、防災機能等の導入を図り、中心市街地と相互に連携、分担して、市全体の活性化を牽引する拠点地区として整備を推進</li> </ul>  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
|----------------------------|--|-----|--|--------|--|----------|--|----------|--|----------------------------|--|
| <p>位置図</p>                 |  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
| <p>まちづくり手法</p>             | <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地転用等の農地調整は厳しく規制されており、この調整が大きな課題</li> </ul> <p>(開発手法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域未来投資促進法に沿って土地利用調整を実施するため、物流関連産業と観光集客施設を民間主体の開発として計画</li> <li>・市街化区域の見直しができないことから、開発を可能とするため市街化調整区域における地区計画を決定</li> <li>・開発のための道路整備を推進（国土交通省の「官民連携基盤整備推進調査費」を活用し、交通処理計画の検討、道路概略設計を実施）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="375 1411 774 1713"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <th colspan="2">道路整備箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4車線＋付加車線</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2車線＋付加車線</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2車線＋付加車線<br/>(2024年度中の開通予定)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 凡 例 |  | 道路整備箇所 |  | 4車線＋付加車線 |  | 2車線＋付加車線 |  | 2車線＋付加車線<br>(2024年度中の開通予定) |  |
| 凡 例                        |  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
| 道路整備箇所                     |  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
| 4車線＋付加車線                   |  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
| 2車線＋付加車線                   |  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
| 2車線＋付加車線<br>(2024年度中の開通予定) |  |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |
| <p>出典</p>                  | <p>須坂市資料</p>   |     |  |        |  |          |  |          |  |                            |  |

## ②南アルプスIC南地区（山梨県南アルプス市）

|             |  |
|-------------|--|
| <p>概要</p>   | <p>(対象地区の土地利用規制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧南アルプス完熟農園の跡地</li> <li>・都市計画法では非線引き都市計画区域の用途地域外</li> <li>・農振法では農業振興地域の農用地区域外</li> </ul> <p>(整備の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス I C 新産業拠点整備事業として、「人々が集まり、地域と繋がる集客交流拠点」という土地利用コンセプトの下、一体的な再開発を推進</li> <li>・大規模商業施設（誘致施設）と地元の企業による「地域交流施設」を中心に、交通環境と地域の魅力を活かした集客と交流の拠点を実現し、市の玄関口となる活力ある新たな街を整備</li> </ul>  |
| <p>位置図</p>  |  <p>The location map on the left shows the project area (対象地区) outlined in red within a larger regional context. The conceptual diagram on the right illustrates the project's structure: a central '交通ゾーン' (Traffic Zone) with the goal of 'もっと繋げる' (connecting more), flanked by '交流する' (Exchange) and '集客する' (Attracting visitors) zones. Specific facilities mentioned include '地域交流施設' (Local exchange facility), 'コストコ (仮)南アルプス倉庫店' (Costco temporary Nan'Alps warehouse store), and '大規模商業施設' (Large-scale commercial facility).</p>  |
| <p>開発手法</p> | <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模集客施設の立地が可能となる都市計画を定めることが必要</li> <li>・地区内は、公共施設はほとんど整備されていない</li> </ul> <p>(開発手法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模集客施設に係る土地の区域に限る用途制限の緩和と、当該施設の立地によって発生する負荷を緩和するために必要な交通施設の配置や建築物等の制限を、都市計画で一括して定め誘導するため、「開発整備促進区を定める地区計画」を採用</li> <li>・広域からの集客を支え、市内の移動拠点となるバス停留所や駐車場を整備</li> </ul>  <p>The detailed site plan map shows the project area divided into three zones: a yellow '交流ゾーン' (Exchange Zone) of approximately 3.6ha, a blue '交通ゾーン' (Traffic Zone) of approximately 1.5ha, and a pink '集客ゾーン (開発整備促進区)' (Attracting visitors zone / Development promotion zone) of approximately 6.6ha. The map also shows surrounding roads, rivers, and other landmarks.</p> |
| <p>出典</p>   | <p>南アルプス市資料</p>  |

## 4 マクロ的な社会経済情勢

### (1) 製造業の立地動向

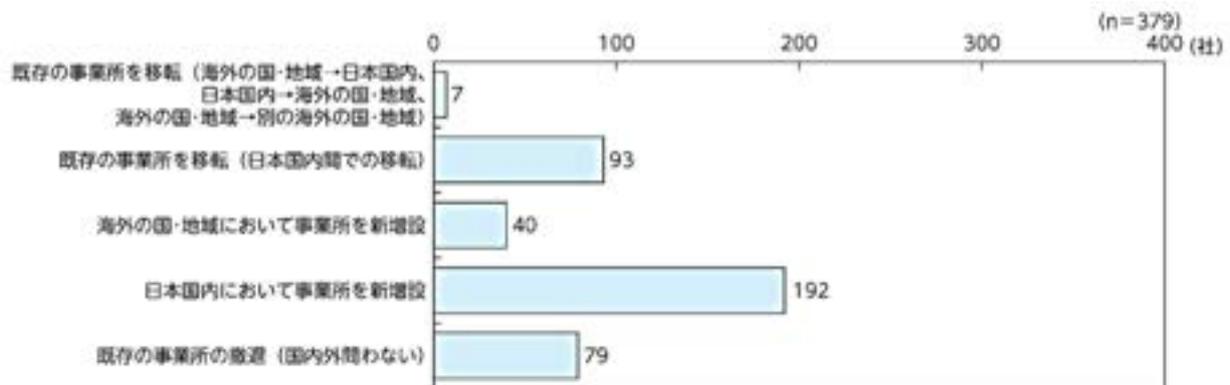
#### ① 事業所の移転や新增設の動向

「2024年版ものづくり白書」（経済産業省）によると、直近1年間の事業所の移転や新增設の動向は、「日本国内において事業所を新增設」や「既存の事業所を移転（日本国内間での移転）」を実施した企業が多くなっています。

また、今後の事業所の移転や新增設の計画については、「既存の事業所を移転（日本国内間での移転）」、「日本国内において事業所を新增設」と回答する事業者が多く、国内間での移転や国内外における新增設の動きがみられます。

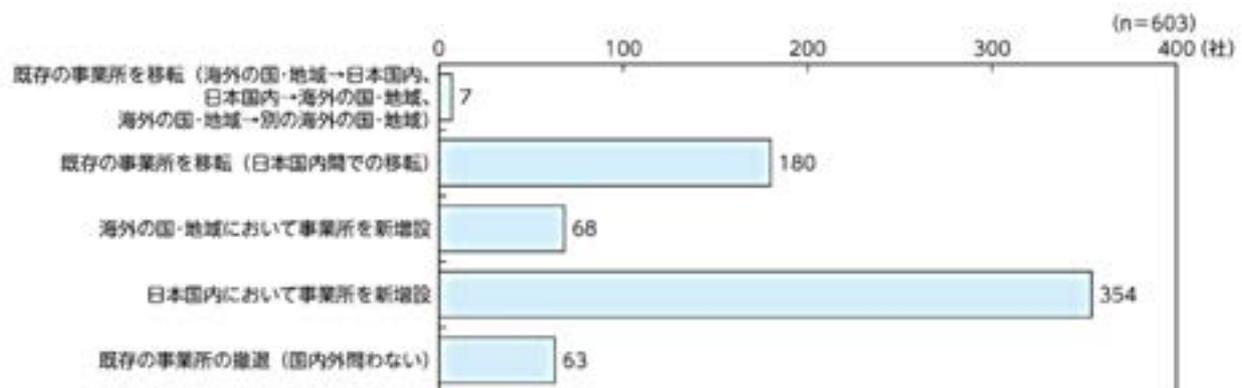
近年の円安進行に伴う国内生産コストの相対的な低下及び経済安全保障の政策潮流を背景に生産製造拠点の国内回帰が進展していると考えられます。

#### ■ 直近1年間の事業所の移転や新增設の状況



出典：2024年版ものづくり白書（ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告）

#### ■ 今後の事業所の移転や新增設の計画



出典：2024年版ものづくり白書（ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告）

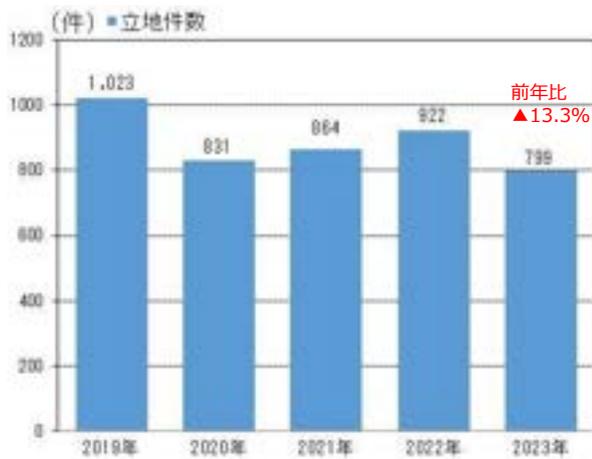
## ②工場の立地動向

工場立地動向調査によると、2023年の立地件数は799件、前年と比較して123件減少した一方、立地面積は1,544ha、前年と比較して264ha増加しており、業種別では主に電気業が202ha、電子部品・デバイスが139ha増加したと報告されています。

また、工場立地は、高速ICと近接して行われる傾向があり、立地件数の約半数が高速ICから5 km以内の立地となっています。

直近5年間の各交通インフラ施設と工場立地場所の平均距離の推移では、高速ICとの近接性が際立っており、立地場所として高速ICとの近接性を重視していると報告されています。

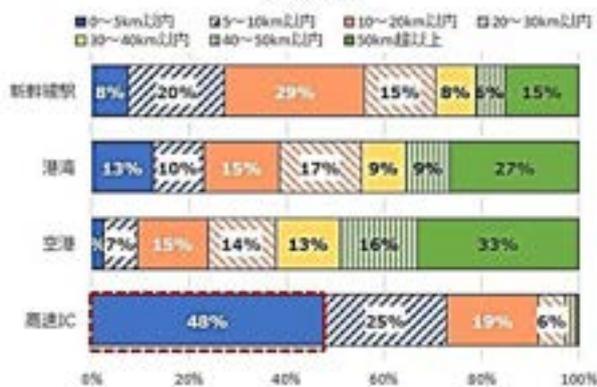
### ■工場立地件数・面積の推移（2019年～2023年）



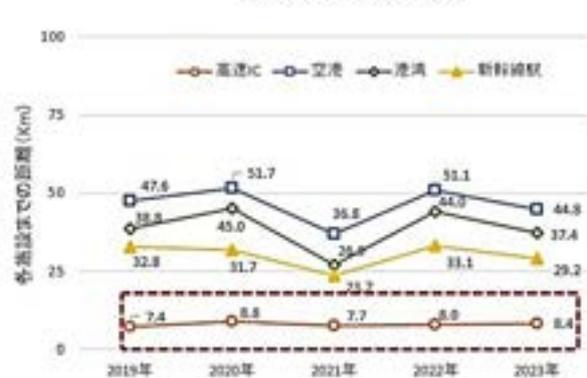
出典：経済産業省「2023年（1月～12月）工場立地動向調査の結果について」（2025年4月18日）

### ■交通インフラと工場立地場所の関係

各インフラ施設と工場立地場所との距離別 立地件数割合 [2023年]



各インフラ施設と工場立地場所の平均距離の推移 [2019年～2023年]



出典：経済産業省「2023年（1月～12月）工場立地動向調査の結果について」（2025年4月18日）

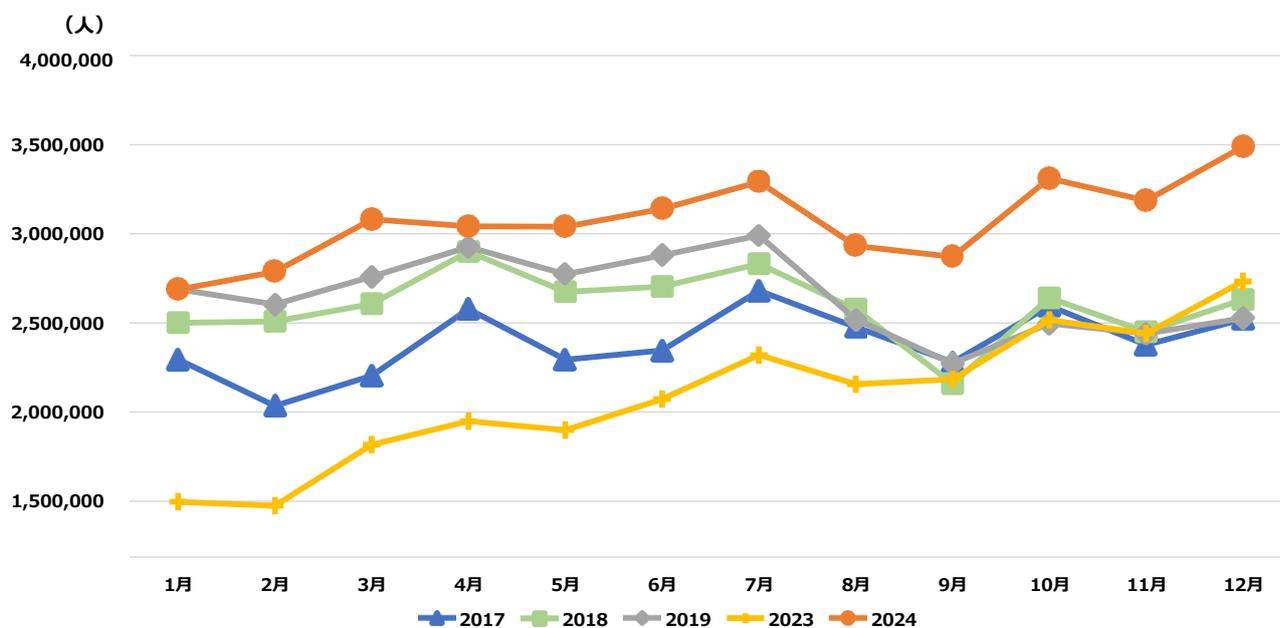
## (2) インバウンドの動向

### ①全国的な動向

日本政府観光局によると、2024年の訪日客数は、3,600万人超の過去最多を記録し、東アジアのみならず東南アジア、欧米豪・中東においても実数を増やし、年間過去最高の更新につながったと報告されています。

また、訪日外国人消費動向調査によると、初訪問者は三大都市圏が多いものの、リピーターは地方部を訪れる傾向にあります。

### ■訪日外客数月別推移(2017年~2024年)



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年~2022年の数値は除く。  
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

出典：日本政府観光局「訪日外客数（2024年12月および年間推計値）」

### ■訪日客の来訪回数



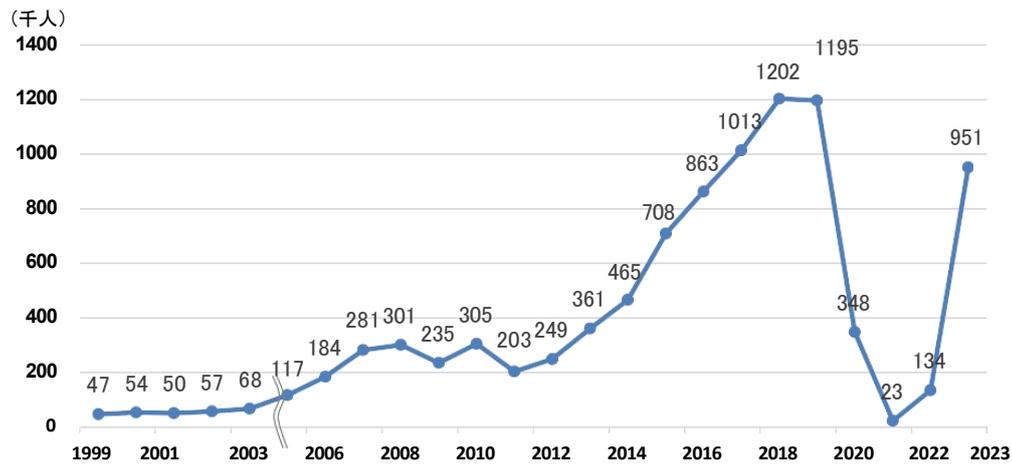
出典：日本政府観光局「訪日外客数（2024年12月および年間推計値）」

## ②長野県の動向

外国人延宿泊者数調査結果によると、2023年の長野県内における外国人延べ宿泊数は対前年比607.4%の高い増加率を記録しています。北信濃地域全体では、対前年比493.0%の増加率となっています。

2023年は全国的に訪日外客数がコロナ禍からの回復途上の時期であったことから、長野県でも外国人延べ宿泊数はコロナ禍以前に戻っていませんが、2024年は更なる増加が期待されます。

### ■延宿泊者数の推移



出典：長野県観光スポーツ部山岳高原観光課「令和5年外国人延宿泊者数調査結果」(2024年11月13日)

### ■広域・地域振興局別延宿泊者数

(単位：人泊、%)

| 区 分         | 令和4年    |       | 令和5年    |       |         |        |
|-------------|---------|-------|---------|-------|---------|--------|
|             | 延宿泊者数   | 構成比   | 延宿泊者数   | 構成比   | 対前年増減   | 対前年比   |
| 東 信 州       | 35,302  | 26.3  | 186,919 | 19.7  | 151,617 | 429.5  |
| 佐 久         | 31,394  | 23.3  | 177,490 | 18.7  | 146,096 | 465.4  |
| 上 田         | 3,908   | 2.9   | 9,429   | 1.0   | 5,521   | 141.3  |
| 諏 訪         | 2,839   | 2.1   | 23,069  | 2.4   | 20,230  | 712.6  |
| 伊 那 路       | 2,956   | 2.2   | 15,060  | 1.6   | 12,104  | 409.5  |
| 上伊那         | 963     | 0.7   | 5,367   | 0.6   | 4,404   | 457.3  |
| 南信州         | 1,993   | 1.5   | 9,693   | 1.0   | 7,700   | 386.4  |
| 木 曾 路       | 1,036   | 0.8   | 17,717  | 1.9   | 16,681  | 1610.1 |
| 日 本 ア ル プ ス | 40,721  | 30.3  | 402,353 | 42.3  | 361,632 | 888.1  |
| 松 本         | 30,188  | 22.4  | 254,849 | 26.8  | 224,661 | 744.2  |
| 北アルプス       | 10,533  | 7.8   | 147,504 | 15.5  | 136,971 | 1300.4 |
| 北 信 濃       | 51,621  | 38.4  | 306,099 | 32.2  | 254,478 | 493.0  |
| 長 野         | 32,032  | 23.8  | 132,188 | 13.9  | 100,156 | 312.7  |
| 北 信         | 19,589  | 14.6  | 173,911 | 18.3  | 154,322 | 787.8  |
| 合 計         | 134,475 | 100.0 | 951,217 | 100.0 | 816,742 | 607.4  |

出典：長野県観光スポーツ部山岳高原観光課「令和5年外国人延宿泊者数調査結果」(2024年11月13日)

### (3) 食関連産業の政策動向

改正食料・農業・農村基本法（令和6年年6月5日施行）に基づく初の「食料・農業・農村基本計画」では、輸出拡大などにより「海外から稼ぐ力」を強化することを掲げ、2030年度の目標について、農林水産物・食品の輸出額5兆円（令和6年度は1兆5,000億円）、食品産業の海外展開による収益額3兆円（同1兆6,000億円）、インバウンドによる食関連消費額4兆5,000億円（同1兆6,000億円）としています。

「海外から稼ぐ力」を強化するために、「食品産業の海外展開」や「インバウンドによる食関連消費」は重要で、輸出拡大との相乗効果が期待できるとして、これらの食関連消費の拡大に向けた施策を一体的かつ効果的に進めるとしています。

#### ■食品産業を巡る情勢

【生鮮食品、加工食品、外食別の食料支出額の見通し】  
（2015年を100とする指数）

1人当たり食料支出（総世帯）（単位：％）

|      | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 生鮮食品 | 100   | 99    | 95    | 93    |
| 加工食品 | 100   | 105   | 110   | 117   |
| 外食   | 100   | 104   | 106   | 108   |

食料支出総額（総世帯）（単位：％）

|      | 2015年 | 2020年 | 2025年 | 2030年 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 生鮮食品 | 100   | 97    | 91    | 85    |
| 加工食品 | 100   | 103   | 105   | 107   |
| 外食   | 100   | 102   | 100   | 99    |

出典：農林水産政策研究所「我が国の食料消費の将来推計」  
（2019年版）より抜粋

【訪日外国人旅行消費額の推移】



出典：「訪日外国人消費動向調査」および「インバウンド消費動向調査」より算出

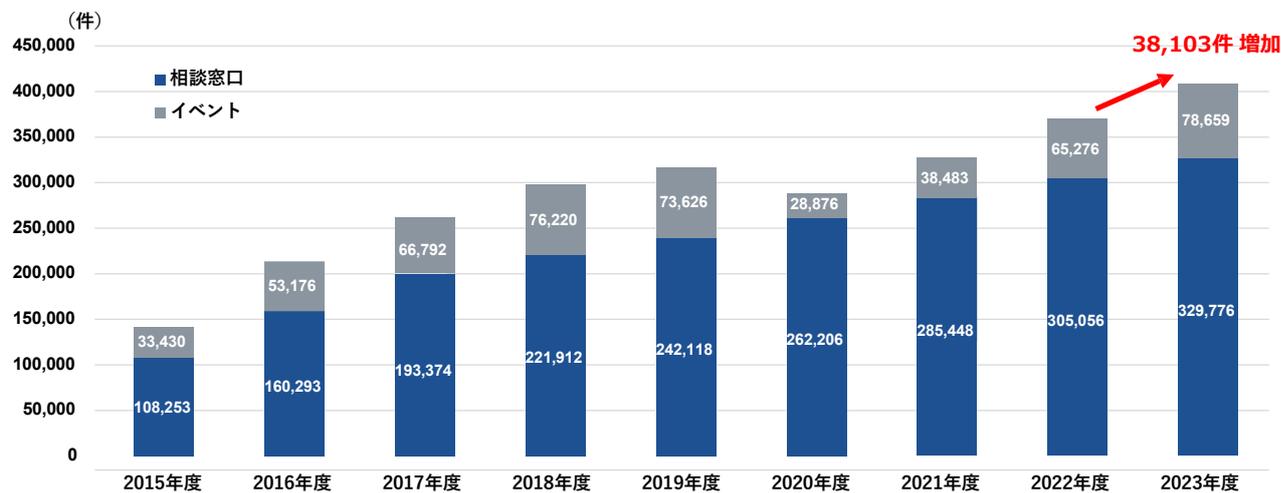
出典：食料・農業・農村政策審議会企画部会（第110回）配布資料

#### (4) 地方移住

総務省による全国自治体から報告の集計結果によると、2023年度の移住相談は、過去最多の相談件数を記録しています。相談件数が最も多かったのは宮崎県であり、次に長野県、福島県の順となっています。

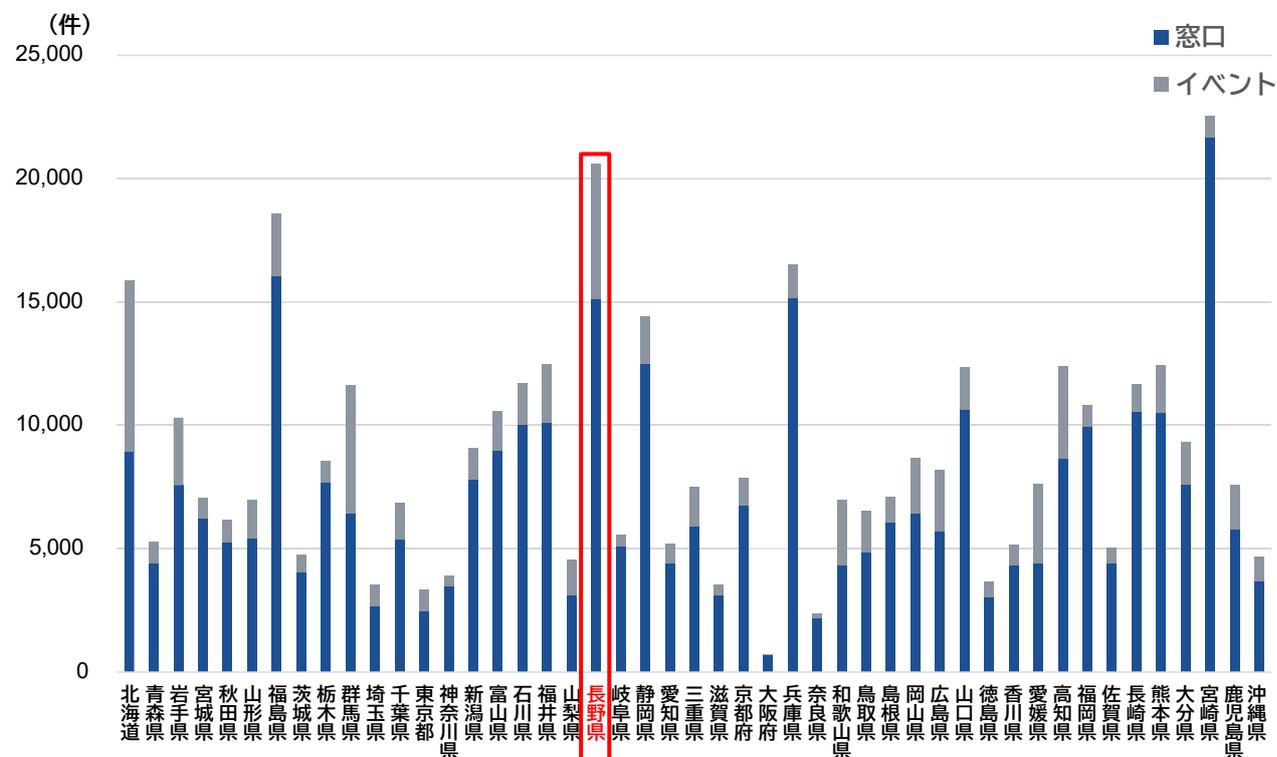
また、長野県（企画振興部）プレスリリース（2025年1月6日）によると、宝島社発行の「田舎暮らしの本」における「移住したい都道府県」ランキングでは長野県が19年連続1位となっています。

#### ■移住相談窓口等において受け付けた相談件数



出典：総務省「移住相談窓口等において受け付けた相談件数」

#### ■各都道府県及び市町村の移住相談窓口等における相談受付件数の状況



出典：総務省「移住相談窓口等において受け付けた相談件数」

## 5 基礎調査のまとめ

ここまでの検討を踏まえ、屋代SIC周辺のあり方を考える上で考慮する事項を「機会」、「脅威」、「強み」、「弱み」の4つの視点で整理します。

### ■「機会」、「脅威」、「強み」、「弱み」の4つの視点での基礎調査のまとめ

|      |               | 機会（プラス要因）  | 脅威（マイナス要因）  |
|------|---------------|--|---|
| 外部要因 | （取り巻く状況・時代潮流） | <p><b>【屋代SIC設置による地域活性化のポテンシャル向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋代SICの設置により高速道路アクセスが向上し、産業立地の促進と物流効率化、観光入込客数の増加が期待</li> <li>SIC周辺開発の事例では、企業立地による生産・販売額、雇用、税収等の効果が発生。住宅地開発の場合は人口定着や商業・医療等生活関連施設の立地の効果も発生</li> </ul> <p><b>【地方都市における産業・観光・移住のトレンド】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、生産製造拠点の国内回帰が進展し、工場立地場所としては高速ICとの近接性が重視される傾向</li> <li>訪日客数は増加傾向にあり、リピーターは地方部を訪れる傾向で、長野県内の外国人延べ宿泊数も高い増加率を記録</li> <li>「食料・農業・農村基本計画」（2025年4月閣議決定）では、インバウンドによる食関連消費額の目標（2030年）を2023年の3倍の約45兆円に設定しており、企業投資が活発化の可能性</li> <li>長野県は、移住希望地ランキングで上位に位置</li> </ul>   | <p><b>【少子高齢化の進行】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口は少子高齢化を背景として減少傾向が継続</li> <li>扶助費は人口構造の少子高齢化によって自然増が見込まれ財政制約が強まる見込み</li> </ul> <p><b>【都市間競争の強まり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧更埴市商圏は、長野市商圏、旧戸倉町・旧上山田町商圏は上田市商圏に組み込まれ、影響を受けている状況</li> <li>須坂市では2020年10月に長野県内最大の大規模商業施設が開業し、須坂市の吸引力が高まる懸念</li> <li>観光需要は国際情勢やコロナ禍に象徴される社会経済リスクの影響を受ける</li> <li>千曲市は子育てしやすい環境に不満を持っている人の割合が増加（令和6年5月調査）</li> </ul> <p><b>【千曲川の氾濫リスク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年東日本台風では、埴生、東部地区を中心に多くの箇所でも浸水被害が発生</li> <li>千曲川の概ね100年に1度程度の浸水想定では、千曲川の右岸のほとんどのエリアで浸水することが想定</li> <li>指定緊急避難場所は、埴生小学校区など、洪水時に使用できない場所が特に千曲川右岸の地区に多く存在</li> </ul> |
|      |               | <p><b>強み（プラス要因）</b></p> <p><b>【地の利・交通の要衝】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上信越自動車道と長野自動車道が交差する更埴JCや、更埴IC・姨捨SIC・坂城ICがあり、全国各地からの自動車によるアクセス利便性</li> <li>新幹線駅である長野駅、上田駅から、しなの鉄道を利用したアクセス利便性</li> </ul> <p><b>【暮らしやすさ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2016年から転入数が転出数を上回る社会増の状態が継続（長野市からの転入が中心）</li> <li>土地が安くて広いので希望の住宅が建設でき、借入額が抑えられ、子育て費用への余裕が生まれる</li> </ul> <p><b>【多様な産業力のポテンシャル】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製造業の就業割合が高く増加傾向のほか、出荷額は安定し、産業別の付加価値額でも他産業を卓越する水準</li> <li>農業は果実の生産が盛んで農業産出額は増加傾向で、特にぶどうは、近年、ワイン用ぶどうの栽培面積が増加</li> <li>年間商品販売額は、安定期に推移し、商圏も「成長商圏」に分類され自立性を維持</li> <li>千曲市の観光資源は、「千曲川」、「あんず科野」エリア、「旧街道稲荷山」エリア、「姨捨・さらしなの里」エリア、「戸倉上山田温泉」エリアの5つの魅力エリアがあり、中でも「戸倉上山田温泉」の観光客数が卓越</li> </ul> | <p><b>弱み（マイナス要因）</b></p> <p><b>【稼ぐ力の低下】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済を支える製造品出荷額等は2018年から減少傾向</li> <li>あんずの里など千曲市内の観光スポットは、コロナ禍影響からの回復の遅れ</li> <li>市内で「稼ぐ力」がある「戸倉上山田温泉」でも、施設の老朽化や回遊性の面で課題</li> </ul> <p><b>【若い世代の減少の継続】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野市からの転入超過数が縮小傾向にあり、社会増の増加幅が縮小の兆し</li> <li>夫婦と子供から成る世帯は2005年から減少傾向</li> <li>20歳前後の若年層が転出超過</li> <li>20代の有配偶率が低く、出生数が少ない</li> </ul>  |
| 内部要因 | 市全体           |  |   |
|      | 屋代SIC周辺地区     | <p><b>【歴史・緑・農業体験が融合した魅力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象地区の南側には「一重山」及び「有明山」があり、地域のランドマーク</li> <li>科野の里歴史公園、森將軍塚古墳や長野県立歴史館は、歴史的価値や歴史教育・地域史の学びと、自然景観・自然散策の楽しさの両方を兼ね備えた、家族でも楽しめる魅力的なスポット</li> <li>科野の里ふれあい公園は、市民憩いの大型公園で、特に子ども連れのファミリーや親子に人気のスポット</li> <li>対象地区には「あんずの里アグリパーク」や「あんずの里物産館」が立地</li> </ul> <p><b>【災害リスク】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋代SIC周辺地区の計画降雨規模の浸水深は、更埴IC周辺の浸水深と比べて小さく、浸水リスクがより低い</li> </ul>  | <p><b>【交通環境】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あんず街道は、ピーク時の旅行速度が20km/時（令和3）</li> <li>交通量調査（令和2）では通勤・通学のピーク時に横町交差点から東方向に480mの渋滞長を観測</li> <li>対象地区周辺のバス路線は5回未満/日</li> </ul>  |

# 第3章 団体・市民等の意見把握

## I 市民アンケート調査

### (1) 調査の概要

屋代SIC周辺地区の整備方針の検討において、子育て世代等の市民の意見を把握するために千曲市の公式LINEを活用したアンケート調査を実施し（2025年6月13日～7月13日）、251名の市民から回答がありました。

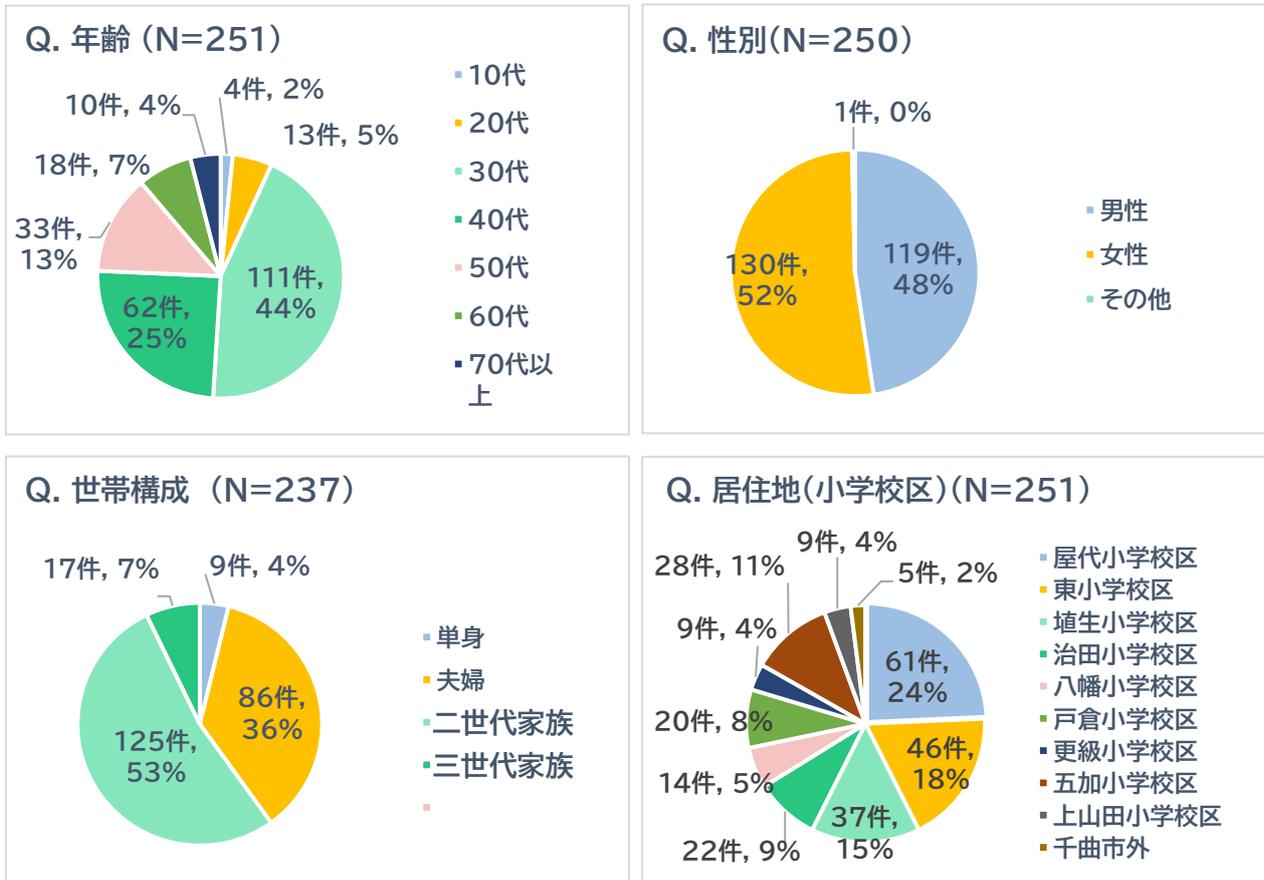
#### 【調査項目】

- ①回答者の属性：年齢、性別、世帯構成、住まい（小学校区）
- ②平日の過ごし方～平日によく行く（利用する）場所や施設、その目的
- ③休日の過ごし方～平日によく行く（利用する）場所や施設、その目的
- ④屋代SIC周辺地区に「こんな施設・場所があったらいいな」と思うこと
- ⑤屋代SIC周辺地区の将来像
- ⑥屋代SIC周辺地区のまちづくりの認知度

### (2) 調査の結果概要

#### 1) 回答者属性

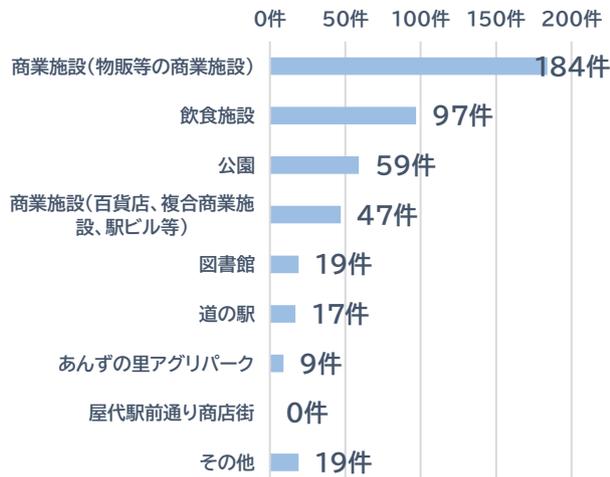
30～50歳の子育て世代が8割以上で30代からの回答が4割を占めてきます。



## 2) 平日の過ごし方

商業施設を筆頭に飲食、公園が多く、買い物や飲食、子どもとの遊びが過ごし方の中心となっています。

Q. 通学先や通勤先を除いて、あなたが、普段平日によく行く(利用する)場所を教えてください。市内外は問いません。(複数回答可) (N=244)



Q. 左の設問で回答した場所での過ごし方や訪問目的を教えてください。(複数回答可:いくつでも) (N=252)



## 3) 休日の過ごし方

平日の傾向と基本的に同様であり、家族で過ごせる場が中心となっています。

Q. あなたが、普段休日によく行く(利用する)場所を教えてください。市内外は問いません。(複数回答可) (N=250)



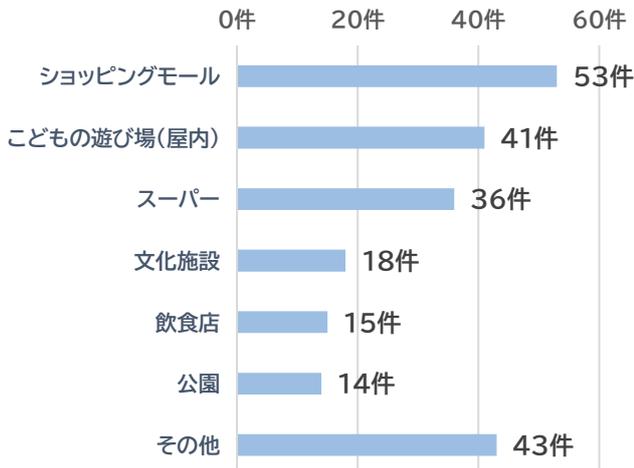
Q. 左の設問で回答した場所での過ごし方や訪問目的を教えてください。(複数回答可:いくつでも) (N=250)



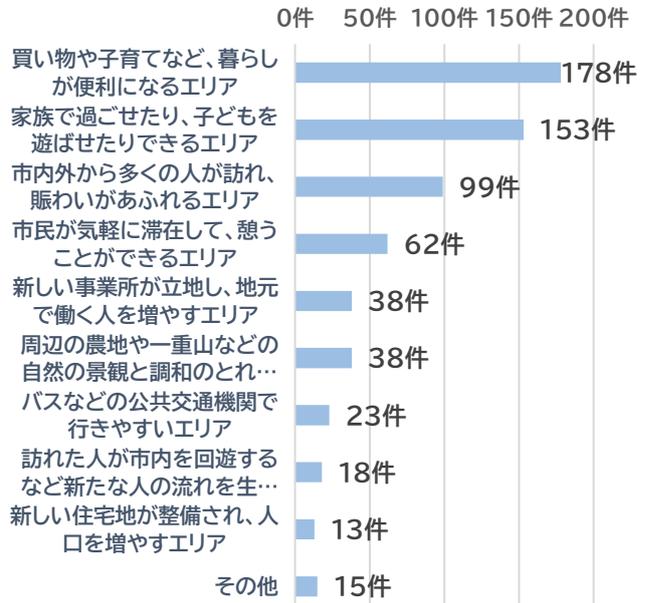
#### 4) (仮称)屋代SIC周辺地区のまちづくりに関する認知度や将来像に対するニーズ

平日・休日に過ごせる場となるほか、市内外からの集客で賑わいを感じられる場に対するニーズもあります。

Q.具体的に(仮称)屋代 SIC 周辺地区に「こんな施設・場所があったらいいな」と思うことがあれば、その施設・場所を教えてください。  
(自由記述) (N=158)



Q. (仮称)屋代SIC周辺地区が今後どのようなエリアになると良いと思いますか。  
(3つまで選択) (N=251)



## 2 市民ワークショップ

### (1) 調査の概要

屋代SIC周辺地区の整備方針の検討において、市民が求める機能・施設・空間のあり方等を把握するために実施しました（2025年7・8月に2回開催）。

ワークショップでは、屋代SIC周辺地区のまちづくりのゾーニングを提示し、各ゾーンについての意見交換を行いました。

#### 【第1回】(7月19日)・・・参加者12名

テーマ：屋代SIC周辺地区での利用シーン（過ごし方）を考えよう

#### 【第2回】(8月23日)・・・参加者12名

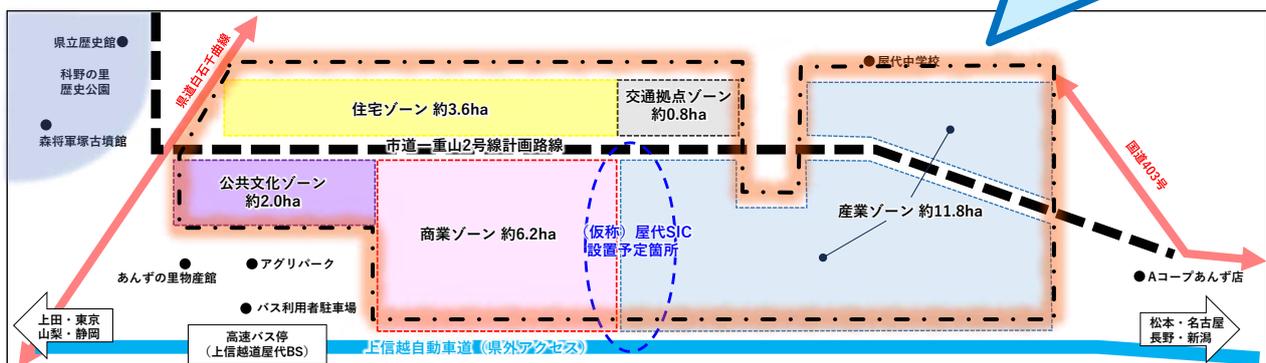
テーマ：屋代SIC周辺地区で過ごす際に必要な機能・空間を考えよう

#### ■ワークショップの様子と屋代SIC周辺地区のゾーニング



屋代 SIC 周辺地区で構想されている  
下記の5つのゾーンの「ありたい姿」を基本に意見交換

- ①公共文化ゾーン
- ②商業ゾーン
- ③交通拠点ゾーン
- ④産業ゾーン
- ⑤住宅ゾーン



■第1回ワークショップの主な意見・・・利用シーン(過ごし方・あり方)

|    | 商業ゾーン  | 公共文化ゾーン  | 住宅ゾーン  | 交通拠点ゾーン   | 産業ゾーン   |
|----|--|--|--|---|---|
| 平日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元野菜目当てで買い物している</li> <li>・子ども達が遊べる</li> <li>・ベビーカーで買い物しやすい</li> <li>・自分が育てた野菜を販売している</li> <li>・カフェで仕事したり、くつろいだりしている</li> <li>・デリバリーサービスを利用している</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の子ども達が遊べる屋内で遊ぶ</li> <li>・子どもを遊ばせつつ、親はお茶や会話を楽しむ</li> <li>・中高生が気軽に集い、勉強している</li> <li>・電源、通信環境があり、飲食が可能で無料で使えるスペースで過ごしている</li> <li>・体育施設でスポーツを楽しむ</li> <li>・市内外ファミリー層や中高生にとって居場所となる場、屋内で子どもが遊べる場が不足</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地価が長野市より安いので、若い子育て世帯が住みやすい</li> <li>・家庭菜園で土いじりをしている</li> <li>・幹線道路の自動車が気にならない</li> <li>・友達と公園で遊んでいる</li> <li>・ゆっくり散歩している</li> <li>・在宅ワークの合間にカフェで一息入れる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日でも快適にバスを待っている</li> <li>・地域の人や観光客が落ち着いて過している</li> <li>・コワーキングスペースでモバイルワーク</li> <li>・待ち合わせができる</li> <li>・出張帰りに、家族に迎えにきてもらったついでに食事や買い物を楽しむ</li> <li>・セルフのガソリンスタンドで給油</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・都会に出た人が地元に戻るための雇用の場がある</li> <li>・市内外の人、幅広い年齢に対応した雇用の場がある</li> <li>・コワーキングスペースがある</li> <li>・地域を大切にする企業が立地</li> <li>・森将軍塚古墳からの眺めを阻害しない低層の施設が立地</li> </ul> |
| 休日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材を使ったカフェで飲食</li> <li>・新鮮な魚を買っている</li> <li>・家族で買い物や食事を楽しむ</li> <li>・大きな本屋に行っている</li> <li>・スポーツ用品を購入している</li> <li>・無料駐車場で気軽にお出かけ</li> <li>・映画やスポーツを楽しむ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが遊び、学ぶことができる</li> <li>・用事があるとき子どもを預けられる</li> <li>・アスレチック等で気軽な運動を楽しむ</li> <li>・家族で子どもと遊んでいる</li> <li>・図書室でゆったり過ごしている</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅ゾーンにある小さな公園で過ごす</li> <li>・自宅周辺を散歩している</li> <li>・庭にプールを出して水遊びができる</li> <li>・シェアキッチンや共有スペースでのBBQを友人と楽しむ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料の駐車場があり、利用しやすい</li> <li>・車中泊ができる</li> <li>・高速バスで東京へ行くときに使う</li> <li>・食事をしたり、お土産を買ったりしている</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業見学や体験を通して、大人も子供も市内の産業を学んでいる</li> <li>・食品工場の見学に来ている</li> <li>・お酒の工場見学に来ている</li> <li>・物流ターミナル拠点の見学に来ている</li> <li>・県外の新鮮な海産物を届ける物流拠点がある</li> </ul>       |
| 災害 | —  | ・災害時に避難場所として活用できる  | —  | —   | —   |

■第2回ワークショップの主な意見・・・第1回の意見交換の結果を基にした機能や空間のイメージ

商業ゾーン

ターゲットと基本的な条件

(無料)駐車場併設

フリースペース・イベント広場

施設のターゲット層:30~50代

“月の都(日本遺産)”など千曲市らしいコンセプト・テーマを大切にする

地産地消と市内にない新鮮な海産物・畜産物の購入、道の駅機能、起業志向の若者等のチャレンジの場

地域の野菜やクラフトを直購入

千曲市産の食材、飲食販売 生産者と繋がることができる仕組み等のチャレンジショップ(起業支援の場)もある (生産者の写真付き販売)

家庭菜園の産品も持ち込み販売可能

新鮮な肉、野菜、魚介を購入でき、敷地の中でBBQもできる

屋代SICを活かし、市外から新鮮な水産・畜産物を入荷

食事や会話を楽しめたり、家族で過ごせたりする場

家族で食事、買い物を楽しめる。大きな本屋もほしい。

(買物の間に)一息つける場、ゆっくりできる場がある

映画館、足湯などがあり、一日中楽しめる

広いフードコートなど、中高生が「安心して」過ごせる場所がある

イベントや買い物にワクワクときめき、楽しさが生まれる店舗

観光商業:森將軍塚古墳館・長野県立歴史館・アグリパークとの連携、

八幡地区の道の駅検討との差別化

小布施のハイウェイオアシスのイメージ

観光客に消費させる仕掛けが必要

八幡地区で検討中の道の駅との役割分担は必要

アグリパークと競合しない土産物等の販売

あんず、ぶどう、地元の新鮮な野菜など、商業と観光の連携に活かせる産品が豊富

DXによる観光案内とリアル(対面)の観光案内

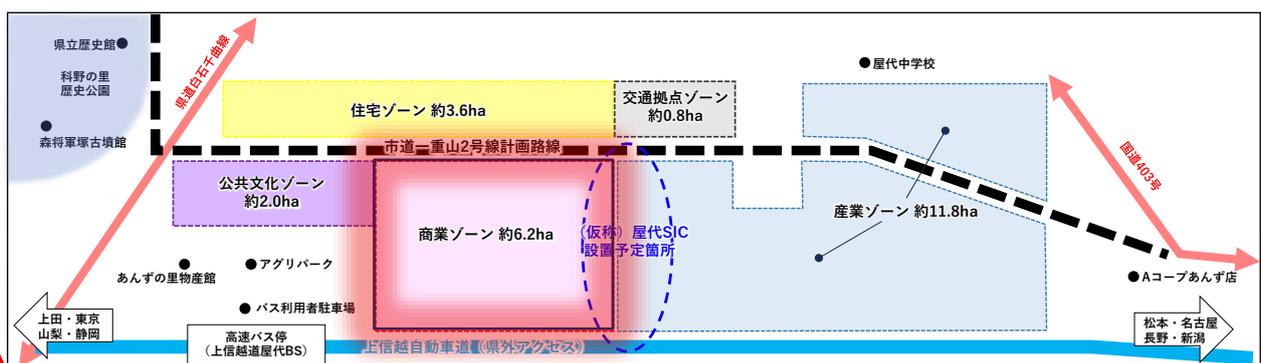
あんずの時期は限られるため、通年の集客が見込める森將軍塚古墳館・長野県立歴史館との連携が重要

災害時の防災拠点

大きな施設、駐車場を活かして、災害時の避難場所や物資供給施設ができる施設

科野の里歴史公園との連携

農業観光ゾーンとの連携



## 公共文化ゾーン

### 勉強など小中高校生が集える場

小学生～大学生が安心して勉強したり、体を動かしたりできる施設

しなの鉄道の古い車両を展示し、その中で勉強やモバイルワークができる

飲食や会話ができる、安心して勉強できる中高生の居場所となる施設。使用用途に応じて、階ごとにエリア分け

屋代中学、高校が近隣にあるが、駅からのアクセスが課題

### 子どもたちが安全に安心して遊べる場

雨の日でも遊べる場所

ボードゲームで楽しんでいる

ハイハイする赤ちゃんゾーンが分かれている

幅広い世代(子供)が同じ空間

外の遊び場と屋内遊び場が繋がっている

アスレチック施設など、体を動かすことができる

大規模で良質な、屋内で子供を遊ばせられる施設は、お金を払ってでも行きたい

### 大人や家族が過ごせる場

子供を遊ばせつつ、親は飲食を楽しめるなど、遊び場と飲食エリアとの連続性がある施設

未就園児の親子さんが気軽に来て、交流できるような場所

買い物の間、子供達を遊ばせられる。買い物の後、家族で利用

お茶や食事を楽しめる(子育て支援センターは、コロナの名残で食事ができない)

アグリパーク(パン屋・いちご狩り)や、物産館(レストランはっぴい)と連携し、一体となった施設

### 千曲らしく、くつろげる空間

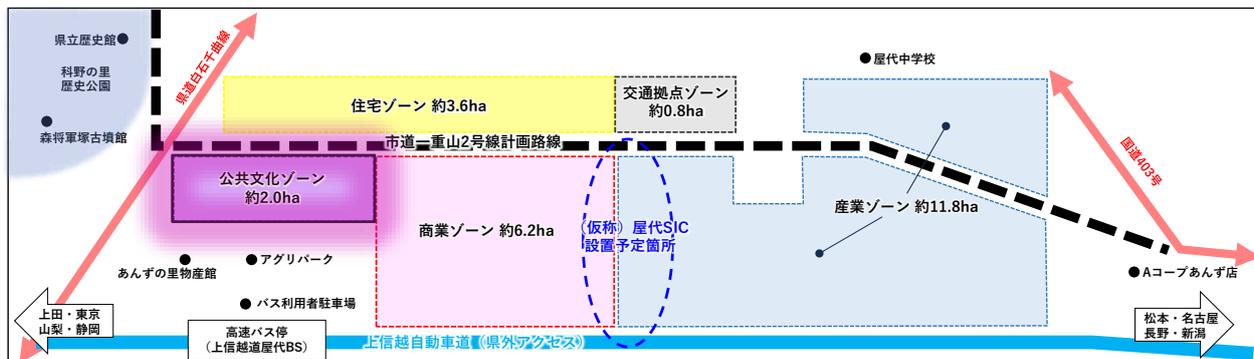
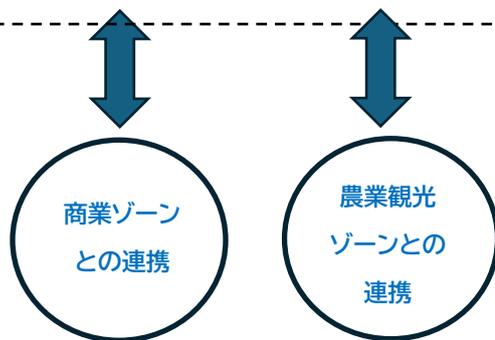
千曲市の文化財をイメージした遊具(月、古墳、果物など)

自然をイメージした内装、文化(茶・木・緑)

ゆっくりできる施設。インテリアもスペースも長野市や上田市にないような、おしゃれな感じ

地元の人のためでもありつつ、市外の人にも利用できる施設

拠点的な子どもや家族の居場所(ただし、地域の人々の普段使いも否定しない)





## 交通拠点ゾーン

### バスツアーの窓口・快適な待合スペース

旅行会社のバスツアー参加者の利用促進として、バスツアーの窓口を設置。バスツアー待機時間に休憩ができる施設が良い

待ち時間用のカフェ・飲食をとれるスペース

### 屋代 SIC 周辺地区を起点に市内を回遊

外部から来た人がこの場所で乗り換え、屋代の市内を回遊。シェアカーやシェア自転車、公共交通機関を充実させて、市内の回遊の玄関となる

ここへ行けばどこにでも行ける。屋代駅へのアクセスの強化も必要

### 無料の駐車場

高速バスの乗り場(車を乗り捨てられる無料駐車場)

高速バスで東京(新宿)へ乗り換えなしで行けるメリットを活かす

### 観光含むサイクリングの拠点

屋代線跡のサイクリングロードとの連続性がある施設

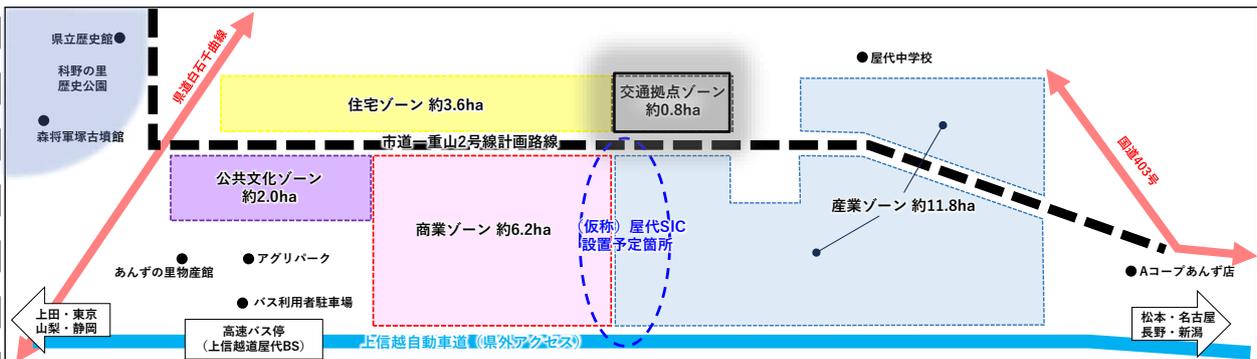
市内の観光拠点・  
屋代駅との  
連絡性

### 駐車場のイベント空間活用

広い駐車場を活かしたイベントの実施。  
(クラシックカーの展示イベント等)

商業ゾーン  
との連携

屋代線跡地活用との連携



## 産業ゾーン

### 平常時:物流拠点 → 災害時防災拠点

雨宮産業団地や八幡東工業団地で企業立地が進んでおり、物流拠点立地で高いポテンシャル

災害時の物資の集積、配送の役割を期待

大規模な駐車場は防災拠点に活用可能

流通のハブを生かすことで市外・県外の新鮮な産品を商業ゾーンで販売

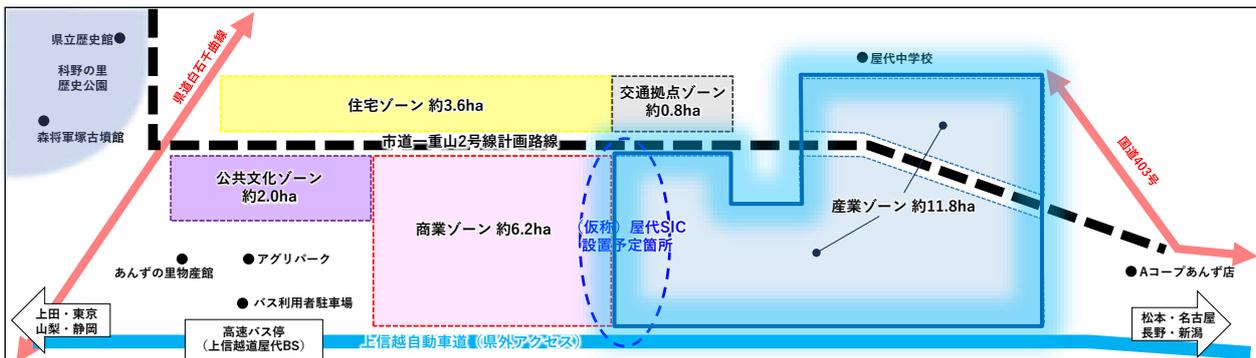
### 工場見学ができる企業の誘致

工場見学や直販施設がある食品工場等の誘致

そば、丸ナスのおやき、アウトレット商品の詰め放題等

歴史観や古墳館との見学つながりができると良い

商業ゾーンとの連携



### 3 関係者ヒアリング調査

屋代SIC周辺地区の整備方針の検討において、個別の対話を通じて、それぞれの立場からのまちづくりに対する意見を把握しました（2025年5・6月に実施）。

ヒアリング対象は、屋代SIC周辺地区の施設管理者や民間事業者、賑わい創出や地域活性化、子育て支援等のまちづくりへの意見等を有する団体・組織としました。

#### 【屋代SIC周辺地区の施設管理者や民間事業者】

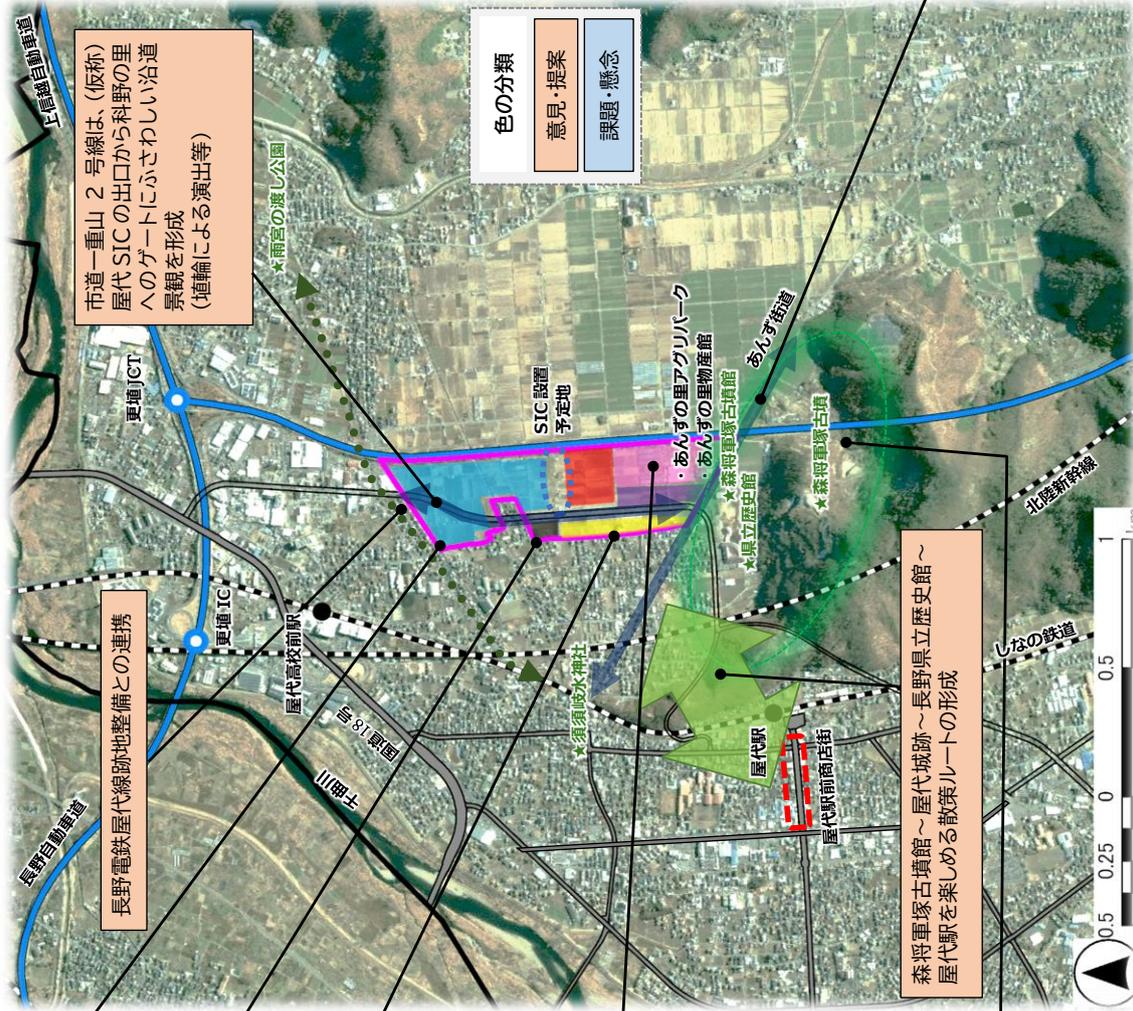
- ①（有）あんずの里アグリパーク
- ②長野県立歴史館
- ③森將軍塚古墳館

#### 【賑わい創出や地域活性化、子育て支援等のまちづくりへの意見等を有する団体・組織】

- ①社会福祉法人有明福社会
- ②しなの鉄道株式会社
- ③（一社）信州千曲観光局
- ④屋代駅前通り商店街協同組合
- ⑤（一社）ちくま未来戦略機構

## ■屋代SIC周辺地区の視点での意見

|  |
|--|
| <p><b>産業ゾーン</b></p> <p>地域との関わりがもてるような機能(工場見学等)があると良い</p>   |
| <p><b>交通拠点ゾーン</b></p> <p>SIC 周辺までは車でアクセスし、そこから多様な二次交通手段で市を周遊</p>   |
| <p><b>住宅ゾーン</b></p> <p>北信の中で千曲市は降雪が少なく、移住・転入促進のアピールポイント</p>  |
| <p><b>農業観光エリア</b></p> <p>夏の集客が課題</p> <p>戸倉上山田温泉とは個人的なつながりでの連携にとどまる</p> <p>商業ゾーンとの連携を期待</p>   |
| <p><b>科野の里</b></p> <p>屋代地区の中で森將軍塚古墳は観光資源としての可能性が大</p> <p>一重山は歴史的に貴重な山城</p> <p>歴史と自然の両方を学び、触れることができる場所</p> <p>月の都の娯楽の棚田と太陽の都の森將軍塚古墳の連携</p> <p>SIC の整備により、東信、中信、南信地方からの誘客を期待</p> |



|   |  |
|---|--|
| <p><b>商業ゾーン</b></p> <p>他地域からも人を呼び込めるような集客力のある施設を希望</p> <p>フードコートや子どもが遊ぶことができる全天候型の施設を望む声が多い</p> <p>地域のイベントを開催したり、地域団体が活動したりできる場所、多世代が交流できる場所があると良い</p> <p>商業施設は、市民が対象地区周辺までに向かうほどの魅力を持つ必要がある</p> <p>ワイナリーが設置できると良い</p> <p>森將軍塚古墳館や長野県立歴史館の出張展示やPR ができるスペース</p> <p>市内の魅力的なスポットや多様な地域活動の情報発信</p> <p>商業ゾーンは十分な駐車場の確保</p> | <p><b>交通環境</b></p> <p>しなの鉄道の踏切と付近の横町交差点に起因する渋滞の悪化を懸念</p> <p>あんずの時期には道路が渋滞し、周遊的な行動ができない</p> <p>森將軍塚古墳館と長野県立歴史館のイベントでは、現状でも駐車場不足</p> |
|---|--|



## 第4章 屋代SIC周辺地区の役割と将来像

### 1 屋代SIC周辺地区の将来像

屋代SIC周辺地区の7つの役割と、第三次千曲市総合計画の将来像である「人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都～文化伝承創造都市・千曲～」につなげていくことを踏まえて、将来像を設定します。

#### 【千曲市第三次総合計画の将来像】

人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 ～文化伝承創造都市・千曲～

#### 【役割1】

市内の観光拠点への新たな人の流れを生み出す  
ゲートウェイ

#### 【役割2】

既存の工業団地や事業所との連携により市内の産業集積を強化するハブ

#### 【役割3】

市民と来訪者がモノ・コトの消費を楽しめる千曲市のショーケース空間

歴史と自然に育まれた地域文化を受け継ぎ、  
さらに磨きながら、新たな価値を育て、  
人と地域が共に成長するまち

人と人が出会い、地域と地域が結び合うことで、未来を担う人と文化を創ります。  
そして、賑わい、学び、働き、暮らし、安心を一つにかなえます。

#### 【役割4】

「住む・働く・楽しむ」が融合する定住・移住の場

#### 【役割5】

世代と地域をつなぎ、誰もが楽しく過ごせる市民共有のリビング

#### 【役割6】

歴史環境と自然環境が融合した地域資源の体験と発信の拠点

#### 【役割7】

災害時の避難・救援・物資集配の活動拠点

## 2 屋代SIC周辺地区の役割

基礎調査のまとめ及び団体・市民等の意見把握などを基に、屋代SIC周辺地区の役割を7つ整理します。

### 積極的戦略① 強みを活かして機会を創出する

#### 【強み】を活かして

- ・広域高速交通基盤による地の利、交通の要衝
- ・温泉、歴史的町並み、古墳、棚田景観、果樹等の多様な観光資源と戸倉・上山田地区の稼ぐ力



#### 【機会】を創出する

- ・屋代SIC整備による高速道路アクセス向上
- ・観光入込客数の増加ポテンシャル向上
- ・訪日客数は増加傾向、地方部はピーター化



#### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・屋代SICと戸倉上山田温泉街の連携強化による観光消費の拡大
- ・外国人の誘客は、伸びしろが大と想定され、今後のターゲットは若年層と外国人
- ・屋代SICまでは車でアクセスし、多様な二次交通手段で市内を周遊する仕組みが必要
- ・屋代SIC周辺のまちづくりを契機に市内の観光拠点等を相互に紹介しあう等の仕組みが必要



### 【役割1】市内の観光拠点への新たな人の流れを生み出すゲートウェイ

【役割イメージ】市外から千曲市を訪れる人々が立ち寄る“ゲートウェイ（玄関口）”として、本地区が観光情報や地域産品、多言語サービスなど交流の結節点となることで、**市内各地の観光拠点・スポットへと周遊を誘導し、滞在時間や消費の拡大**につなげる

### 積極的戦略② 強みを活かして機会を創出する

#### 【強み】を活かして

- ・製造品出荷額等は2,000億円台で推移
- ・産業別の付加価値額は製造業が卓越
- ・製造業従業者は増加傾向



#### 【機会】を創出する

- ・生産製造拠点の国内回帰が進展
- ・工場立地は高速ICとの近接性が重視される傾向
- ・インバウンド増加に伴う食品系企業の活性化



#### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・雨宮産業団地や八幡東工業団地で企業立地が進んでおり、物流拠点立地で高いポテンシャル
- ・工場見学やアウトレット販売ができる食品系企業は、観光や商業との産業間連携が可能
- ・若い人の地元就業や東京等に転出した人のUターン等のための雇用の場の確保が重要



### 【役割2】既存の工業団地や事業所との連携により市内の産業集積を強化するハブ

【役割イメージ】製造業や物流業等の産業立地ニーズにタイムリーに対応できるとともに、立地企業と市内の製造事業所間の連携によるイノベーションや製品の付加価値向上、物流企業の立地によるサプライチェーンの効率化や市外への販路拡大といった**企業活動の高度化を通じて、出荷額等の拡大と雇用の選択肢の多様化**につなげる

## 防御戦略①

### 強みを活かして脅威を最小化する

#### 【強み】を活かして

- ・商圏の自立性と商品販売額は安定的推移
- ・果実の生産が盛んで農業産出額が増加傾向
- ・消費力のある若年・子育て世帯の転入



#### 【脅威】を最小化する

- ・長野市及び上田市の大商圏下での競争環境
- ・市外における大規模商業施設の開業
- ・観光需要は流動的な側面（足下需要が重要）



#### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・あんず、ぶどう、地元の新鮮な野菜など、商業と観光の連携に活かせる産品が豊富
- ・SIC周辺の立地特性（流通のハブ）を生かすことで市外・県外の新鮮な産品を購入可能
- ・買い物しながら、家族が一日過ごせたり、多世代が交流できたりする場所に対するニーズは高い
- ・起業意欲ある若者等が千曲市産を販売したり、飲食を提供したりできるチャレンジの場づくり



### 【役割3】市民と来訪者がモノ・コトの消費を楽しめる千曲市のショーケース空間

【役割イメージ】地元産品を活かした商品購入や食文化体験、イベントや触れ合いといった「コト」体験を市民が一体的に楽しめる場を、市民有志もプレイヤーとなって創出することで、千曲市の多彩な魅力・価値が詰まった「ショーケース」となり、**市民の暮らしの豊かさと観光客等の来訪者の満足度の向上**につなげる

## 改善戦略

### 弱みを補強して機会を創出する

#### 【弱み】を補強して

- ・長野市からの転入超過数が縮小傾向
- ・夫婦と子供から成る世帯は2005年から減少傾向
- ・20代の有配偶率が低く、出生数が少ない



#### 【機会】を創出する

- ・長野県は、移住希望地ランキングで上位
- ・長野市や上田市と比べて地価が安価
- ・「こんな家に住みたい」という希望がかなえやすい



#### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・住宅だけでなく、公園やコミュニティでシェアできる居場所、空間（菜園等）があると良い
- ・屋代SIC周辺の商業施設で購入した食材を使って、BBQや料理を楽しめる施設があると良い
- ・庭や菜園がある住宅へのニーズが高く、良好な街並み景観やゆとりある住環境の形成にも寄与
- ・屋代SIC周辺地区に住み、働くといった職住近接の暮らしが実現



### 【役割4】「住む・働く・楽しむ」が融合する定住・移住の場

【役割イメージ】自然的なゆとりや潤いと、都市的な利便性を兼ね備えるとともに、働く場所と住まいが身近にあることで、家族で過ごせる時間をもつことができる暮らしを提供することで、若年層が「住み続けたいまち」と市外の若者・ファミリーが「住んでみたい」と思える「選ばれる街」となることにつなげる

## 回避戦略

### 弱みを補強して脅威を最小化する

#### 【弱み】を補強して

- ・長野市からの転入超過数が縮小傾向
- ・夫婦と子供から成る世帯は2005年から減少傾向
- ・20代の有配偶率が低く、出生数が少ない



#### 【脅威】を最小化する

- ・人口は少子高齢化を背景として減少傾向が継続
- ・市外における大規模商業施設の開業
- ・子育て環境について不満割合が増加



#### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・市内外のファミリー層や中高生にとって居場所となる場が不足
- ・屋内で子供を遊ばせることができるスペースが不足
- ・買い物をして、ついでに家族で遊ぶことができるなど、連続性のある使い方のできる街になると良い
- ・地域の人の普段づかいだけでなく、市全体の広域的に利用される施設が良い



### 【役割5】世代と地域をつなぎ、誰もが楽しく過ごせる市民共有のリビング

【役割イメージ】市全体を利用圏域として、ファミリー層や中高生の居場所となるとともに、屋内外の子どもの遊びや学びの場となる拠点的な施設を提供することで、世代や世帯、地域を超えた交流が生まれ、市全体の子育て環境や暮らしの価値の向上につなげる

## 積極的戦略③

### 強みを活かして機会を創出する

#### 【強み】を活かして

- ・歴史と自然の魅力を兼ね備えた森将軍塚古墳、科野の里歴史公園、長野県立歴史館
- ・農業と自然を楽しむことができる「あんずの里アグリパーク」や「あんずの里物産館」



#### 【機会】を創出する

- ・屋代 SIC 整備による高速道路アクセス向上
- ・観光入込客数の増加ポテンシャル向上
- ・訪日客数は増加傾向、地方部はピーター化



#### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・科野の里は、歴史と自然の両方を学び、触れることができる場所
- ・長野県立歴史館、森将軍塚古墳館、雨宮の渡し、須須岐水神社など文化的要素を含んだ開発をすべき
- ・ビジョンは、「あるものを生かす」視点で策定すべき
- ・森将軍塚古墳館～長野県立歴史館～屋代駅を楽しめる歴史と自然の散策ルートの形成



### 【役割6】歴史環境と自然環境が融合した地域資源の体験と発信の拠点

【役割イメージ】歴史と自然が融合する地域資源を活かしながら、千曲市の魅力を体験し、伝える拠点となるとともに、地域景観の保全・創出とあわせて、省エネルギーや緑化の推進など環境にやさしい空間形成を図り、持続可能な地域づくりの実現につなげる

## 防御戦略②

## 強みを活かして脅威を最小化する

### 【強み】を活かして

- ・屋代SIC整備による高速道路アクセス向上
- ・計画降雨規模において、屋代SIC地区の浸水深は更埴IC周辺等より相対的に浅い想定



### 【脅威】を最小化する

- ・千曲川の氾濫リスク
- ・千曲川右岸は計画規模洪水時に使用できない指定緊急避難場所が多い



### 【関係者ヒアリング・市民ワークショップ】

- ・屋代SIC周辺地区には災害時に地域の防災に資する機能を期待
- ・大規模な駐車場を確保できる土地があり、災害時は防災活動拠点として活用可能
- ・平常時の物流拠点は、災害時に物資の集積や配送の拠点到転用可能
- ・宿泊施設や医療施設もあれば、防災拠点としての機能が充実



## 【役割7】災害時の避難・救援・物資集配送の活動拠点

【役割イメージ】SIC周辺という交通利便性の高い立地であることにより、広域からの支援物資や避難者の集積・分配が迅速かつ効率的に行えるとともに、物流や商業等の駐車スペースやファミリー層や中高生の居場所となる施設を、災害時に避難・救援・物資集配送の活動拠点として活用することで、地域の強靱化につなげる

## 第5章 屋代SIC周辺地区の整備方針

### 1 土地利用の方針

屋代SIC周辺地区のまちづくりの経緯と役割を踏まえ、6つのゾーンを設定し、土地利用の方針を定めます。

| ゾーン  | 土地利用方針  | 役割<br>1 | 役割<br>2 | 役割<br>3 | 役割<br>4 | 役割<br>5 | 役割<br>6 | 役割<br>7 |
|------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 商業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋代SICの交通利便性を生かすとともに、農業観光ゾーンとの連携を図るためSICの南側に配置</li> <li>・屋代SICの利便性を生かし、観光交流の拠点とするとともに、日常生活における利便性の向上と賑わいの創出に資する集客・交流施設の立地を誘導</li> <li>・地域の特産品や新鮮な食材の販売・飲食、ネイバーフッド型商業機能の核として、観光案内等の情報発信や休憩、レクリエーション機能、チャレンジショップ等のインキュベーション機能を備えた施設の整備・運営により、観光客などを含む利用者が気軽に立ち寄れるゾーンとして形成</li> </ul>               | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       | ●       |
| 公共文化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業ゾーン、農業観光ゾーン、森將軍塚古墳館・長野県立歴史館といった文化的な機能の連続性を確保するため、地区の南端に配置</li> <li>・子どもから大人まで世代を超えて集い、学び、遊び、交流できる、市内の拠点的なサードプレイス（居場所）として整備するとともに、公民連携による運営を通じて、市全体の子育て支援や暮らしの価値向上につながる施設の立地を誘導</li> <li>・屋内外の遊び・学びの場や飲食サービスを備え、地域住民や来訪者が気軽に集える空間として形成するとともに、ワークショップや体験型イベント、地域の行事の開催に対応できるゾーンとして形成</li> </ul> |         |         |         | ●       | ●       | ●       | ●       |
| 住宅   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の低層住宅地との連続性を確保するため、地区の西側に配置</li> <li>・若年層の定住やUIターン希望者の住まいとして、商業ゾーンや産業ゾーン、交通拠点ゾーンに近接していることで、生活・通勤利便性が高く、自然環境や近隣の農業景観と調和のとれた快適な住宅・住環境の提供につながる施設の立地を誘導</li> <li>・居住者のライフスタイルや働き方に柔軟に対応できるよう、街区内に公園緑地や広場、シェア菜園など共用交流スペースなどを備えることにより、多様なライフスタイルと地域との関わりを生み出すゾーンとして形成</li> </ul>                    |         |         |         | ●       |         |         |         |

| ゾーン  | 土地利用方針  | 役割<br>1 | 役割<br>2 | 役割<br>3 | 役割<br>4 | 役割<br>5 | 役割<br>6 | 役割<br>7 |
|------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 交通拠点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋代SICとの連絡性を確保するため、SICへのアクセス道路の延長線上に配置</li> <li>・バスや自家用車など多様な交通機関によるアクセスと円滑な乗り継ぎを支える施設を整備するとともに、高速バス利用者や地域住民、観光客など幅広い利用者に対応する休憩・交流施設の立地を誘導</li> <li>・パーク＆ライド駐車場や送迎専用停車スペース、路線バスや自転車などのシェアサービスとの接続を確保するとともに、トイレ・授乳室、学習・モバイルワーク対応の快適空間、軽食・土産物販売、イベント・展示スペースを備え、交通利用者の滞在・交流を促進するゾーンとして形成</li> </ul> | ●       |         | ●       |         | ●       |         | ●       |
| 産業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋代SICの交通利便性を生かすとともに、屋代工業団地及び兩宮産業団地との機能連携を考慮し、屋代SIC北側に配置</li> <li>・若年層の定住やUIターン希望者の雇用の場となる産業施設を中心としつつ、市内の産業活動や地域製品の販路拡大に資する物流施設の立地を誘導</li> <li>・先進的な技術・ものづくりの導入や、環境に配慮した持続可能な事業活動の推進、地域社会との交流や教育・見学機会の提供を通じて、産業振興と地域活性化を両立したゾーンとして形成</li> </ul>  |         | ●       | ●       | ●       |         | ●       | ●       |
| 農業観光 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんずの里物産館や農業観光施設は、本市を代表する「あんずの里」と玄関口として、隣接する商業ゾーンや公共文化ゾーンと連携しながら、観光客や地域住民が集い、交流し、地域の魅力を体感できる場としての機能を充実</li> <li>・農産物や加工品の販売、農業体験などの機会を提供など、農業をテーマとした体験観光プログラムの充実を図りながら、周辺の農業景観や自然環境と調和したゾーンとして形成</li> <li>・森將軍塚古墳館、長野県立歴史館と調和した緑を感じることができる空間を形成</li> </ul>                                       | ●       |         | ●       |         | ●       | ●       |         |

■土地利用方針図

【商業ゾーンのイメージ】

- ・市内の新鮮な野菜・特産品、隣接県の新鮮な水産・畜産物、市内観光と連携できる商品（スポーツ、アウトドア等）を販売するネイバーフッド型のショッピングセンター
- ・地域の特産品や食材を利用した飲食店
- ・屋外交流空間（オープンスペース、イベント広場）
- ・市内での新規開業者を育成するチャレンジショップ
- ・市内の観光拠点や名所の観光案内、情報発信機能



【交通拠点ゾーンのイメージ】

- ・高速バスの乗降・待合機能
- ・アクセス・乗り継ぎ機能（パーク&ライド駐車場、送迎者の停車スペース、路線バスなど公共交通との乗継、自転車などシェアサービス、周辺施設利用者の駐車など）
- ・休憩・交流機能（トイレ・授乳室、学習・モバイルワークにも使える空間、軽食・土産物販売、イベント・展示空間など）



【住宅ゾーンのイメージ】

- ・開発エリアで働く人の職住近接ニーズに対応
- ・UIターン者の移住・定住者が住みたくする住宅
- ・庭や菜園などゆとりがある敷地
- ・シェア菜園・広場、公園などのコモンスペース
- ・沿道は生活に必要なサービス施設を誘導（医療等）



【産業ゾーンのイメージ】

- ・先端的な製造業の生産や研究施設や物流施設など、地元若者の定住やUターンを支える雇用の場
- ・施設見学やアウトレット販売を行う食品系企業の立地
- ・地域交流スペースなどの開放施設を備えた地域共生型の企業の立地



【公共文化ゾーンのイメージ】

- ・小中高校生が勉強や会話で溜まれる居心地よいスペース
- ・全天候型・通年で利用でき、子育て世代の定番のお出かけスポットとなる屋内遊び場
- ・歴史体験ゾーン（森將軍塚古墳館・県立歴史館）とも学び・体験の面で連携
- ・子育て世代の親が交流できた、商業ゾーンでの買い物の後にゆっくりできる飲食・休憩スペース
- ・自然や木質感のある「ぬくもり」の感じられる施設



【農業観光ゾーンのイメージ】

- ・買い物のあとで、飲食や農業体験を家族で楽しむなど、地区内の回遊を誘導
- ・商業ゾーンや公共文化ゾーンと連携して農業体験や農業学習等の機会を提供
- ・歴代SIC周辺地区と森將軍塚古墳館、長野県立歴史館をつなぐ動線





## 2 交通対策の方針

屋代SIC周辺地区では、広域的な交通結節点としての利便性を最大限に活かしつつ、周辺道路の整備や交通流の適正化、公共交通機関との連携強化や歩行者・自転車等の利用環境の充実を通じて、多様な移動手段に対応した交通対策を推進します。

### (1) 屋代SIC関連道路等の整備

- ・屋代SICのアクセス道路となる市道一重山2号線の整備（国道403号の「工業団地南」交差点から県道白石千曲線の「県立歴史館」：延長1.4km、幅員20m）
- ・市道返町東西線の整備（SIC料金徴収施設～市道一重山2号線間）
- ・屋代SICの整備に伴う側道の新設・付け替え（屋代SIC周辺地区内は歩行者・自転車空間として整備）
- ・各ゾーンの開発と併せた必要な道路の整備・誘導
- ・上信越道屋代高速バス停の移設先と複数の交通機関が乗り入れる交通拠点の整備

交通拠点の整備イメージ



### (2) 公共交通機関による屋代SIC周辺地区と市内他地区との連絡性の充実

- ・屋代SIC周辺地区の施設立地及び関連道路の整備の進捗と併せたバスアクセスの充実（循環バス）
- ・高速バスと鉄道の連携の仕組みづくり（ダイヤ連携、シャトルバス、ICカード決済等）
- ・屋代SICの整備と併せた市内観光拠点と連絡する観光便の充実
- ・産業ゾーンの企業立地と併せた通勤バスなど交通不可の抑制に向けた取組の誘導

SIC 周辺地区のまちづくりに併せたバス路線の再編



### (3) 歩行者・自転車等の利用環境の整備

- ・長野電鉄屋代線廃線跡地を活用した歩行者・自転車ネットワークの形成
- ・既存道路の歩道や自転車ネットワーク路線、長野電鉄屋代線廃線跡地、市道一重山2号線を活用した主要な歩行者・自転車動線の充実
- ・屋代SIC周辺地区のまちづくりと併せたシェアサイクルの仕組みの拡充検討
- ・新技術の社会実装と併せたパーソナルモビリティやスローモビリティの導入検討

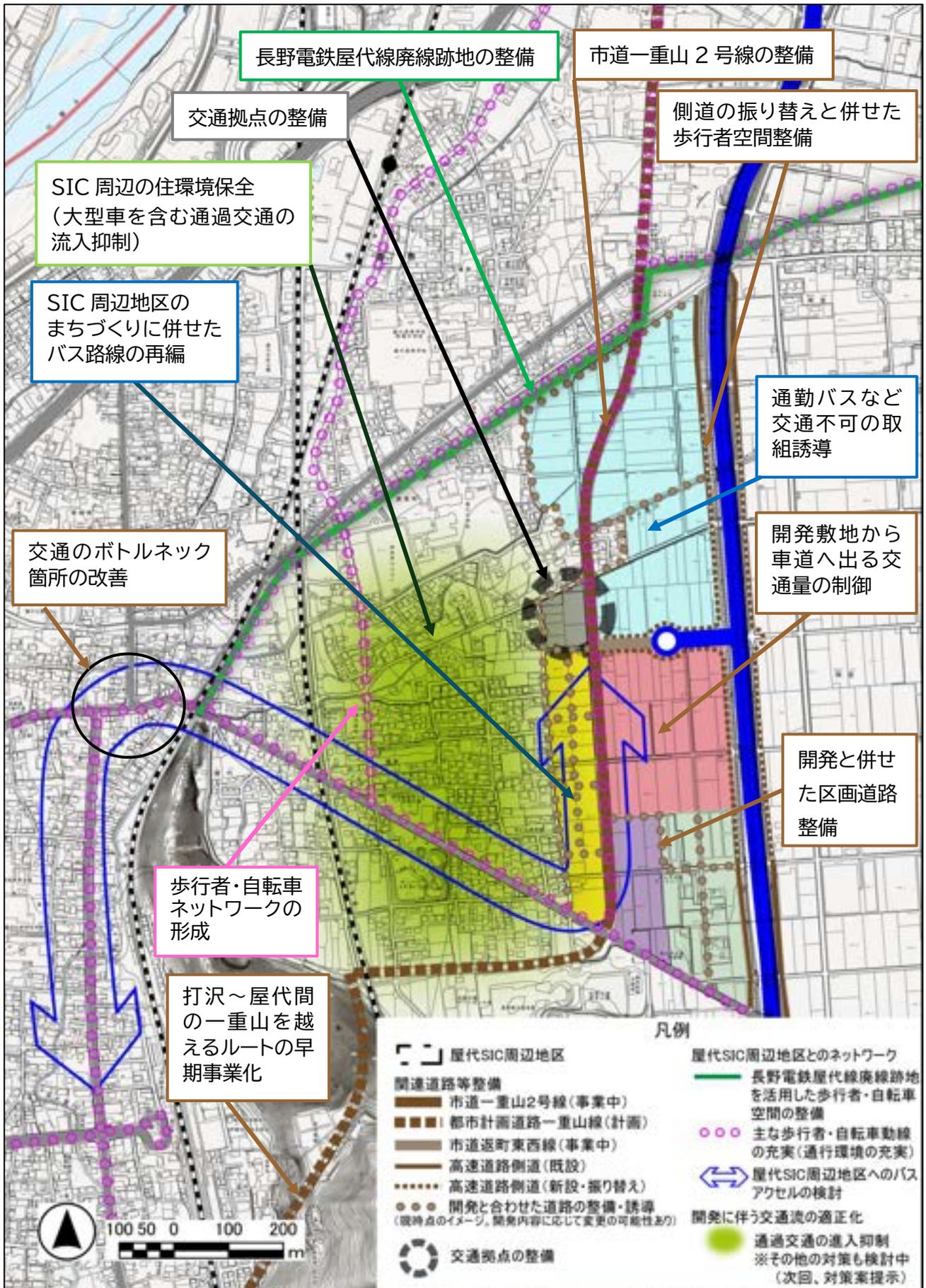
長野電鉄屋代線廃線跡地の整備



### (4) 開発に伴う交通流の適正化

- ・商業施設アクセスや通勤交通、大型車等の物流車両の分散を図るための都市計画道路一重山線の整備促進（特に打沢～屋代間の一重山を越えるルート of 早期事業化）
- ・交通のボトルネックとなるおそれのある横町交差点での信号間隔の調整や看板等による迂回路の誘導等のソフト対策、右折車線の整備や周辺道路の拡幅等のハード対策の検討
- ・開発敷地内での滞留レーンや空間の確保など、開発敷地から車道へ出る交通量の制御
- ・住宅専用系地区への通過交通の進入抑制（大型車通行止めや時間帯制限等の交通規制等）
- ・通学路や歩行者、自転車の主要な動線となっている生活道路での歩道整備や速度規制
- ・開発後の交通量等の定期的なモニタリングと問題がある場合は対策を検討する仕組みづくり

■交通対策の方針図



### 3 緑と景観形成の方針

屋代SIC周辺地区では、地域のシンボリックな自然資源である一重山や屋代田んぼなどと都市機能の調和に配慮しながら、市民や来訪者が心地よさを感じられる空間の創出を基本に、緑を基調とする骨格的な景観のシンボル空間の形成やゾーンの特性を踏まえた公園・オープンスペースの配置、眺望景観の確保、建築物の形態・意匠などについて一体的な誘導を図ります。

緑のシンボル軸のイメージ

#### (1) 緑のシンボル軸の形成

- ・商業ゾーン及び公共文化ゾーン、産業ゾーンでは、一重山2号線沿道の敷地において、緩衝となる緑地を配置することにより、街路樹の緑とともに沿道景観に潤いと統一感をもたらす緑のシンボル軸を形成
- ・中長期的には、地区外の「緑の街路のネットワーク」と一体となって、市内の水と緑のネットワークを構成
- ・森將軍塚古墳館・長野県立歴史館は、「自然と歴史を体験できる緑の拠点」としての役割を持っており、緑のシンボル軸は森將軍塚古墳館・長野県立歴史館への導入路としても形成（埴輪の配置等による沿道の空間演出なども検討）



科野の里歴史公園



#### (2) 緑地・オープンスペース

- ・商業ゾーン及び公共文化ゾーン、産業ゾーン、交通拠点ゾーンの外周では植栽により、うるおいのある空間を形成
- ・住宅ゾーンでは、生け垣や庭木など緑豊かな住環境とし、各住戸の緑が連続した街並みを形成するとともに、小公園や共同菜園など緑を感じる共有空間を創出
- ・公共文化ゾーンでは、子どもの遊び場となるとともに、交流やにぎわいを創出する広場空間を整備
- ・交通拠点ゾーン及び産業ゾーンでは、既存の住宅地と接する空間に、緩衝となる公園や緑地を整備
- ・地区外緑の街路ネットワークや旧街道沿いの歴史を感じる緑のネットワークを通じて、周辺の緑の拠点と連携し、緑と歴史文化を感じることができる都市環境を創出

緑豊かな住宅地のイメージ



#### (3) 地区を特徴づける眺望景観への配慮

- ・各ゾーンの建築物の高さ等の規模や配置、意匠・形態、色彩、緑地の配置は、主要な眺望点である森將軍塚古墳や上信越自動車道を走行する自動車からの見え方に配慮するとともに、周辺の低層住宅の街並みや屋代田んぼなどと調和を誘導
- ・SIC周辺地区から地域のランドマークである森將軍塚古墳の眺望に対しては、主要な視線の抜けを意識した建築物の高さ等の規模や配置、意匠・形態、色彩、緑地の配置を誘導
- ・高速道路を走る自動車からの見え方については、建築物・緑地・広告物等の調和を図ることにより、市の玄関口にふさわしい良好な景観の形成を誘導

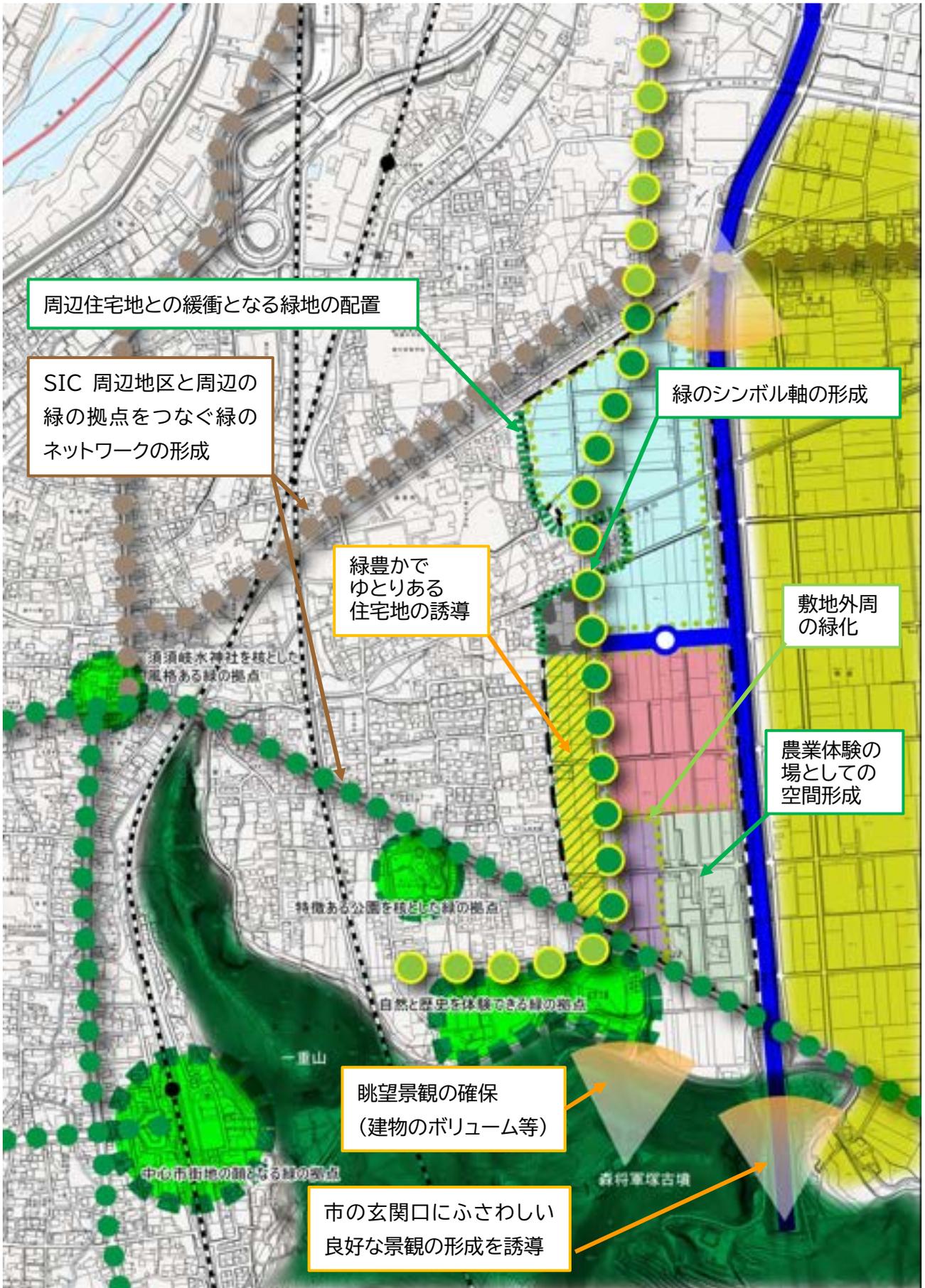
森將軍塚古墳からの眺望(現状)



#### (4) 「千曲市美しいまちづくり景観条例」に基づく建築物の景観誘導

- ・道路境界からの壁面の後退によるゆとりある空間の確保
- ・敷地内のオープンスペースとバランスのとれた建築物の規模・配置
- ・背景となる一重山等の緑や隣接する「科野の里歴史公園」との調和
- ・建築物等の屋根形状・外壁デザイン・色彩などは、周辺の山並みや農地景観と調和

■緑と景観形成の方針図



## 4 防災対策の方針

屋代SIC周辺地区では、新しいまちづくりを契機として、浸水など地域のリスクを踏まえた防災性の向上を図ることを基本に、水害リスクへの備えや、広域的な交通結節点としての特性を生かした防災機能の整備、来訪者や地区外の市民も含めた新たな避難・一時滞在のための空間の提供を一体的に誘導します。

### (1) 水害リスクへの対応

- ・開発地全体を盛土で嵩上げし、浸水被害を軽減
- ・雨水調節池の整備により、局地的な豪雨時にも一時的に雨水を貯留し、流出を抑制
- ・建築物における電源設備等の耐水・浸水対策による停電や機能停止の防止を誘導

地盤の嵩上げイメージ



雨水調整池の例(雨宮産業団地)



### (2) 交通結節点としての特性を生かした防災機能の整備

- ・屋代SIC周辺を災害時の物資集積・輸送拠点として位置付け、救援物資搬入と配送の環境及び体制を整備
- ・大規模駐車場は、物資集積・配布拠点、緊急車両待機スペース等として活用するための運用ルールを整備
- ・市道一重山2号線の整備を通じて緊急輸送道路の代替性を強化

広域的な防災拠点の活動イメージ(活動機関や災害車両の活動:国土交通省「防災道の駅」(令和7年))



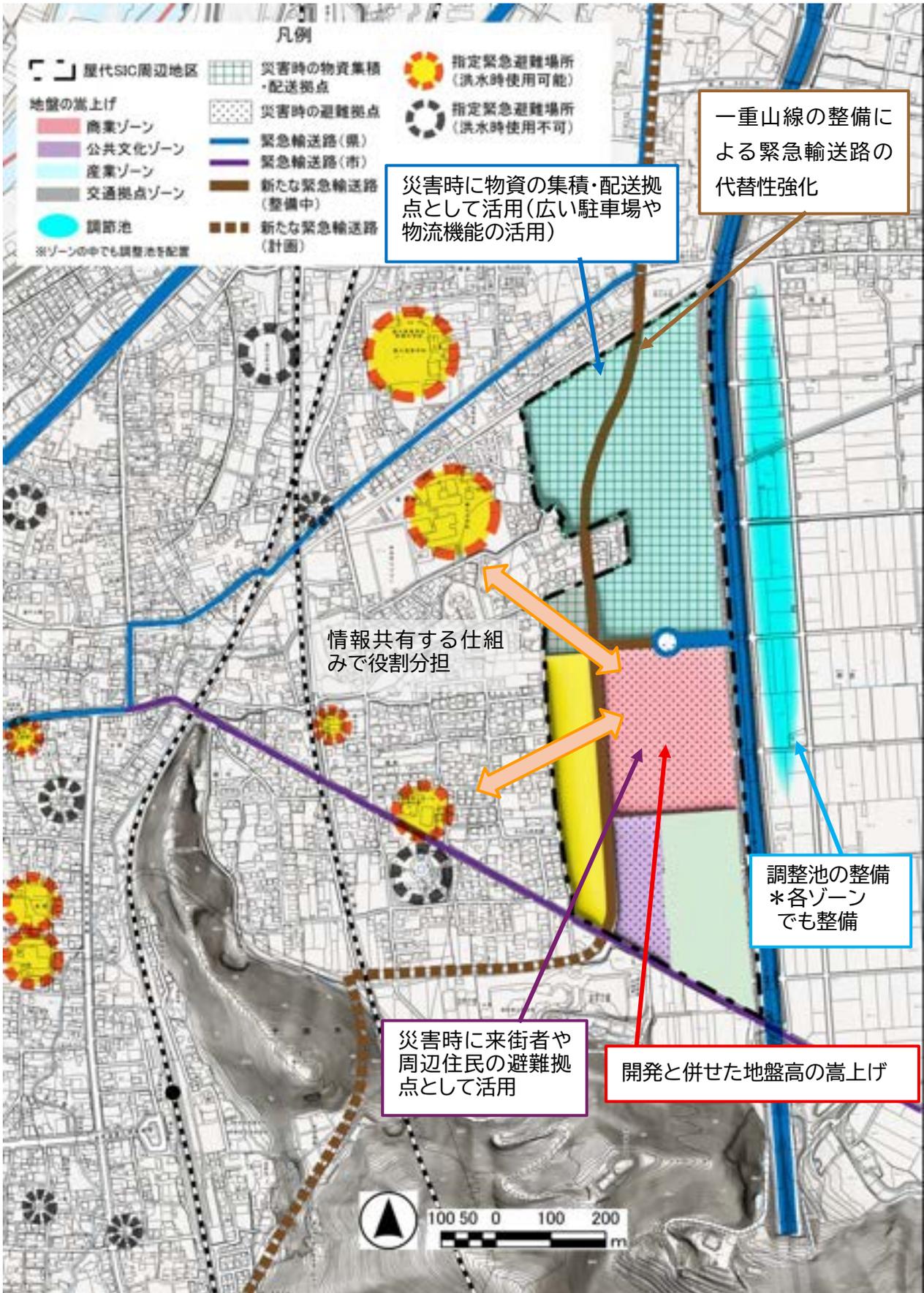
### (3) 避難者の受け入れ環境の整備

- ・太陽光発電・蓄電システムなど、地球温暖化対策と両立した災害時の非常用電源の確保
- ・商業ゾーン、公共文化ゾーン等の広域的な避難拠点として位置付け、水・食料など避難者の滞在環境を確保
- ・平常時の案内システムは、災害情報や交通情報等の提供システムと活用
- ・防災関係機関や既存の避難場所と連携し、災害時の避難者や物資輸送を円滑に行える体制を確保

地域の避難者の一時滞在イメージ(国土交通省)



■防災対策の方針図



# 第6章 まちづくりの効果

## 1 まちづくりの効果の考え方

屋代SIC周辺地区のまちづくりの効果は、下表に示す2つの内容で試算します。

なお、現時点において、SIC周辺地区における各ゾーンの施設計画は確定していないことから、ここでの試算は、一定の仮定に基づくことに留意する必要があります。

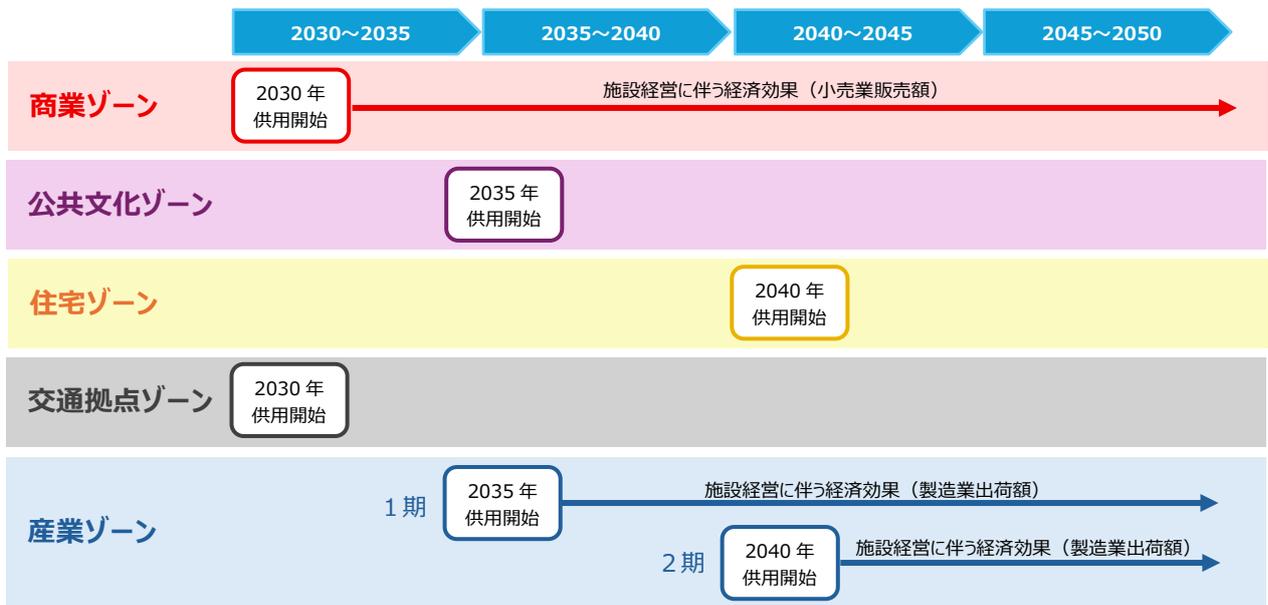
### ■まちづくりの効果の内容

| 項目                           | 内容   |
|------------------------------|--|
| 建設投資に伴う経済波及効果                | 建設工事に伴う資材の購入や働く人の増加などにより、地域での生産・雇用・消費が広がることで、一時的に地域経済を拡大する効果 |
| 商業施設及び産業施設の運営によって新たに発生する経済効果 | 整備された施設が営業・稼働し続けることで中長期的に地域にもたらされる経済効果（商業施設の販売額、産業施設の出荷額）    |

## 2 まちづくりのスケジュール

各ゾーンの供用スケジュールを以下のとおり仮定し、ゾーンごとの経済波及効果、経済効果を試算します。なお、本スケジュールは試算を行うための仮定であり、実際の供用開始時期を確定するものではありません。

### ■各ゾーンの供用スケジュール(仮定)



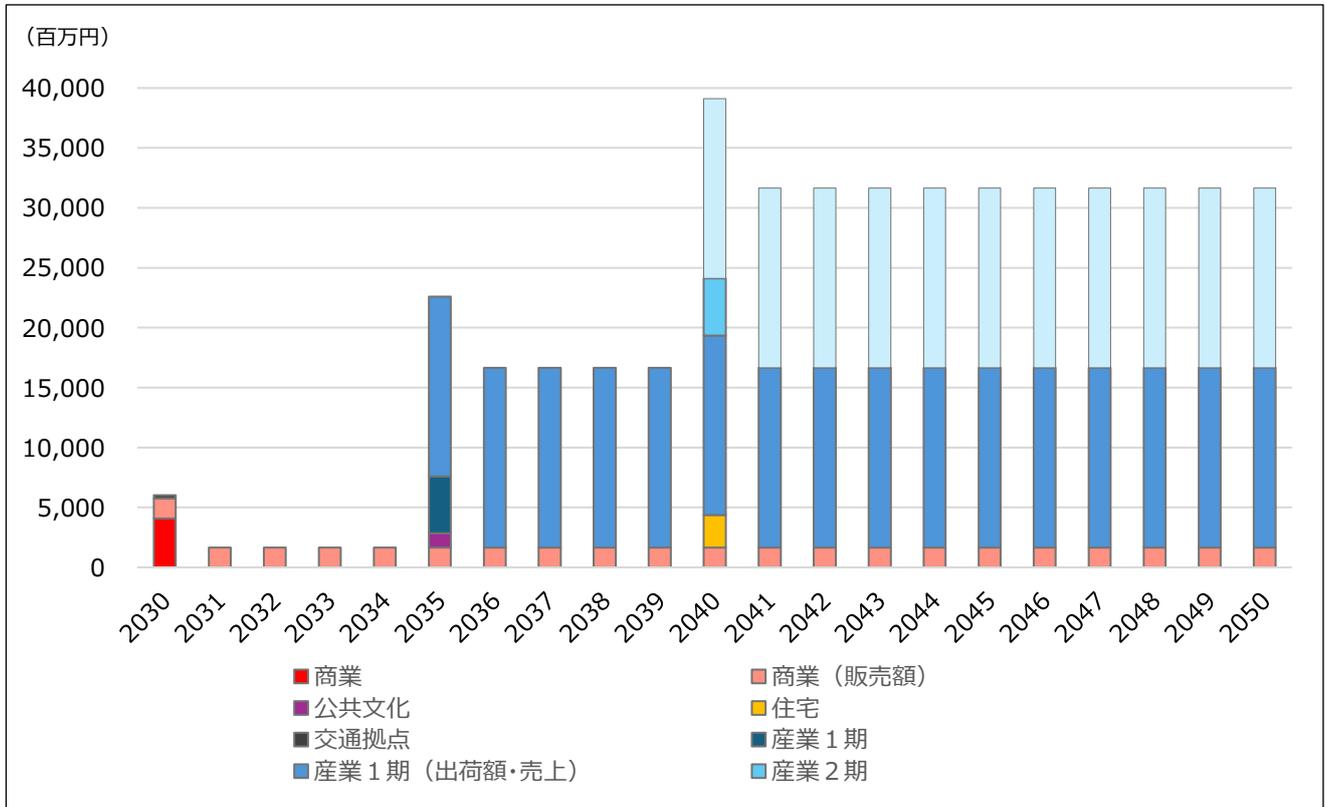
※経済波及効果の発生年は、供用開始と同じ年と仮定する

| 項目      | 仮定の内容   | 計算上の時間            |
|---------|---|-------------------|
| 商業ゾーン   | 2030年度の供用開始、経済波及効果も2030年、施設運営に伴う経済効果も2030年から毎年発生すると仮定   | 0年目               |
| 公共文化ゾーン | 2035年度の供用開始、経済波及効果も2035年と仮定   | 5年目               |
| 住宅ゾーン   | 2040年度の供用開始、経済波及効果も2040年と仮定   | 10年目              |
| 交通拠点ゾーン | 2030年度の供用開始、経済波及効果も2030年と仮定   | 0年目               |
| 産業ゾーン   | 面積が広いことから、2期に分け（面積は等分）、1期は2035年、2期は2040年の供用開始、経済波及効果も1期は2035年、2期は2040年、施設運営に伴う経済効果も1期は2035年から、2期は2040年から毎年発生すると仮定 | 1期：5年目<br>2期：10年目 |

### 3 まちづくりの効果の試算結果

供用開始からの20年間で発生する経済波及効果と経済効果の合計は、約4,576億円と試算されます。千曲市のコスト負担額を交通拠点ゾーンの整備費用とした場合、経済波及効果と経済効果の合計がコストを上回ります。

#### ■経済波及効果と経済効果（合計額）の推移



#### ■経済波及効果と経済効果の試算結果（実数）

（単位：百万円）

|            | 商業     |        | 公共文化  | 住宅    | 交通拠点 | 産業     |         | 経済波及効果 | 経済効果    | 効果計    |         |
|------------|--------|--------|-------|-------|------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
|            | 経済波及効果 | 販売額    |       |       |      | 1期     | 2期      |        |         |        |         |
|            |        |        |       |       |      | 経済波及効果 | 出荷額・売上  |        |         |        |         |
| 2030年 0年目  | 4,088  | 1,665  |       |       | 265  |        |         |        | 4,353   | 1,665  | 6,018   |
| 2031年 1年目  |        | 1,665  |       |       |      |        |         |        | 0       | 1,665  | 1,665   |
| 2032年 2年目  |        | 1,665  |       |       |      |        |         |        | 0       | 1,665  | 1,665   |
| 2033年 3年目  |        | 1,665  |       |       |      |        |         |        | 0       | 1,665  | 1,665   |
| 2034年 4年目  |        | 1,665  |       |       |      |        |         |        | 0       | 1,665  | 1,665   |
| 2035年 5年目  |        | 1,665  | 1,178 |       |      | 4,761  | 14,994  |        | 5,939   | 16,659 | 22,598  |
| 2036年 6年目  |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 0       | 16,659 | 16,659  |
| 2037年 7年目  |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 0       | 16,659 | 16,659  |
| 2038年 8年目  |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 0       | 16,659 | 16,659  |
| 2039年 9年目  |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 0       | 16,659 | 16,659  |
| 2040年 10年目 |        | 1,665  |       | 2,698 |      |        | 14,994  | 4,761  | 14,994  | 7,459  | 31,653  |
| 2041年 11年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2042年 12年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2043年 13年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2044年 14年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2045年 15年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2046年 16年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2047年 17年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2048年 18年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2049年 19年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 2050年 20年目 |        | 1,665  |       |       |      |        | 14,994  |        | 14,994  | 0      | 31,653  |
| 計          | 4,088  | 34,965 | 1,178 | 2,698 | 265  | 4,761  | 239,904 | 4,761  | 164,934 | 17,751 | 439,803 |

## 第7章 屋代SIC周辺地区と市内各拠点との連携強化

### 1 市内各拠点の機能強化

屋代SIC周辺地区のまちづくりの効果を市内全域への波及させるため、屋代SIC周辺地区と相互に連携する拠点の充実を図ります。

#### 長野県立歴史館・森將軍塚古墳館を核とした歴史体験ゾーンの形成

- 企画展、講座、イベント等、魅力ある取組の実施
- イベントや情報発信等における屋代SIC周辺地区との連携 など

#### 「あんずの里」の観光振興

- 景観木保護のための支援
- あんずの木の増植及び生産農家の拡充 など

#### 中心市街地（屋代駅周辺）の活性化

- 商業機能、事務所、病院、福祉、公共施設、住居、情報発信などの多様な都市機能の集積を誘導
- 商店街などが取組む空き店舗の活用、買物の利便性向上及び販売促進事業などへ支援
- 清泉大学との協働によるまちづくり など

#### 重要伝統的建造物を核とした「旧街道稻荷山」の観光振興

- 建造物修理事業等の促進
- 飲食店や土産物屋の出店などの調査・研究 など

#### 八幡地区における地域防災拠点・道の駅の整備検討

- 基本計画の策定、民間活力導入可能性の検討 など

#### 姨捨の棚田を核とした「さらしなの里」の観光振興

- 日本遺産「月の都 千曲」を構成する地域の景観保全の仕組みづくり
- 棚田を眺望できる「ビュースポット」の整備
- グランピングなど自然体験機能の導入 など

#### 戸倉上山田温泉の長期滞在型ハブ観光拠点の形成

- 観光客がいつ来ても楽しめるイベントの開催
- 戸倉上山田温泉インキュベーションプロジェクト
- 情緒あふれる温泉街の整備 など

#### 千曲市総合運動公園基本構想の推進

- 新戸倉体育館整備事業
- 千曲川を軸とした「かわまちづくり」の推進 など

## 2 拠点を連携するネットワークの強化

各拠点の連携を通じて、市内全域で観光・交流の振興を図るため、連携を支える道路ネットワークや公共交通の充実など、移動環境の整備を図ります。

特に、市内の主要な産業集積地や観光拠点を連絡する都市計画道路一重山線は、屋代SIC周辺地区のまちづくりを市内全域へ波及させる上で整備促進が求められます。

### 産業活動の連携

- 市道一重山2号線整備
- 打沢～屋代間の一重山を越えるルート（都市計画道路一重山線）の早期事業化
- 市道打沢新道線整備 など

### 拠点間の連携

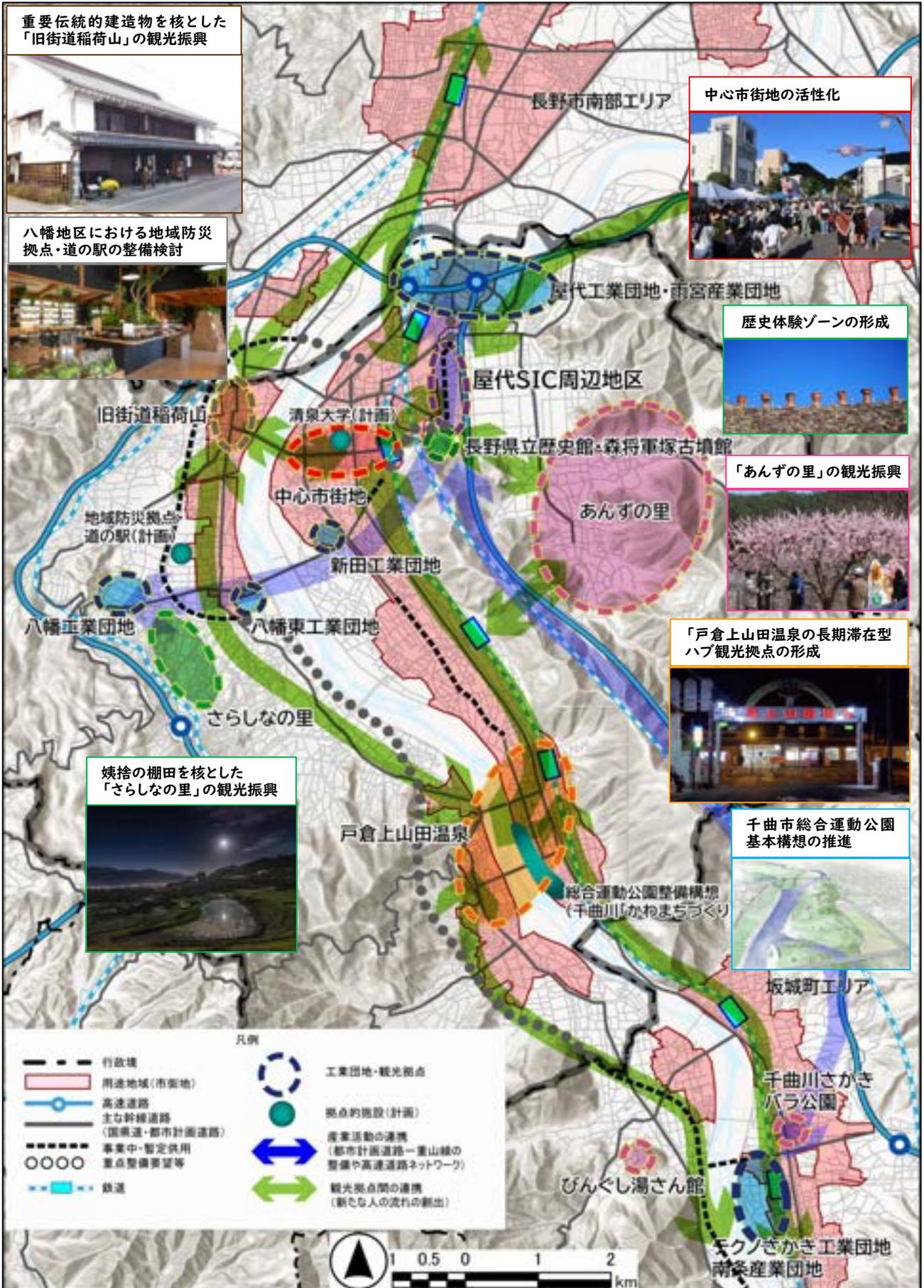
- 国道18号バイパスの整備促進
- 観光便（バス）の継続・拡充の検討
- シェアサイクルの拡充検討、駅のサイクリング拠点化、サイクルトレイン検討
- シェアカー等公共交通と自動車の連携
- 観光拠点のPRを各拠点が相互に行う仕組みづくり
- 屋代SIC周辺地区での市内観光拠点の情報発信
- 市内観光拠点での出店を考えている起業者等向けのチャレンジ店舗を屋代SIC周辺地区で提供 など

## 3 広域的な連携の強化

上信越自動車道と長野自動車等の広域道路で結ばれた千曲市、長野市南部、坂城IC周辺地区を含む広域的なエリアには、魅力あふれる観光拠点や地域をけん引する産業・工業団が点在することから、これらの連携を強化するための交通ネットワークの強化や仕組みづくりを進めます。

- 国道18号バイパスの整備促進など、千曲・坂城地域産業道路ネットワークの形成
- しなの鉄道やJR篠井線の活性化支援
- 鉄道沿線自治体での連携による観光振興
- 千曲川沿いを主軸とした広域的なサイクリングネットワークの形成と川沿いの地域資源との連携
- 広域的な連携（イベント、自然学習・体験など）を通じた千曲川の自然環境保全と活用
- 各自治体の産業集積を生かした産業クラスター形成
- 産業立地や観光交流、移住などの施設や人の誘致における共同での取組 など

## ■屋代SIC周辺地区と市内他地区との連携イメージ



# 第8章 まちづくりの推進体制

## 1 推進体制の考え方

屋代SIC周辺地区のまちづくりには、一定の期間を要するとともに、多様な主体が関わることから、相互に連携して将来像を実現するための推進体制を構築します。

### (1) 庁内関係部署及び関係機関との連携による整備推進

- ・本計画の実現に向けては、都市計画や道路・公共施設の整備など複数の部署が連携して対応する必要があるため、庁内横断的な協議・調整を進めるとともに、関連計画等との整合を確保
- ・NEXCO東日本、長野県、道路管理者、交通管理者など関係機関との連携により、各ゾーンの整備、誘導に関して調整、推進

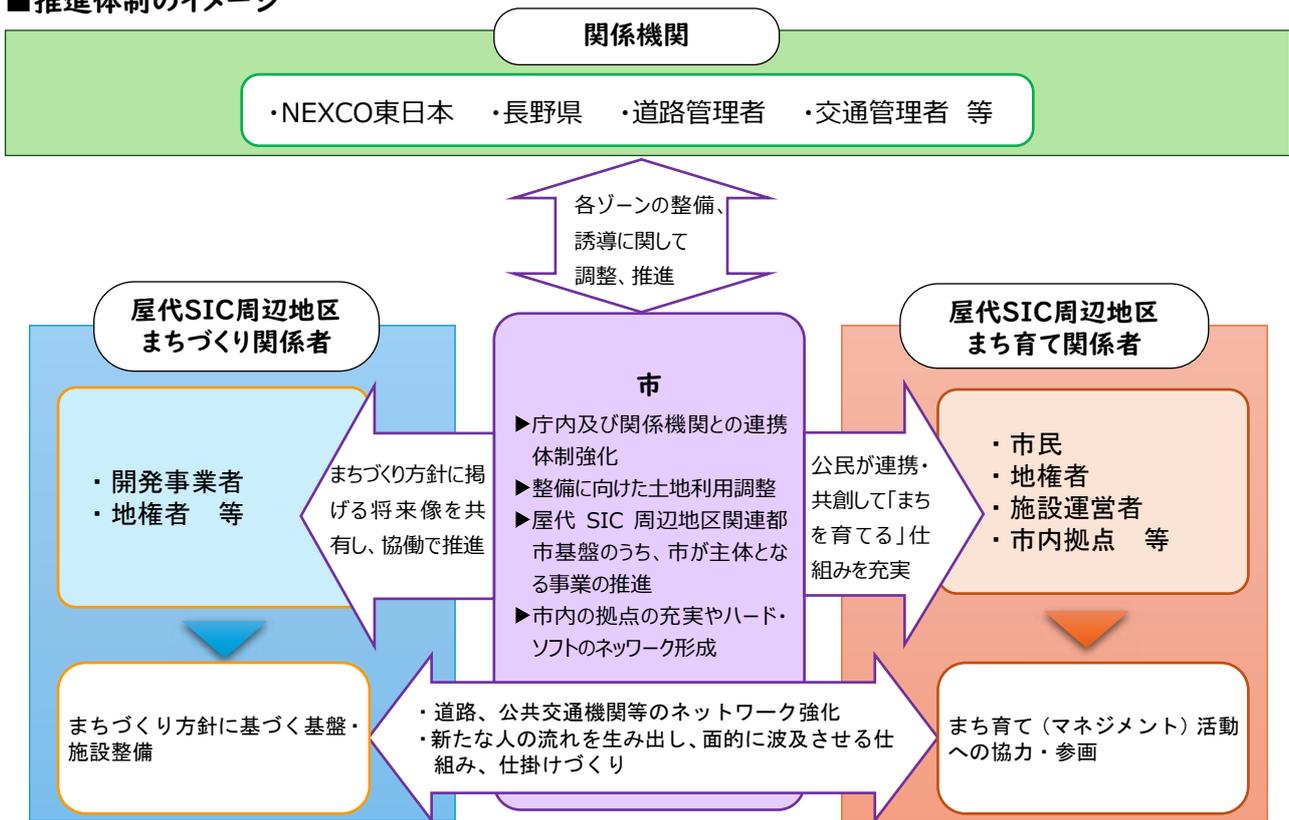
### (2) 開発(まちづくり)を担う民間事業者との連携による魅力ある商業、産業、住宅の空間形成

- ・商業ゾーン、産業ゾーン、住宅ゾーンの基盤整備及び企業・居住者誘致に関しては、開発を担う民間事業者と「(仮称)屋代SICを活用した魅力あるまちづくり方針」(以下「まちづくり方針」)を共有し、まちづくり方針に掲げる将来像実現に向けて協働して事業を推進

### (3) 市民、地域、企業、行政との連携・共創による「まち育て(マネジメント)」の仕組づくり

- ・賑わいの創出や景観形成など、まちびらき後の取組は、個々のゾーンで単独で取り組むよりも、連携することで大きな効果を生み出すことができるため、公民が連携・共創して「まちを育てる」ための仕組みを充実
- ・屋代SIC周辺地区のまちづくりを市内全域へ波及させるため、市内の拠点が相互に情報発信したり、誘客面で連携したりする仕組みを検討

## ■推進体制のイメージ



## 2 多様な主体の役割分担によるまちづくり

屋代SIC周辺地区では、魅力的で快適な都市空間の形成を進めながら、地域の個性をいかした賑わいづくりと、市内各拠点との連携強化を深めていきます。これらの取り組みを通じて、地域全体の活力と交流を高める面的なまちづくりへと展開するとともに、まちづくりに関わる人（プレイヤー）の輪を広げていきます。

### ■屋代SIC周辺地区のまちづくりにおける役割分担のイメージ

|     |                    | 良好な都市空間の形成   | 地区の賑わい創出   | 市内拠点との連携  |
|-----|--------------------|--|--|---|
| 地区内 | 市                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>道路等の公共空間の維持管理</li> <li>公共文化ゾーン、交通拠点ゾーンの敷地内の管理、施設運営 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>公共空間を活用した賑わい創出の仕組づくり</li> <li>公共施設における小店舗や飲食等の賑わい施設の導入 等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>連携の基盤となる道路等交通基盤や公共交通機関の活性化支援</li> <li>商工、観光施策を活用した市内の拠点の活性化 等</li> </ul> |
|     | 施設運営者              | <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の緑化等による緑豊かな空間形成</li> <li>施設建築にあたっての市の景観基準への適合 等</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内のオープンスペースを地域のイベント空間として活用提供</li> <li>工場見学やアウトレットの販売 等</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>農商工等の連携による地域産品の高付加価値化</li> <li>部品供給など企業間連携による産業クラスターの形成 等</li> </ul>     |
|     | 居住者                | <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の緑化等による緑豊かな住環境の形成 等</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベントへの参画、コミュニティイベントの主催 等</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>千曲市の魅力をSNS等で映像配信</li> <li>千曲市の魅力を紹介、案内するボランティアガイド活動 等</li> </ul>         |
| 地区外 | 周辺施設管理者            | <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内の緑化等による屋代SIC周辺地区と一体となった緑のネットワークの形成 等</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>SIC周辺地区とのイベント連携や空間演出</li> <li>SIC周辺地区でのアウトリーチ（出前展示） 等</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史等の共通テーマでのイベント連携 等</li> </ul>   |
|     | 市内の拠点関係者（商業・観光関係等） | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の拠点それぞれの特性や地域資源を生かした景観形成 等</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客等の市内周遊を誘導するための相互の情報発信 等</li> </ul>                               |   |
|     | 市民                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>屋代SIC周辺地区での植樹や美化清掃のボランティア参加 等</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>プレイヤーとしてSIC周辺地区及び周辺施設での賑わい創出活動を企画運営、協力 等</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>千曲市の魅力をSNS等で映像配信</li> <li>千曲市の魅力を紹介、案内するボランティアガイド活動 等</li> </ul>         |